夕刊 滿洲日報 四月十六日

日英米新協定に基く わが補助艦の保有量

現有勢力より五萬噸減 代換十萬六千噸、廢棄七十八隻

【東京十六日發電】ロンドンより最近その筋に達した確報に依れば日英米三國補助艦協定に基く我國の協定保有量と現有量との増減、一九三六年までの代換建造量權利並びに廢棄量左の如し

一、補助艦現有量

艦種	噸數
大巡	一〇八、四〇〇噸
輕巡	九八、四一五
驅逐艦	一三二、四九五
潛水艦	七七、八四二
計	四一七、一五二

二、我國の協定新保有量

艦種	噸數
大巡	一〇八、四〇〇
輕巡	一〇〇、四五〇
驅逐艦	一〇五、五〇〇
潛水艦	五二、七〇〇
計	三六七、〇五〇

三、現有量と協定新保有量との差引増減量

艦種	増減	噸數
大巡		―
輕巡	増	二、〇三五
驅逐艦	減	二六、九九五
潛水艦	減	二五、一四二
計	減	五〇、一〇二

即ち右驅逐艦及び潛水艦の噸數は一九三六年までに代換建造と關係なしに當然廢棄すべきものである

四、一九三六年迄の代換建造量權利

艦種	噸數
大巡	―
輕巡	五一、〇〇〇
驅逐艦	三六、五〇〇
潛水艦	一九、二〇〇
計	一〇六、七〇〇

五、一九三六年までの廢棄量概算

艦種	噸數
大巡	―
輕巡	四八、九六五
驅逐艦	五二、七〇〇
潛水艦	三七、〇〇〇
計	一三八、六六五

六、廢棄艦の確定せるもの

驅巡では利根、筑摩、平戸、矢矧、龍田、球磨、天龍、多摩、北上、木曾、大井の十一隻、驅逐艦では一等驅逐艦は海風より谷風まで九隻二等驅逐艦は櫻より竹まで二十五隻合計三十四隻潛水艦では二等潛水艦呂號第一より第二十八まで三十二隻（註 廢棄は艦齢順に據るから潛水艦番號と廢棄隻數とは必らずしも一致せず）である

四萬五千噸は一九三六年以前には決して建造に着手せぬ旨言明したので若槻全權はアメリカ全權が本問題につき淡白に明言せる紳士的態度を謝し問題は茲に解決した、尚右は只アメリカの言明のみに過ぎず條約文においては日本より何等保留とはせぬことゝなつてゐる

廢棄完了の期日

一九三六年末と決定す

【ロンドン十五日發電】巡洋艦、驅逐艦、潛水艦の廢棄完了期日は一九三六年末と各國の間に意見一致を見て居り條約起草委員會でも一九三六年としたがアメリカは先頃より之を一九三四年末に完了となさん事を主張し之を固執してゐるので十四日の總會後スチムソン、アダムス、財部、アレキサンダー四全權の會談となり財部全權は本會議の招請状においても一九三六年末に至り達せらるべき數字の協定とある旨を指摘してアメリカの反省を求めたが時間なくして議纏まらず十五日午後零時半よりセントジエームス宮殿において日英米三國會商し問題解決を圖ることになつてゐたがアメリカ側が折れて出で一九三六年末となる事に同意したので會議の必要なくなり問題は茲に解決した

選擇條項問題は米の言明で解決

日本は何等保留せず

【ロンドン十五日發電】アメリカの大巡、驅巡自由選擇條項問題に關し若槻、財部兩全權は十五日午前十一時リッツホテルを訪ひスチムソン、リード兩全權プラット少將と會見し若槻全權より選擇條項の適用に依り驅巡四萬五千噸の建造増加が急に行はれる事となれば日本は困るとてアメリカの態度明示を迫つた處、スチムソン全權はアメリカの建造計畫に依れば驅巡

調印は日本の返電で決定

代辯者語る

【ロンドン十五日發電】イギリス側代辯者は本日左の如く語つた 條約草案は十六、七日迄に完成し各國政府に打電されるから二十二日の調印式に間に合ふか否かは日本の返電が間に合ふか否かで極るだらう 而して我全權側では恐らく調印は豫定通り二十二日午前中に終るべしと見てゐる

我全權事務所 廿五日閉鎖

【ロンドン十五日發電】若槻全權は條約文につき政府の承認回答を待つ必要より二十二日迄旅行もせずロンドンに留まることゝなつたが調印式後四、五日はスコットランド地方を見物し廿八、九日頃ロンドン發ベルリン、パリーよりジュネーヴに廻り大陸旅行を試み五月十二日イタリーのネープルスより北野丸に乘船する筈である、グロヴナースクエアーの全權事務所も二十五日閉鎖し殘務整理は大使館事務所でなすことになつてゐる

伊全權歸國

【ロンドン十五日發電】イタリー全權グランヂ外相、シリアニ海相アクトン提督は十五日午前九時ロンドン發ローマへ向つた

若槻全權の宣言

廿二日調印式當日

【ロンドン十五日發電】二十二日の調印式には會議の終局を飾るべく各國全權の華やかな演説がある筈であるが、若槻全權の演説は一、本條約が一九三六年以後のわが協定を何等拘束せぬ事のわが保留條項を更に敷衍し 二、英米の大巡洋艦と輕巡洋艦との撰擇條項實施の場合日本の保有量內容は當然變更し得ると解釋する旨を宣言する筈であると

復興答禮使 米大統領を訪ふ

【ワシントン十五日發電】昨日當地に到着した時事新報の遣米答禮使五嬢一行は本日フーヴァー大統領を訪問復興の感謝を述べた

印度暴徒 警官と衝突

カルカツタで

【カルカツタ十五日發電】國民會議違反の廉で印度議會議長シャワカルラル、ネール氏が六ケ月の禁錮の宣告を受けたのに憤慨し反對運動を起し群衆が警官と衝突し警官は發砲し數名の暴徒を射殺し數名の負傷者を出した尚暴徒は交通を阻止し五臺の電車

改組、共產兩派が反閻馮運動を開始

政治問題に關する協定望み無く 汪氏に密電を發す

【天津十五日發電】太原の陳公博氏は香港の汪精衛氏に對し、北方の反蔣運動は政治上何等の秩序なく且つ黨の問題も紛糾して到底第二期委員の前途は望みなしと密電した、改組派では閻馮兩氏は黨の問題が紛糾するにつれ之に關係することを好まず、軍事決定後に改めて協議しやうと言つてゐるが、軍事終れば直ちに黨治を覆へすものであらうと觀測し早くも共產黨と聯合して反閻馮の運動を開始してゐる

戰意無き廣東軍

陳濟棠氏辭表を電請 陳銘樞氏も遂に引き籠る

【廣東十五日發電】張發奎軍廣西軍に對し討伐を行つて居る廣東軍の行動は六ケ月來進展を見ず中央の督促嚴重なる爲め陳銘樞、陳濟棠兩氏は躍起となつてゐるが、兵に戰意なく遂に陳濟棠氏は梧州から辭職を中央に電請した、陳銘樞氏もこれに倣ひ昨日來病氣と稱して一切の面會を避けてゐる

孟買取引所閉鎖

【ボンベー十五日發電】ボンベー株式取引所は印度議會議長ネール氏が逮捕されたゝめ十四、五兩日閉鎖された、アーメダ、バッドでは外國品ボイコットを行ひ辯護士は擧つて法廷に出ず學校、工場及び印度人の商店は閉鎖された

を燒却し之を消し止めんとした消防手を殺害し警官側の負傷者も相當あつた

關內駐屯奉軍が天津進擊の準備

近く灤河以西に配備

【山海關特電十五日發】臨綏司令于學忠氏は張學良氏の命令にて目下砲兵一團及び步兵一團より約三千名の精鋭を改編して北寧鐵路保安隊を編成中なるが來る四月二十五日より灤州以西の沿線に配置する筈である、之について當地では張學良氏は愈々中央擁護の肚を定め適當の時機に蔣介石氏援助の爲め平津一帶に兵を進むべくその前提として鐵道保護に名を籍り右部隊を灤河以西へ配置するものならんと觀測してゐるが司令部では共產黨に備へるのだと語つてゐる、因みに山西軍も唐山へ增兵し保安一大隊第一旅の兵千餘名は趙禮氏に率ゐられ數日前到着し尚續々增兵されてゐる

馮氏親日の目的

北方政權把握用意か

【北平十五日發電】馮玉祥氏が早晩天下を握るべしとは各方面一致した觀測であるが、馮玉祥氏自身も窃に期するところある如く前外交次長唐悅良氏をして各國公使を訪問せしめ外交團の意向を探らすと共にその對外主義が絕對的に健全合法主義なることを說明せしめてゐる、なほ馮玉祥氏が最近特に親日を標榜し來つたことは他日の用意をなすもので北方において天下を握らんには先づ日本との感情を良好ならしむる必要ありとの見解からである

パック博士 哈爾賓に到着

【ハルビン特電十五日發】十五日晩歐亞連絡列車で病菌學の大家國際聯盟のパック博士が來哈し直ちに伍連德博士の案內で濱江醫院へ向つたが、ペストの病源地と傳播その他を調査し南滿に向ひ、奉天醫大を訪ふと

劉南京市長 遂に辭職

秕政續出の爲

【南京特信】南京市長劉紀文氏は過般デンマーク皇太子が上陸の際南京下關にある貧民家屋を眼障りになるからとの理由でブチ壞して取拂つたが、同問題は少なからず市民の反感を買ひ國民政府部內で

た劉氏も道幅四十米突の中山路の新設や今次の貧民窟取拂など寧ろ橫暴に近き行爲が多かつたゝめ遂に窮地に陷つて了つた【寫眞は最近の劉紀文】

勞農機關紙 莫氏を歡迎

【モスクワ十五日發電】ソウエート政府機關紙イズベスチヤ紙は本日莫德惠氏が東支鐵道問題交涉のため支那側代表としてモスクワに來ることに決定したことを歡迎し

政府攻擊材料の調查擔當者決定

政友會最高幹部會

【東京十六日發電】政友會は數日後に迫つた特別議會に對する陣容を整へる爲め十五日午後四時から芝公園三緣亭において極秘裡に最高幹部會を開き犬養總裁を始め床次、三土兩顧問、島田、松野、山口の各總務、森幹事長その他幹部四十餘名出席森幹事長より對議會策については院內役員決定後に萬事を處理する筈でその準備については幹事長に一任されてゐるが質問事項等については今から相當準備して置く要がある、卽ち攻擊材料として調查すべき項目並びに調查擔當者は

一、一般論（鳩山、秋田）
一、軍縮と國防問題（內田、內野、植原）
一、金解禁善後處置と不景氣問題（三土、大口、堀切、東）
一、社會政策及び失業問題（安藤、田子）
一、選擧干涉問題（廣岡）
一、綱紀肅正問題（島田、山口）
一、豫算案（義務教育費問題）（山崎、大口）

の豫定であるからそれぞれ幹部と聯絡を執り調查されたいと報告し一同これに贊成し尚種々懇談の後八時散會した

警察署長會議（第一日）

けふ關東廳會議室で 各署長三十餘名出席

關東廳管下全滿警察署長會議は第一日は十六日午前九時から本廳會議室において開會、出席者は神田內務、中谷警務兩局長及び警務局內各課長關係係主任並びに署長側では尾崎大連署長の外、州內沿線各警察署長、各民政支署長、大連消防署長等

三十餘名

にて開會壁頭長官訓示として中谷警務局長より一、官紀振肅、二、適材適所配置、三、警察執務の基礎たる結合の改善、四、滿洲治安の特異性、五、各種思想運動に對する懸念、六、保健衞生に對する措置等の諸項につき訓示し大いに各機關の協調を力說する所あり、次いで指示及び注意事項に入つたが指示事項については中谷局長より

官紀肅正

外九件、松田高等課長より高等警察の執務改善外四件、有田保安課長より興行場取締外十三件、增田衞生課長より家庭衞生指導に關する事項外八件につき夫々指示說明して各署長の善處を促し注意事項については巡查巡捕の監督、情報の精選、報告文書作製等に關する件、其他三十一項につき同樣關係各課長より說述注意するところあり、かくて午前中の日程を終つて一同晝食、午後は一時より、再會日程の通り厚東憲兵司令官を初め三宅參課長、篠原遞信局庶務課長等列席の上、先づ參課長より

軍警連絡

其他希望事項を口演引續き以上各署提案の諸事項につき協議したが六時休會の上一同は長官々邸における晩餐會に臨む筈

新助役の來任後 市の職制を改正

社會係を獨立して四課制に

大連市助役に推薦すべき永井準一郎氏は十七日午後二時から開會される第四十八回市會の決定を俟つて關東廳に申請、十八日ごろ認可の見込みで、同時に千葉縣鴨川に閑居の永井氏に打電、來任を促す手筈になつてゐる、田中市長は永井助役の就任と共に抱負經綸の一端として職制改正を行ひ現在庶務係に課屬してゐた社會係を獨立させ庶務、財務、衞生、社會の四課となし係主任を課長に變更、主任級一、二の勇退を見るべく尙事務の繁閑を按配して書記、書記補級の配置換へも行ふ模樣である、田中市長も人事問題に關しては不景氣の際であり失職者を出す事は本意でないから特別の事情なき者に限り退職せしめない心算であると語つてゐた、因に近藤收入役は當分現狀維持の模樣である

保證金半減願 けふ却下

大連中央卸賣市場內の市場商人組合が市役所に納付してゐる二千圓の保證金を一千圓に半減して貰ひたいと出願したのに對し市役所の態度が强硬なる爲め組合側は種々策動し再三市當局を訪れる等認可運動中であつたが、田中市長は十六日附遂にこれを却下した

走馬燈

荻川

暗鬼（其四）

米國は初め支那に、侵略的野心はなかつたが、列國が競ふて之を支那に試む、かゝる情勢の間に立つと、既に支那に通商と云ふ希望が在る以上は、其通商が平和的では立ち行かぬ、それでこゝに米國は、機會均等なる新熟語を支那に使ふて、列國侵略の後に從ふ、斯うなれば自ら手を下さゞるまでも、侵略への機會均等は乃ち侵略となる、寧ろ其遣口は、同じ仕事をなすに、他を賊して吾を善くせんとする僞事と評されまいか。

◇

尤も米國の支那に臨みし機會均等主義に、領土的野心はない、併し穿つて云へば、列國の行動に立ち遲れ、幸ひそこにヒリッピンを保つ、それで已むを得ず此ヒリッピンを領有するに滿足し、之を支那に對する根據として、活躍を企圖したもので あるまいか、そうして其活躍は如何に、主なるは鐵道政策である、南部支那では粵漢鐵道、中部支那では海蘭鐵道、北部支那では錦愛鐵道等々、此鐵道敷設によつて、勢力を其沿線に扶植せんとしたは事實である。

◇

當時列國の支那侵略は、皆此鐵道敷設を基礎に、各自の勢力範圍を設定せんとする傾向にあり米國も既にそこに割込む、縱しそれが米國を代表せぬと、誰が云ひ得ようぞ、米國の支那に對する施設はまだ／＼澤山にあるが、此鐵道の一事で、他をも同樣に許し能ふまいか、縱さへ米國の機會均等は善いとしても、此機會均等を振翳して、他の仕事に邪魔を入れるは善くない。

◇

一例を擧ぐれば、滿洲鐵道の國際管理を初めとして、事毎に日本の滿洲に於ける特權に水を差すたぞがそれで、米國は日本の支那に有する權益を、自己が支那に得んとする權益と、同樣に心得て居ると思はるゝが、若しそうだとすると、そこ相互間に多大の喰違ひがある、之を過去に徵するに、米國は支那に權益を獲得しても、採算不引合と觀れば、直に其權益を放棄すること、弊履の如しではないか、そこが日本と全然に違ふ、尙是等につき少しく合點の出來ぬところを言はしめよ。

左の如く述べてゐる 莫德惠氏の公明正大なりとの評判は露支交涉に友交な雰圍氣を與へるであらう、我々は支那代表がソウエートは露支相互の利益とする精神から協定に達すべく用意あることを見出すに違ひないと證言することが出來る、斯くの如き支那の好意に據つて總ての問題を解決し得ることゝ信じて已まない

內蒙王族會議 決議事項

【ハルビン特電十六日發】三月末から蒙古カラウス王府において內蒙王族會議を開催してゐたが（一）階級の平等（二）服裝の改良（三）禮儀の畫一（四）民生の進化（五）中國の同一待遇等を決議し鄭家屯において其會議を行ひ南京政府の蒙藏代表會議には王公代表と民衆代表各五名を派遣することを可決した、尙蒙古の農牧を發達せしめるために耕作獎勵辦法を施行するに至つたが、それによると種子農具の無料貸與、耕稅金納入の免除、地代の低下、耕地貸下の年限延長等にそれ等の農民には一定の徽章を與へるといふのである、因に無料貸下耕地は廿ケ年であると

東鐵各課異動

【ハルビン特電十六日發】東鐵管理局では經濟調查局長にメリニコフ氏の股肱の人物であるミハイロフ氏近く任命することに決定したが各課にも相當の更迭が行はれる模樣である

地方事務所長更迭

滿鐵地方部庶務課粟屋秀夫氏は十五日附を以て本溪湖地方事務所長を本溪湖地方事務所長塘愼太郎氏は地方部勤務を命ぜられ十六日社報を以て發表された、尙塘氏は多分結核療養所事務長に就任の筈だと

神田局長上京期

臨時議會に出席のため十七日陸路東上のはずであつた關東廳神田內務局長は事務の都合により十八日香港丸にて海路東上することになつた

人事

▲副島千八氏（昭和製鋼所專務）十六日入港の香港丸にて來連
▲兒玉普臣氏（滿鐵參事）同上歸連
▲久留宗一氏（滿洲報主幹）同上
▲五泉賢三氏（辯護士）同上
▲戶谷銀三郎氏（大連醫院長）同上
▲中澤不二雄氏（滿鐵情報課員）同上
▲岸一郎氏（滿鐵社員）同上
▲岩永勝典氏（二等主計正）同上來連
▲盛新之助氏（醫師）同上來連
▲堀內正重氏（同）同上
▲田村羊三氏（滿鐵興業部長）曾蘭店貔子窩管內港灣及碧流河水田視察中の所十六日夜歸任の筈
▲武部治右衞門氏（同商工課長）同上
▲松島鑑氏（同農務課長）同上
▲內藤政光子爵（帝國博物館囑託）十六日七時着列車で來連
▲宇佐美喬爾氏（四洮鐵路會計課長）十五日夜行にて來連
▲星野榮五郎氏（國際運輸京城支店長）十六日着旅客機にて來連
▲小山田劍南氏 十六日夜行にて奉天へ

大觀小觀

一月二十日に開始されたロンドン會議、いよ／＼二十二日に調印式を擧行。わが臨時議會、開會の翌日なるも何かの奇緣。

◇

馮玉祥氏の親日、何だか擽ぐられるやうでもあるが、敢て親日のみならず、親露、親米、親英、國際親善に悪いことはない。大に親日風潮も高調して貰ひたい。

◇

ただ併し、馮氏が天下の權を執るか否かは請合ふことは出來ぬ。日本は例によつて內政不干涉、とにかく南京政權と通商條約の改訂を行はんとしてゐることだけは記憶しておいて貰はねばならぬ。

◇

國產品愛用、大に可なり。國際貸借の關係を拔きにしても、ただ舶來品なるのゆゑを以て愛用するが如き輕佻なる風潮と一掃することは何時の時代にも緊要に相違ない。

天氣豫報

十六日（南の風）一時曇

各地の溫度

地名	十一時	昨日最低
大連	二二、六	六、六
旅順	一八、二	五、三
營口	一四、四	二、〇
鞍山	一九、七	三、七
奉天	一九、三	二、六
長春	二〇、三	二、四

滿潮 午前零時十五分 午後零時五十分
干潮 午前六時二十分 午後七時二十五分

タクシーの謝恩券發行罷りならぬ
關東廳警務局が不合理と認め大連署から禁止命令

市內タクシー業者が猛烈な競爭の結果、花柳界やカフエー方面に對し謝恩券と稱して十錢の割引券を發行し結局市內は三十錢で運轉し顧客の爭奪に努めつゝあるが、この制度は一般乘客に均霑するにあらずして一部花柳界方面のみに限られてゐることは此方面に於て割引する不足額を一般乘客の賃金で補塡する譯で、五十錢乃至四十錢の正當な賃金を仕拂つてゐる

乘客は 常に五、六錢を花柳界方面のために負擔させられてゐるわけだとて漸く非難の聲が揚げられんとしてゐたが、關東廳警務局でも同制度の不合理を認め、殊に謝恩割引券の發行は取りも直さず運轉手の收入をそれだけ減ずることゝなり、さなきだに收入の尠い運轉手の待遇改善の上からも斷然撤廢すべきものであるとの意見の下に十六日大連署保安係に謝恩券發行禁止の旨を

嚴達し て來た、よつて大連署では一兩日中に市內各タクシー業者に向つて禁止命令を發する筈である

醫學大會出席の世界刀圭界の權威來連
けふ戶谷大連醫院長ら歸る

大阪における醫學大會に出席中であつた大連醫院長戶谷銀三郎博士、關東廳醫院長盛新之助博士並びに關東廳療病院の二木保男氏等は相携へ十六日入港の香港丸にて歸連した、戶谷博士は語る

新聞なぞでも既に御承知でせうが頗る盛大でしたよ、何分七千名からに招待狀を出したと云ふのですから大したものだ、討論も頗る

眞面目 にされたが、この種學會では稀れに見ることだ、外國の斯道大家が集つた點でも今までにない盛んなものでしたでせう、聞くところによると何れもそれ等の外人中には近いうちに滿洲を經て歸歐するものが多く是非この機會に大連醫院を見たいと云つてゐた、これ等來連の博士の中にはドイツフライブルグ大學教授で眼科の泰斗アクセンフエルト博士や梅毒の權威ホフマン博士等が居り一行は廿八九日ごろ來連すると云つてゐた

珍らしい食火鷄(ひくひどり)と一丈餘の大蛇
電氣遊園てお目見得

電氣遊園には今珍しい食火鷄と長さ一丈餘、胴のまはり一尺五寸といふ大蛇がお目見得して坊つちやん、孃ちやん連を驚かしてゐる、食火鷄は濠洲產で臆病な鳥だが蹴るのがお得意で脚はトテも太い、白菜や麵麭をたべさせてゐるが、昨日人參をやつたら下痢をして一寸ご不快だとある、二つとも五日ほどまへ支那人の動物商人が上海から賣込みに來たのだが、食火鷄は二百四、五十圓、大蛇は三十圓と云ひ未だ値段のところが纏まらず購入するかどうかは極つてゐないと【寫眞はお目見得の大蛇と食火鷄】

內藤博囑託けふ來連
資料蒐集のため滿鮮巡遊

東京帝室博物館の囑託內藤政光氏は資料蒐集のため滿鮮巡遊中のところ、十六日午前八時着列車にて來連ヤマトホテルに泊つたが直ちに滿蒙資源館を訪ね、更に案內者と共に旅順戰蹟視察に向つた、なほ氏は十八日出帆の香港丸にて歸京すると

水產不正事件
あす第一回公判

水產會社不正事件としてセンセイションを起した滿洲水產會社事務佐治大助、川上豐三、横越友吉、鐵山虎藏、高橋德藏、木野村圓太郎、加藤巳之七、元關東廳技手柳生大三郎等にかゝる贈收賄、業務上横領、恐喝事件の第一回公判は十七日午前十時から大連地方法院で森本裁判長係開廷される筈

「時代の要求」を容れて舞踊場を許可……？
けふの全滿警察署長會議でその運命を決定する

時代の流れは大連にもダンスホールを要求して來た、殊にエロチツクな都會の夜でなければ黃金の雨は降らぬ……といふ理由で最近連鎖商店街を初め市內二、三ケ所にダンスホール設置の聲が擡頭し、大連署保安係でも既に研究に取かゝり內地各都市のダンスホール取締方法を照會してゐたが、これら參考資料も蒐集出來たので十六日から關東廳で開催される全滿警察署長會議に「ダンスホール設置如何」の議案を提出する

段取り まで漕ぎつけた、署長會議の結果はダンスホールの運命を左右するものでダンス黨に取つては可成り興味ある問題であるが「時代の要求」に對しては既に關東廳に於ても充分理解してゐる模樣で結局大連市內にダンスホールの生れるのも近き將來であらうと見られてゐるが、しかしてその取締をどの程度嚴にするかゞ目下の問題となつてゐる、大連署が內地都市の取締方法を照會したところによると大阪市が一番嚴重で東京、名古屋、横須賀等は比較的緩慢だが、矢張り弊害の

根絶は 期し難く當局が常に頭を惱ましてゐるらしい、しかし大連市內では既に露人經營のダンスホールが二軒あり、ダンス黨の六割までが日本人であるところから見て、ダンスによつて生ずる處の弊害は憂ふるに足らず、殊に日本人の出入理由を默許してゐる露人經營のホールを許可してをりながら日本人經營のホールのみ許可出來ぬといふ理由が見出せないので、生れ出づる惱みはあれど結局署長會議の結果は取締嚴重を條件に許可されることに落ちつくものと見られてゐる

モダンな海員俱樂部甘井子に建設
滿鐵が豫算七萬圓で

滿鐵々道部では甘井子繋港の第一期工事が來る六月でいよ〳〵完成するので、その曉は寄港船舶も激增し、同地に上陸する船員の數も非常に增大することゝなるのでこれ等海員の休養娯樂設備として約七萬圓を投じ約二十室を有する二階建の頗るモダンな樣式の海員俱樂部を建設することになり、五年度追加豫算を以て本年十月頃までに完成することに決定した、右は石炭積込にカーダンパーを使用するため荷役が約七、八時間で終り船員は到底大連まで休養に出て來る餘裕がないためで俱樂部內には浴場、バー、理髮、娯樂、宿泊等の各種設備がなされる筈で竣功の上は同地一寄港船の福音とみられてゐる

巡査の殺人
面書記と口論のすゑ龍仁警察署に自首す

【京城十六日發電】京畿道龍仁郡器興面駐在所勤務巡査部長伊藤伯一郎([illegible])は、十五日夜十一時ごろ春期清潔法終了慰勞宴の席上、面書記申衡均と口論し喧嘩となつたが、その場は仲裁で事なく濟んだものゝ激昂せる伊藤巡査部長は自宅に歸るやピストルを持出し數彈を發射して申衡均を射殺し龍仁警察署に自首して出た

陳列窓を破り窃盗
近江洋行盜難

十六日午前一時から五時までの間に市內浪速町一丁目、近江洋行の陳列窓に投石破壞し測量器十一個(價格二百二十圓)を窃取逃走した犯人あり、大連署で嚴探中だが最近この種犯罪が增加し本年に入り既に數件の被害があると

幼兒浚ひ
隣りの男

市內長安街五八、中華青年會ボーイ王榮の二女看兒(五)が去る十四日午前九時半ごろ突然行方不明となつたといふので小崗子署でかねて搜査中、隣家居住の馬採氏が擧動不審なところより同署の佐藤刑事が十五日午後九時ごろ外出先きより歸宅したのを逮捕し嚴重取調べた結果、馬採氏が當日路上にて遊んで居つた看兒をカッ浚つて金州管內老虎山會朱家屯二十番地に隱匿しあることを自白したので、十六日無事看兒は親元に引渡された

鐵材を軌條に横たへ列車の顚覆を圖る
沙河口、周水子間の滿鐵上り線に
沙河口署で犯人嚴探中

十五日午後一時半ごろ沙河口、周水子間の大連基點五哩宿舍附近滿鐵本線上り軌道上に何者かゞ目方約五貫匁の鐵材を横たへ通過列車の顚覆を圖りあるを折から進行して來た下り四三貨物列車の機關士が發見、直ちに列車を停車せしめて右鐵材を取除き事なく同所を通過したが、所轄沙河口署では十六日朝豐增司法主任現場に赴き實地檢證を行ふと共に犯人嚴探中

粗製品押賣り
學生に御用心

十五日午後二時ごろ市內黃金町臺灣梅田ウメノ方へ二十一歳位の愛知縣某校の修學旅行團の團員と稱する男が旅費の一部に當てると稱して粗製の鉛筆一打を二圓餘で押し賣りして立ち去つたが、最近この種の旅行團員と稱する學生風の男が女ばかりの留守宅を覘つて押賣りするもの多くなつたので、其筋でも目を光らして居るが各家庭でも大いに注意されたいと

前科者の窃盜捕はる

福岡縣生れ住所不定、前科一犯田村春彦(二〇)は去る十一日午後十一時頃市內山縣通一四八番地、大手商店裏口から忍び入り現金七十五圓を窃取し、さらに翌日沙河口郵便局で局員のオーバー一着を窃取したこと發覺、十六日大連署員に檢擧されたがこの外詐欺、横領數件の餘罪あり引續き取調中

英巡洋艦來港

東京駐在英國大使館附武官からの通知によれば英國巡洋艦コーンウオール號は五月六日大連に入港、九日まで碇泊の豫定であると

巧妙な詐欺

十四日午後五時ごろ市內得勝街五五、靴商李善鄉方へ靴一足を注文し命により店員が同仁街三六連昌自動車公司へ持參すると、足に合はすと稱して店內に入つたまゝ行方不明となり、十五日も午後三時ごろ市內大龍街四六靴商任茂出方へ同一人らしき者が短靴一足を注文し、店員が新起街三九番地へ屆けると同手段で裏口より逃走姿を晦ましたので小崗子署では各署に手配して目下犯人嚴探中

傷病兵きのふ送還

駐滿軍三月分の傷病兵四十四名は十五日出帆うらる丸にて西村一等軍醫に引率され內地へ送られた、內譯は胸膜炎廿名、肺炎十名、肺結核五名その他であると

電氣分會總會

大連電氣分會では來る二十日、市內羽衣町社會館で第二回總會を開催し、會務、會計報告、役員補缺選擧、表彰式並に記念講演、等があると

訂正 四月十三日附本紙夕刊二面「汽船老虎丸坐洲」の記事中船長鄉廣衞とあるは岩城德太郎氏の誤りにつき訂正

台所メモ
公設市場物價

品名	單位		
鯛(生・氷)	百匁	七〇	三〇
ほーぼ	同	一五	一〇
いか	同	四〇	一五
たこ	同	二五	一五
ぐち	同	一二	ー
かながしら	同	一〇	〇六
えび	同	二五	二〇
ひらめ	同	一〇	〇八
すゞき	同	二〇	一〇
さはら	同	七五	六〇
めばる	同	二〇	一〇
あぶらめ	同	二五	〇七
ぼら	同	二〇	一〇
かれい	同	一五	〇八
さば	同	二二	一五

關東州野球大會の組合せ愈よ決定す
旅順工大棄權し參加は八チーム
けふ主將會議を開催

本社主催、第十五回關東州野球大會はいよ〳〵來る二十日から滿俱球場に於て戰ひの火蓋は切つて落されるが、十六日正午より本社樓上會議室に於て電報で中止の通知あつた工大を除く八チームの主將會議を開き抽籤の結果左の如く決定した

▲二十日午後十二時入場式

第一回 工專對滿電（十二時半開始）

▲工專 (投手)瀨之口(捕手)山谷(一壘)岩尾(二壘)井上(三壘)高野(遊擊)香田(左翼)岡米(中堅)光森(右翼)加藤(補缺)吉尾、竹下、堺

▲滿電 監督後藤、主將芥田(投手)藤枝、頴原(捕手)片岡、檜山、福田、柳谷(一壘)大藤萩野(二壘)大野、持原、吉川(三壘)佐賀、中山(遊擊)今泉(左翼)和田(中堅)芥田(右翼)鈴木(補缺)濱島、針

第二回 大商對工場（三時三十分開始）

▲大商 監督進藤、主將梅本(正)(投手)因藤、工藤(捕手)堀部(一壘)伊藤(二壘)谷口(三壘)白石(遊擊)梅本(正)(左翼)因藤、工藤(中堅)德永(右翼)原田(補缺)梅本、野田、杉村

▲大連工場 (投手)岔田(捕手)野田(一壘)高原(二壘)金田(三壘)出島(遊擊)島村(左翼)大石(中堅)中野(右翼)竹島(補缺)島田、石丸、北田、中野、永森

鐵道部對消費組合（二十一日午後四時）

▲鐵道部 (投手)沖原、大井(捕手)神田(一壘)西田(二壘)野尻、內田(三壘)北澤(遊擊)山野、成田(左翼)岩瀨(中堅)高柳(右翼)政德(補缺)加藤、武田、川田、杉內、西田、伊藤、中村

▲消費 (監督)北川(主將)二神(投手)永田、青山、大橋、竹中(捕手)井上、中井(一壘)北川(二壘)南條(三壘)吉野、古味(遊擊)時任、齋藤、瀨尾(左翼)宗正(中堅)二神(右翼)綠川

鐵道事務所對國際（二十二日午後四時）

▲鐵道事務所 (投手)山口(捕手)石關(一壘)杉崎(二壘)高須(三壘)藤田(遊擊)上條(左翼)高橋(中堅)伊藤(右翼)中尾(補缺)岩下、岩澤、今野、山尾、廣中、瀨口、山下、伊藤(勝)富澤、吉野、杉町

▲國際運輸 (監督)植草(主將)宮武(投手)木下(捕手)渡邊(一壘)山田(二壘)橋本(三壘)立石(遊擊)宮武(左翼)松尾(中堅)武井(右翼)石井(補缺)石河、藤田、久我、齋藤、寺門、水野、菊川

實滿戰までには相當陣容を整ふ
けふ、中澤滿俱監督歸へる

滿鐵情報課員中澤不二雄氏は東京における「空と海」の博覽會並びに宇治山田市において開催中の靈宮記念博覽會の準備並に開會後の事務に多忙の日を送つてゐたが、十六日入港の香港丸で約四十餘日振りに歸社した

隨分忙しい目を見ました、東京の「海と空」の博覽會は宣傳が利いたのと

復興祭 のあとをうけ物凄い人氣で滿鐵から出品した大連の模型の日露役當時と現在の比較は頗る興味を持つて迎へられ日毎の人出は恐ろしいものでした、なほ四月の末から五月にかけてます〳〵見物人の數を增すことゝ思ひます、更に神都の博覽會は恰度お蔭參りの年に當るのでこゝもまた大變な人氣、殊に滿鐵經營の滿蒙參考館は同博覽會第一の人氣で、この種の博覽會では恐らく今までにない

成功を 收めたものと思ひます、大阪、京都、名古屋邊りからドン〳〵見物に來て大したものですよ

更に滿俱新選手招聘について シーズンまでに迫つて居るが私の方は未だ確定して居ない、これから瓦斯なり電氣、消費等々と交渉して見なければ實際誰が來るのかわからない、久禮、安田等も來る希望をもつて居るが當方で未だしつかりしたことが解らないんだから決定發表も出來ない次第だ、然し

實滿戰 迄には可成り揃ふことゝ思ふ、けれど餘り期待さるべきものもなからうと思はれる、鈴田の入社も今始めて聞いたことで、何しろ山出の片田舍にくすぼつて居たのだから却つて大連の人々がよく知つて居る位だ

艶色生膽祕譚（84）

伊藤松雄作　河原緑亀太郎畫

中仙道（三）

艶やかに訪なふ聲。

關川は居住居を正した。

「どうぞ御入り下さいまし」

「はい」

妙香は襖の外に手をついた。

「手前は信州高島藩波多野典膳の娘妙香と申します。先程は弟欣彌が急病に際しまして先生の御介抱頂きありがたう存じました。おかげさまにてどうやら痛みもおちつき只今はスヤスヤ眠つて居ります何とも御禮の申しあげやうも御座いません、これは甚だ失禮とは存じますが旅先のことゝて平に御赦し下さいますやう」

關川の前へ寸志の包がさしだされる。

「や、これは御丁寧な御挨拶痛み入ります。殊にかやうな御禮などを頂いては誠に恐縮」

いつたんは押し戻したが、強つての言葉に納めた關川、

「江戸はどちらへ？」

と訊いた。

「はい、まだ落着きます住所も不案内で御座いまして」

「ほう、すりや？」

「は、はい、父が不慮の死を遂げましたため、一家も分散、それ故の旅でございます」

「ふうむ」

關川思はず一膝のりだして、

「すりや仇の在所は確に江戸と思召しての旅でござるかな」

「は、いいえ――」

妙香はツト身を退るやうにして答へた。

「滅想な」

が、關川はニツコリ笑つた。

「手前大切をお明しなされやうとも他言はいたしませぬ、仇は何藩の武士でござる、御同藩かな！」

妙香は顏赧らめて默つてしまつた。

「これはまた強情な、その御心底はお察し申す、なれどもそれがしは湯島に開業いたす阿蘭陀醫者宇田川關川とて相當手廣く交際もありかたがたいつそ御打開け下さらばまたどのやうな手蔓をたぐれぬものとも限りませぬでな」

「はい……」

妙香はぢつとうつむいてゐる。

ふくよかな頸に魅せられたごとくぢいつと見入る關川、

「御病弱な御弟御をおかばひなされての旅ではさぞかし御難儀でもござらう、さきほど若徒殿にも申し上げしごとく江戸まで御同道いたしてもよろしうござるが」

「は、有難い仰とは存じますれど別段先を急ぐ旅でも御座いませずいはば街道筋をもさぐりさぐりに旅して居りますこと故……」

妙香は關川の眼と言葉を避けるもゝ如く、ヂリヂリと後退り乍らつい唇を開いてしまつた。

「は、は、は、仇敵をおさがしになる御身の上かと訊いてより大分それがしを御要愼なさいますな」

「いいえ、さう云ふ譯では御座いません」

妙香はあえぐやうに云ふ。

途端に廊下から若徒が聲をかけた。

「お孃樣、手係りがつきましたぞこの宿の前浅沼屋と申すに廿日餘り以前宮川右近樣がお泊りなされたと宿帳にありますぞ」

五三郎も嬉しさの餘りであつたらう、

日頃のたしなみ忘れて、思はず大聲にかうよびかけた。

「あ、これ五三郎……」

妙香は制した。

「――宮川×近！」

關川はハツとなつた。

「廿日餘り以前の淺間屋に泊つた宮川×近――左近に違ひない、してみるとお仙め、血卍の左近として見るとお仙め、血卍の左近としめし合せてそれがしに毒を喰はせおつたか、それに、いま眼前にゐるこの姉弟が仇敵とねらふ血卍の左近か、や、これは面白いことになつて來たぞ」

思はず双手をポーンとうつた。

映畫と演藝

オペラとレヴウ　少女歌劇座の初日番組決る

來る十八日から歌舞伎座にて開演する日本少女歌劇座の演し物のうち最も期待されてゐるものはレヴユウ「東洋一周」二十景であるが燦爛の春の夕べを彩るに相應しいジヤズダンス、或ひは大連の春の姿を畫がいたバレー、映畫的漫劇「金色夜叉」ステージ・トーキー奉天の巻「名知允」の一幕、隆興の朝鮮を畫がき、臺灣の地方色濃厚な本島人の踊等、好奇をそゝる東洋の姿の舞踊化、二時間に亘る乙女等の歌舞は駘蕩の春宵を華やかに彩り、更に大レヴユウ「東洋一周」をめぐつて喜歌劇「都と鄙」歌劇「夢の島國」二幕、レヴユウ「平家村」四景等が上演される尚一座は本年は特に破格の料金で大衆本位の興行をするといふから盛況を呈するであらう

協和會館映畫　ベン・ハー上映

大連滿鐵社員倶樂部主催にて廿七日午後七時より協和會館に於て映畫會を催しメトロ・ゴールドウイン・メーヤー社特作品フレッド・ニブロ監督ラモン・ノヴアロ主演の「ベン・ハー」十二巻を上映するが、會費は大小五十錢小人三十錢會員外一圓とある

囀話

メトロの「ベン・ハー」は明晩社員倶樂部主催で封切して▲來る二十日から帝國館で大連新聞社後援の下に一般公開するが▲旅順の映畫協會を始め大連基督教靑年會や沿線からの申込みが戰車競走のやうに押しかけてゐる▲大連小劇場ではゆふべ日活食堂で幹部が集つたが、近く宣言書を發表するとのこと▲目下上阪中の旭勝師匠がお土産に大隅太夫をつれて歸るかも知れぬといふので大分期待されてゐる。

大連 JQAK

四月十七日午後七時

▲浪花節（櫻川五郎藏）白川小舟

▲薩摩琵琶（河内宿）慣講湖城

▲長唄（土蜘蛛）大連長唄櫻會社中

▲箏曲（四季の眺）琴富森大檢校

三味線竹内夫人

▲支那唄（坐宮）唱秦筱寳、師付楊樹亭

▲料理献立

▲ラヂオ體操

歸朝した早川雪洲と上山草人

映畫俳優早川雪洲は十二日朝横濱入港の淺間丸で八年振りに歸朝した雨の横濱埠頭には出迎への上山草人を始め映畫關係者一般フアンで華やかな色彩をたゞよはせ時ならぬシーンを呈した【寫眞は船上にて草人と握手する雪洲】

第十四回 満日勝継碁戦（林氏二回勝 二回目）

三子 北條力松氏　二段 林仁作氏

○六一リの十七　●六二トの七
○六三への五　●六四チの五
○六五への三　●六六ニの二
○六七チの三　●六八レの十三
○六九レの十　●七〇ヨの十三
○七一カの三　●七二タの六
○七三タの七　●七四ヨの六
○七五レの五　●七六レの四
○七七ワの四　●七八ヨの三
○七九ヨの二　●八〇カの四

▲清水、林兩二段合評　白六十一は輕卒一著六十二に押し然る後七十一の方面に打つ方よからん、黑六十六は此場合單に（い）に下りて居る方がヨイ、黑六十八は寧ろ進んで六十九に打つ方優る

—【4】—

紙上放送　母國の清元界を訪れて（四）

多波羅生

然らば、延壽から分離した梅吉喜久太夫の清元流の方はどうかといふと、この方は梅吉の天才的な絃と喜久のレコードによつて賣り擴めた名聲とを資本として懸命の努力を爲し、どしどしと名とりを造り出し門下の太夫三味線ひきにも勢力擴張の意味に於て、自由に稽古を爲さしめたので、東都は勿論北は函館、札幌、南は名古屋、大阪、京都、神戸、下關、福岡と非常な勢を以て努力範を擴げ、隨つて門弟連の生活も比較的、餘裕を生じて來たといふ狀態であります。

然し、此派にも唄の方の喜久太夫と絃を主體とする梅吉の兩派に其唄ひ方に差異を生じ、前者が太夫張の荒削りの節なるに對し、後者は絃本位な細い節で、花柳界の黑人筋に深い根を張りつゝあるに加へて、千代太夫、小喜久太夫、梅太夫などそれぞれ獨特の節を有してゐるので、これ又、千差萬別の感なきを得ない。而して道行もの心中ものは、喜久太夫、梅太夫の如き識者もあるが、矢張り聲の質から言つて延壽、巴榮、正等の方に軍扇は上る、その代りお祭もの早間ものは、美聲ならぬ榮壽がそこに生命を發見せんと懸命の努力を爲しつゝあるも喜久太夫に及びもつかず（これは去月廿七日の清元會に鳥羽繪で證明された）又三味線も榮次郎は成程、嘗ては梅吉の高弟ではあつたが、天下一品の梅吉の脚下に及ぶべくもないので、茲に、兩派の一長一短は依然として免れ得ず、清元研究者は一派一人のみでは、滿足し難い狀態なのであります、殊に、絃に至つては高輪派は常に梅吉派の後に隨つてゆくの狀態で此點は高輪派禮讃者も亦如何とも止むなき次第であります。而も双方、高輪派は「梅吉の絃は常に二の調子が半本下つてゐる上、ツンツンとしやくう彈き方は違法である」とけなし、梅吉派は「高輪派の絃は延壽の唄の節に隨つてウラ許り彈いてゐるのみか、唄に生氣がない。延壽自身でさへ、青年當時からの癖たる高音で外れる缺點が今以て治らぬ」などの酷評を投げ合ひ、素人筋をして、その據るところを迷はしめてゐるのであります。

減資整理準備の五品の決算

損失金約七十六萬圓　整理勘定六十八萬圓

大連五品取引所では來る十八日午後三時から大連商工會議所において定時總會を開き、本年度上半期決算を附議するが當期業績は取引不振のため手數料收入の減少を來し收入減をみたる上に支出においては松野前理事の退職慰勞金及び社員の退職手當を計上したので結局二萬三千餘圓の損失金を計上した、更に當期は同社減資整理の準備として不動産、所有々價證券及什器等の減價銷却を行ひ損失金として七十六萬餘圓を計上し更に前理事長の不始末關係のものは整理勘定として約六十八萬三千餘圓を計上したが決算內容を示せば左の如し

損失金七六一、三五三・一二

內譯

項目	金額
所有土地建物減價銷却金	五八七、八四六・三九
所有々價證券〃價銷却金	一四〇、九八五・〇〇
什器銷却金	七、八五六・三六
所有々價證券賣却差損金	二、二二五・六〇
當期損失金	二二、四三七・七七

整理勘定 六八三、二〇四・六二

（其他）商品信託清算事務代行勘定　約四五、〇〇〇・〇〇

當期收入の部

項目	金額
手數料收入	一九、六五一・三九
收入利息	七、六一二・四五
株式配當金	二〇、〇八七・五〇
雜收入	一三、〇五七・六五
記名書換料	三九九・八〇
計	六〇、八〇八・七九

當期支出の部

項目	金額
營業稅	二、九四七・二〇
諸稅	二、二二五・八二
俸給及諸給	四三、六八八・七五
營業費	三四、三七六・七九
計	八三、二四六・五六

整理時期は六月

櫻內理事長語る

櫻內理事長は總會出席のため十五日陸路歸連したが當期決算の內容及び五品整理問題に關し左の如く語る

大體今度の定時總會において減資案を附議する筈であつたが種々の都合で別に臨時總會を開くことにした、五品の整理時期は關東廳から營業繼續認可の條件として七月末日までに實行すればよいことになつてゐるが多分六月頃になると思ふ、今回の決算においては所有不動産其他の減價銷却を行ひ之れを損失金として計上し、更に前理事者關係のものは整理勘定として計上したのものは整理勘定として計上した、當期の業績は收入において減少を示してゐるが支出も前期に比すると大體において減少を示してゐる、尤も諸給の如きは增額を示してゐるやうであるが之は前期株主總會において議決されてあつた前理事松野鶴平氏に對する退職慰勞金及社員の退職慰勞金約一萬五千圓を計上したのと從來後期に繰越してゐた社員の期末賞與などを計上したためである、自分は總會終了後議會出席のため十九日東上更に臨時總會開催の折り來連するつもりである

昭和製鋼所候補地を視察

仙石總裁の意見も聽かう　副島專務來連談

昭和製鋼所問題の渦卷と共に最近定期船毎に製鋼界の大立物が來連前々航には野田八幡製鐵所技監の來連を見たが、十六日入港香港丸にて昭和製鋼所專務に就任の副島千八氏が滿鐵參事兒玉晉匡氏と同來連した、氏は語る

こちらの方に餘り智識がないので見學旁々打合せに來た、今度は大連に相當長く滯留するつもりでゐるが、主として所謂製鋼所設置候補地たる鞍山、撫順、等を視察の上朝鮮經由で歸國しようと思つてゐるその節新義州もよく見るつもりでゐる、會社の方には既にプランが出來上り人の配置なぞも略々決定して使用機械その他附屬品等もドシく運ばれて來てゐるが結局仙石總裁が口にお出しならないので何れにも二の足を踏んでゐると云つた形で居るのではなからうかて勿論仙石總裁の肚の裡はチヤンと決つてゐるものと確信する、何れにしても着々準備は進められてゐるから

候補地 が決定次第仕事に移る事が出來よう、新聞なぞで見てもまだ確立的な文字を發見しないが一體大連の人達はどう考へてゐるんだらうか東京邊りにも滿洲や朝鮮からドシく運動員が上京してゐたが結局この問題は國家的なものであるからそのつもりで掛らねば駄目だと思ふ、徒らに目先の事ばかり考へてゐた日には飛んでもない事になるだらう、要するに自分はこの

來滿を 好機として充分研究し、又仙石總裁その他滿鐵の幹部の人達の意見を聞かして貰ふつもりである

かくて上陸と共に出迎への神鞭理事と共にヤマトホテルに向つた

【寫眞＝（左）副島千八氏（右）兒玉晉匡氏】

我勢力範圍內の鹽の需要と供給（一）

並に關東州及び青島鹽の實情

本篇は滿鐵商工課の調査によるもので我國勢力範圍內卽ち日本內地、朝鮮、臺灣、關東州、千島、樺太、沿海州に於ける鹽の需給關係を研究して供給不足の趨勢を明白にし、之に對し供給資源として最も重要地位に立てる關東州鹽及青島鹽の實情を檢討し更に鹽の自給自足の大方針よりして關東州鹽の前途を究め且つ其の發展助成策を企圖せんとするものである

◇

我國勢力範圍內、卽ち日本內地、朝鮮、關東州、臺灣、千島、樺太、沿海州（所謂北海漁業用）に於ける鹽の需要を供給との過不足如何は我國の食糧問題、工業問題、漁業問題等より見て極めて重大性を有するが現在及び將來に於ける鹽の需給關係及び需要の趨勢は左の通りである

一、我國勢力範圍內に於ける鹽の需給現狀

昭和二年度實績に依るに我國勢力範圍內に於ける鹽の生産高は十八億六千六百三十二萬斤、需要高は二十二億二千三百九十三萬斤で三億五千七百六十一萬斤の不足である、次に各不足狀態を見るに生産不足は日本內地四二、九一七萬斤、朝鮮二三、六五〇萬斤、千島、樺太、沿海州一二、九四五萬斤、計七九、五一二萬斤にして生産過剩は臺灣一二、六六〇萬斤、關東州三一、〇九〇萬斤、計四三、七五〇萬斤、差引三五、七六二萬斤の供給不足である、而して同年度に於ける日本、朝鮮、樺太、千島沿海州の支那外國鹽の輸入高は青島鹽二六、二七八萬斤、山東省鹽九、七七五萬斤、外國鹽一三、六六七萬斤、合計四九、七二〇萬斤である、依つて同年度我國勢力範圍內に於ては自己生産不足高三五七六二萬斤に對し四九、七二〇萬斤の支那、外國鹽の輸入があるから差引一三、九五八萬斤だけ供給過剩となつた計算である、右は臺灣、關東州鹽が其の用途の如何により鹽價、色相、成分等の點に於て支那、外國鹽に比し多少の遜色ある關係上自己生産餘剩額の全部を內地、朝鮮、千島、樺太、沿海州に輸移入することを得ざりしに基くもので結局兩者合して一五、五六二萬斤の産地ストックを生ずるの狀態に陷れる次第である

二、將來我國領域內に於ける鹽の需給見込

我國領域內に於ては自己生産高のみを以ては近き將來左の如く鹽の供給不足を來すのである（單位萬斤）

一、昭和七年度

（イ）自己生産高が最高限度の場合（卽內地臺灣朝鮮は最近七ヶ年實績の最高率により關東州は現有鹽田が熟田化し且つ全能力を發揮せる平年作柄とす）

項目	數量
生産總額	二三六、四四三
需要總額	二五二、七五四
差引供給不足	一六、三一一

（ロ）自己生産高が最近七ヶ年間實績の平均率による場合

項目	數量
生産總額	一八五、四七五
需要總額	二五二、七五四
差引供給不足	六七、二七九

二、昭和十二年度

（イ）自己生産高が最高限度の場合

項目	數量
生産總額	二五六、四四三
需要總額	二八二、八五八
差引供給不足	四六、四一五

（ロ）自己生産高が最近七ヶ年間實績の平均率による場合

項目	數量
生産總額	一八五、四七五
需要總額	二八二、八五八
差引供給不足	九七、三八三

以上の豫想は我國勢力範圍內に於ける需要高を其の自己生産高のみを以て賄ふこと〻しての生産不足見込高なるが但し關東州のみは現有鹽田に增減なきものとして想定してゐる

普蘭店灣內に州鹽の積出施設

近く工事着手の模樣　關東廳滿鐵聯合視察の結果

既報關東廳の普蘭店、貔子窩管內における州鹽積出港並施設の視察は十四、五兩日に亙り關東廳側は竹內土木課長、中村、松田兩技師、飯島技手、滿鐵より田村興業部長、武部商工課長、川口港灣主任等に民政署員も加はり普蘭店灣內篦箕島貯鹽場及附近の積出施設豫定地貔子窩大長山島四塊石の貯鹽場等を視察したが前者には鹽田と合せて約廿萬噸、後者には約七萬噸の貯鹽があり兩地共州鹽の積出地としては便利な位置を占めてゐるが先づ第一候補地としては篦箕島が有望で後大連島を埋立て六十間程の棧橋を設けると干潮面約六尋の水深で約一千噸級の本船を橫着けになし得る見込があり、大長山島の方は三官廟に約十五間の棧橋を作れば水深九尋同じく積出に便利であるが兩地共東南の風を受けるので此點が問題となつてゐるが結局關東廳では州內鹽業開發、積出費用節減の爲めに約十五、六萬圓を投じ普蘭店灣內に積出施設工事を近く起すものと觀られてゐる

新銀價鑄造は金本位への一步

當分江蘇浙江二省だけに流通　銀兩制度は廢止する

【上海十六日發電】國民政府が貨幣統一の見地から新銀貨を鑄造するに決したることは既報の通りであるが右新銀貨はケムメラー顧問の意見を採用し金本位に改正する第一步としての計畫であつて中央銀行より發行し當分の間は江蘇浙江二省だけに通用せしめ漸次全國に及ぼす豫定である、これがため右二省に現在流通しつ〻ある各銀行發行の紙幣は全部最短期間に回收し、中央銀行は新銀貨と同時に新紙幣をも發し銀兩制度はこれを廢止する意嚮であると、尙新銀貨は大體メキシコ弗に準じて鑄造し一圓の本統貨幣の外五十錢、二十錢、十錢、五錢、一錢等の補助貨幣をも新に鑄造する筈

經濟調査會特別委員會

來る廿一日　大連商議で開催

關東廳第五回經濟調査會特別委員會は第一號案から開催されるはずであつたが、同案は目下源田幹事長が上京中であり、神田會長も上京するのでその歸任後に行はれること〻なり、來る廿一日午後四時から大連商工會議所において第二號案について開催されること〻なつた

▲二號案　滿洲に於て特に發達せしむべき重要工業の種類並びにこれが方策如何

四油坊豆粕寄託禁止

大連同聚厚、福聚恒、萬慶昌、中和の四油坊は十四日から來月七日迄廿四日間大連及小崗子兩驛に對する混合保管豆粕の寄託を禁止された、その理由は右四油坊は二月より三月にかけ大連埠頭寄託混合保管豆粕中に故意に不良品を混入寄託し檢査人を欺瞞したことが發見されたからである

奉天に於る經濟槪況

―三月中―

朝鮮銀行奉天支店調査＝三月中に於ける奉天の錢鈔金融狀況は左の如し

錢鈔市況

△金票對大洋票　各地銀塊相場の暴落を入れて三日六十圓臺に辷り四日上海標金の大崩落を受けて七十圓臺に反撥した、其後は流言蜚語に不安裡に大市往來を續けたため現大洋票も同樣六十八、九圓臺を往來せしが中旬標金相場の軟化に再び七十圓臺に反騰せしも依然安値材料のみにて大勢鈍狀六十九圓中心に保合越月した

△金票對奉天票　現大洋票の流通增加に伴ひ奉天票は僅かに補助貨として使用さるるに過ぎず、從つて奉票相場も現大洋票の高低に追從して月初八、五四〇元より八、七二〇元と上伸び爾來ヂリ安を辿り十三日安値八、五六〇元月末銀安に上騰八、七四〇元にて越月した

金融狀況

敍上の如く輸出入各市況共に銀の崩落不安定と內地不況に相變らず賣行不振搗て〻支那側方面の金融逼迫は小口取引に止り極めて閑散を持續せるの結果金融方面は沈滯裡終始した、組合銀行本月末帳尻は預金一五、四四九、六一四圓、貸出二三、〇二四、七〇二圓、前月末に比し預金四十七萬五千圓、貸出十萬八千圓の各增加を示した、當月手形交換所取扱高は左の如し

	枚數	金額
本月	二、九五〇枚	[illegible]
前月	二、六四四枚	[illegible]
前年同月	三、〇四五枚	[illegible]

五品市場の代用價格引下

五品取引所では定期取引賣買證據金代用證券及身元保證金代用價額中左記の通り變更し來る十七日より實施するが右變更による不足額は來る廿一日正午限納入すること〻決定した

銘柄	證據金代用	身元保證金代用
豆信	三八、〇〇〇	三八、〇〇〇
新豆	一二、〇〇〇	一二、〇〇〇
錢鈔	一三、〇〇〇	一三、〇〇〇
製氷新	二〇、〇〇〇	[illegible]
正隆株	一二、〇〇〇	[illegible]
同第一新	五、〇〇〇	五、〇〇〇
同第二新	三、〇〇〇	三、〇〇〇
日本郵船	四〇、〇〇〇	四〇、〇〇〇
同新	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
大阪商船	二八、〇〇〇	―
同新	六、〇〇〇	―
東拓新	八、〇〇〇	―
鮮銀	―	四〇、〇〇〇
同新	―	八、〇〇〇

尙現物組合でも現物取引の證據金及び賣買證據金代用價格を定期取引に準じそれ〴〵引下げた

朝鮮人蔘の保管倉庫設置

朝鮮人蔘の拂下げを三井物産會社が專賣局から一手に引受けて海外輸出の爲め一旦芝罘に積出し同地において保管の上各地に輸送しつゝあるが最近支那時局の不安と苛重なる徵稅のため事實芝罘保管と同地よりの輸送は不可能となつたので同社では種々考慮の結果此程專賣局開城出張所構內に倉庫を建設して同倉庫に搬入貯藏し從來芝罘に於ける如く各需要地に向け直接輸送することになつた

御斷り　記事輻輳につき「昭和製鋼所と滿蒙開發」は休載

黄塵

◇…企業の合理化は同種事業の合同協調に在りとされ從つて企業形態の變化を招來し、曰く中京、曰く綿花輸入業のプール化等々……を中心とする私鐵の合同、曰く時代の流れは自己陶醉の企業資本家を押流す。

◇…二十有年の歴史を持つ大滿鐵も自然膨脹せし身體に打診を加へ動脈硬化の危期を豫防するため經濟會社整理のメスは閃く。

◇…そして審議會の盟行は纖昌華工と國際運輸の合同、大連醫院の本社還元、大連汽船の本社合流等々種々に喧傳せられてゐるが、序を逐ひ順を考へ贅肉を切り腐骨を斷たんとする仙石總手の腕前や果して如何。

市況

今日の相場

特産

▲五品　先限七圓六十錢
▲新株　新豆先二十二圓六[illegible]
▲綿糸　福助一六六圓三[illegible]
▲綿布　氣迷裡に見送る
▲麻袋　現二十八錢見當

人氣添はず閑散を極む

相變らず人氣添はず見送つて一般に閑散を極めた、大豆、豆粕動かず、豆油出來不申、高粱は小堅し、今日の油房生産高は六萬七千二十八枚で昨日より六千餘枚を減じた

◇定期前場（銀建）

▲大豆（弱含）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
四月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
五月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
六月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
七月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高　九五車

▲普通大豆　出來不申
▲豆粕（保合）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
五月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
六月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
七月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高　三萬九千枚

▲豆油　出來不申
▲高粱（小堅）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
四月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
五月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
六月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
七月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高　二十八車

▲包米　出來不申

◇現物前場（銀建）

品目	寄付	大引
混保大豆（袋込）	七一〇	七一〇
普通大豆（裸物）	七〇八	七〇八
大豆出來高	六十車	
豆粕出來高	三萬二千枚	
豆油出來高	一千二百箱	
豆油	二〇一五	二〇一五
高粱	四六三〇	四六四〇
高粱出來高	一二車	
包米	四五五〇	四五五〇
包米出來高	一〇車	

◇定期喰合高（十五日帳入）（前日對比　增△印減）

品目	喰合高	前日對比
大豆	三四四三車	三車
高粱	二三六五車	△七車
豆粕	一六九二千枚	―
豆油	一九六〇百箱	一千箱

錢鈔

材料變らず鈔票保合

今朝の海外材料としての倫敦銀塊は十九片十六分の九と（同事）先物十九片二分の一と（十六分の一安）紐育は四十二仙八分の三と（四分の一安）孟買は休會、滙兌は七十一兩〇二五、滙中は七十二兩八〇大洋は九十八圓八十錢、日米は四十九弗十六分の五と（同事）英米クロスは八十六仙三十二分の九と（三十二分の一安）米支は四十七弗四分の一と（同事）上海標金は五百兩五と一兩三十錢安に寄り五百二兩と止め銀價は保合であつた

◇定期取引（單位錢）

限月	寄付	高値	安値	大引
期近	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高　期近　九十八萬五千圓

◇現物取引（單位錢）

時刻	銀對金	銀對洋	金對洋
九時	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十時	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十一時	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十二時	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高（銀對金　十萬五千圓）（銀對洋　萬九千圓）

商品　前場

麻袋（氣迷）　産地鐵嵜四分一安爲替八分一安と弱保合を入れたるも地場氣迷の姿にて際なく見送り勝ちにて保合裡に散會した、引際氣配は現二十八錢四月二十八錢五厘五月二十八錢五厘六月二十八錢七厘七月二十九錢八月二十九錢三厘見當

豆

昨今各品共ボンヤリ商狀で閑散を極め閑古鳥が啼いてゐるが今朝の如き豆油の手合せがないやうな始末▲その原因は引續き材料薄で不冴えの折柄、これといふ新規材料もとんと現はれぬによる▲十五日帳入定期喰合高は前日に比し大豆三車、豆油一千函を增したるに過ぎず、高粱は七車を減じてゐる▲手合せは大豆で三井、豐年、日清買ひ、普通品は永衡、瓜谷賣り、三井、日清買つた、豆粕では三井、三菱、瓜谷が買つた▲然し材料出現により相場動けば値頃取引の氣構へが實需方面に相當潛在してゐるらしいので茲許氣迷ひ商狀と觀られてゐる

株

今朝大阪諸株は六七十錢安、新東短期は五十錢高と區々を入れ當市は依然として氣乘薄の場面を呈し五品、新豆、錢鈔共閑散裡の保合であつた▲內地市場も人氣の動搖は稍落着きを示してゐるが相場は相變らず不透明な商狀を呈し生氣のない場面を呈してゐる▲賣買双方とも一息入れた形で機會待ちに見送つてゐるがどうせ賣屋の仕勝つた相場だけにもし多少でも戻しをみせたら再度の賣人氣を誘發するであらう▲いづれにせよ昨今財界四圍の環境は惡氣流等を中心とした勞資間の險惡一寸買つて出られる時期ではなさそうだ▲櫻內理事長も昨日來連したので五品整理の前提として資産內容も愈々闡明されること〻なつた

銘柄	約定期	値段	枚數
福助	七月限	一六六、三〇	一〇
同	九月限	一六七、四〇	六〇

出來高　七十梱

綿糸布（保合）　米棉七、八十錢方の低落、印棉休會明一圓方安、大阪三品前場寄各限二圓五、六十錢方の低落、銀塊米日共同事、銀票不變、當市買氣薄と氣迷ひ濃厚にて閑散裡に見送る

銀

海外材料としての銀塊は倫敦現物同事先物一安と期待に反して下げ戻り、孟買はガンジーの不服從運動にて入報なく▲米日は同事を報じ依然として特殊材料なく▲上海標金は五百兩三と寄り、乘換鞘一兩九匁先安見當にて賣り方の崩れを期待し小波瀾を豫想されしも意外に保合を續けた▲地場鈔票も依然として活氣なく無味閑散の商狀を呈した▲一時市場を賑はしたマバラ思惑筋も氣拔の呈にて一服模樣▲目先邦人筋は一般に安豫想なるも商筋は強氣を唱へるもの多きを占むるに至つた▲時局が安定せぬ限り一段安値は一寸豫想し憎くからう

株式

內地株弱含み　當市保合

今朝北濱寄は大株六十錢安、大新六十錢安、鐘紡七十錢安、鐘新二十錢安、東新四十錢安、東京短期は東新五十錢高と報じたが當市定期五品、錢鈔は同事、新豆十錢高、新東七十錢高、現物五品十錢高、大新三十錢高、東新十錢安、鐘新七十錢と保合つた、出來高定期[illegible]十枚、現物二百八十枚

前場

◇定期

銘柄		當限	中限	先限
五品	寄	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新豆	寄・引	[illegible]	[illegible]	[illegible]
錢鈔	寄・引	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新東	寄・引	[illegible]	[illegible]	[illegible]
五品	中・引	[illegible]	[illegible]	[illegible]

◇現物（甲部）

銘柄	寄付	高値	安値	大引
五品	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
商信	―	―	―	―
新豆	―	―	―	―
錢鈔	―	―	―	―
氷新	―	―	―	―

◇現物（乙部）　大新　東新　鐘新 [illegible]

◇爲替及受渡日步　[illegible]

滿鐵株

▲東短前場　滿鐵新株　三三圓六〇錢
▲大阪現物　滿鐵新株　[illegible]
滿鐵親株　[illegible]

後場（保合）

◇定期　六七圓〇〇錢 [illegible]

株式出來高（十六日）

定期	一〇〇枚
現物	六二〇枚
合計	七二〇枚

五品證據金引下げ

大連五品取引所では株式定期取引賣買證據金定率を左記の通り變更し十七日後場賣買の分より實施すると

△新豆株二圓△錢鈔株二圓△五品株二圓

上海爲替情報

【上海十六日發電】銀塊は海外各地共在銀稍減少し下鞘り保合、金當鼻信亨約一千本買ひ元茂永義豐永賣る、磅は麥加里買ひたる外銀行間の商內も少く投機筋圓少々買埋め正金、三井、支那銀行賣る、休日を控へて新規商內なく閑散

上海標金

寄付	五〇〇兩三
高値	五〇一兩一
安値	四九九兩五

白米小賣標準

大連米穀同業組合が十五日發表した白米小賣値標準は朝鮮米は保合ひ滿洲米は特等米が一叺につき十錢の値上りを見た（單位一叺は四十三瓩入、一袋は三十瓩入）

品目	單位	價格
△朝鮮米　檢査特等	一叺	十一圓七十錢
同	一袋	八圓二十五錢
△滿洲米　檢査特等	一叺	八圓六十錢
特等	同	八圓四十錢
檢査一等	同	八圓三十錢
一等	同	七圓六十錢

爲替相場（十六日正午）

正金（銀勘定）
日本向參着賣（銀百）[illegible]
同　十五日買（同）[illegible]
上海（向參着賣銀百）[illegible]

正金（金勘定）
倫敦向電信賣（圓）[illegible]
信用付二月買（同）[illegible]
米國向電信賣（百圓）[illegible]
同九十日拂買（同）[illegible]

鮮銀（金勘定）
倫敦向電信賣（一圓）[illegible]
同　二ヶ月買（同）[illegible]
紐育向電信賣（金百）[illegible]
上海向電信賣（金百）[illegible]
同　賣（銀百）[illegible]
日本向電信賣（銀百）[illegible]
同十五日拂買（同）[illegible]

錢鈔
奉天（奉票）現物・先限　[illegible]
大洋票　定期・現物　[illegible]
開原（奉票）現物・先限　[illegible]
同（鈔票）現物・先限　[illegible]
安東　近期・遠期　[illegible]
鐵平銀
哈爾賓（大洋）現物　[illegible]

經濟部電話　八四五五番

市場電報（十六日）

銀塊及爲替

品目	相場
倫敦銀塊	[illegible]
同　先物	[illegible]
紐育銀塊	[illegible]
英米爲替	[illegible]
米日爲替	[illegible]
米支爲替	[illegible]

棉花

●米棉（換算金錢安）　現物　五月　七月　十月　十二月　一月　[illegible]
●印棉　ベンゴール　ヂヤーチ　オームラ　[illegible]

大阪株式

銘柄（大株・大新株・大紡新・鐘紡・日郵・東新）　前場寄　前場引　[illegible]

東京株式

銘柄（東株・東新）　前場寄　前場引　[illegible]
五品（當・中・先）　[illegible]
豆新（當・中・先）　[illegible]
同（短期）東新　[illegible]
寄付　引値　高値　安値　[illegible]

大阪期米

當限・中限・先限　前場寄　前場引　[illegible]

東京期米

當限・中限・先限　前場寄　前場引　[illegible]

大阪綿糸

四月・五月・六月・七月・八月・九月・十月　前場寄　前場引　[illegible]

大阪棉花

寄引　大引　[illegible]

神戶豆粕

當限・先限・四月・五月・六月・七月・八月　前場一節　[illegible]

橫濱生糸

限月　四月・五月・六月・七月・八月・九月　前一節　前二節　[illegible]

印度麻袋

青筋直積　織筋直積　爲替相場　[illegible]

奧地市況（十六日前場）

特産

▲大豆　開原・長春・公主嶺・哈爾賓（五月限・六月限・七月限）　寄付　大引　[illegible]

▲高粱　開原・長春・公主嶺・哈爾賓（五月限・六月限・七月限）　[illegible]

▲小麥　哈爾賓（五月限・六月限・七月限）　[illegible]

錢鈔　[illegible]

止値　五〇〇兩二

手形交換高（十六日）

	枚數	金額
金	八〇五枚	[illegible]
銀	三四四枚	[illegible]

社説

對立のまま有耶無耶か

支那最近の政局

蔣介石氏を中心とする南京政權の勢力が最も優勢とあつて例の反蔣聯盟なるものが組織され、その反蔣組織がそれからそれへと變轉して遂に昨今の如きに至つた。所して蔣氏は常に機先を制して反蔣派を打討して來たがさて南京政權の基礎が蔣氏の勝利によつて鞏固を加へ來つたかといへば必ずしも然らず、ただ徒らに反蔣運動なるものは、それからそれへと模樣がへせられるといふに過ぎぬ。かくて支那の南北統一は依然として舊の如く軍閥抗爭の年中行事を繰り返すに過ぎぬのは支那のために遺憾千萬である。

◇

昨今も形をかへた反蔣運動、たとへば閻と馮と改組派と西山派といつた水と油とを混淆したやうなただ反蔣といふ共同目的のために勝手な理窟を捏ね上げ、つひに北方政權を呼稱した南京政權に對立せしめんとしてゐる。而して最近は馮玉祥氏が天下を統制すべく親日宣傳をさへしてゐると傳へられる。親日宣傳は勝手だが反蔣運動の盟主が閻錫山氏であつたかと思ふと、今度は馮氏が第一人者たらんとするが如くに傳へられるところ、そこに却つて形勢の不熟といふやうな事實があるのではあるまいか。

◇

翻つて南方の形勢を觀望するにさすがの蔣氏も依然の如き神出鬼沒の出足を見せず、北方の宣傳戰に對して徐州方面の前線視察と觸れ出すの餘儀なきものあるは抑も何を物語るか。事件毎に反蔣聯盟に打ち勝ちつゝシカも南京政權の地盤は鞏固にならず、たゞ政治解決のために財閥の懐中を痛むるのみなるは南京政權に中央政權たるべき要素に何か缺くるところがあるからではあるまいか。かくて南京政權に對峙する四周の軍閥も新陳代謝、依然として舊態を改めざるは支那國民革命の惱みであるといはねばならぬ。

◇

かくて北方の各軍閥も支那の實情よりして當然に存在の理由を有し兎も角も反蔣聯盟を構成して抗爭の相手方なり得るのである。併しながら閻氏にしてもまた馮氏にしても又は汪氏その他の政客にしても今日の情勢を以てしては、如何にするも南京政權を推倒するだけの勢力を盛り返すことは絶對に不可能なりといふことが出來やうと思ふ。閻氏が北平に乘り込み軍政府を組織しても又は馮氏が閻氏に更つて勢力を占むることあるにしても辛うじて南京政權に對抗し得る勢力を把握するに過ぎず、結局、從來の情勢をただ反蔣的に些か旗幟を明確にするといふほどのことであらうと思はれる。

◇

かく考察し來ると今次の反蔣聯盟運動も歸するところは支那の南北對峙の形勢を少しく抗爭的に濃厚たらしむる程度であつて支那の大局よりせば依然として走馬燈を繰り返すに過ぎぬのである。そこに新味もなければ曙光もなく前途の五里霧中なるは支那のために氣の毒千萬である。換言すれば蔣介石氏にも反蔣聯盟を推倒するだけの實力なく、また反蔣聯盟各軍閥は勿論のこと各軍閥の個々に至つては或ひは分解作用に動搖せられて自滅するより外なき底のものであるだけに、利害を一にするものが共同し自己防衛のために反蔣運動を組織するといふやうな結果となつたものに外ならぬ。

◇

されば南京政權を首め北方の各軍閥も總すくみの現狀にあり、これならば寧ろ弱いもの同士で不戰條約を締結し軍縮會議でも開くべきであらうが、それもならず事實の如何に拘らず先づ宣傳戰に憂身をやつすとは支那の現實よりして全く如何ともすべからざることであるか。支那の現實が、かくの如く業火に掩はれてゐる以上は前述の如く蔣も閻も汪も抗爭のために抗爭し天下は四分五裂、南北は對峙の情勢を以て有耶無耶裡に推移するのではあるまいか。而して南北の勝敗を一決するが如き關ヶ原戰は行はれず、總すくみの現狀を以て日時の經過に委せられるものと觀測せらる。關ヶ原的解決は結局彼ら軍閥の命脈を縮むるの結果となるのであるから、最後の總決算をせず半上落下の未解決を持續するものと觀るの外はあるまいと思ふ。

華府條約と相違した應急事項を英米が協定

ス全權より若槻全權に披露 日本は回答をせず

【ロンドン十六日發電】最も信頼すべき筋より聞く處に依れば英米は應急事項を協定しスチムソン全權より十五日夜の日本側招待の席上にてこれを若槻全權に披露したが右應急事項中には何等商議事項を含まぬものであると又會議方面の報道に依るとイギリスは太平洋四國條約の第二條に依る參加各國は他國の攻撃に對する行動を考慮する際關係各國と商議するを要すとの規定を避けん事を提議しスチムソン、マクドナルド、アレキサンダー三氏會商の結果左の如き協定に達したと信ぜらる 若し或る國がこれに對立する國の挑戰的な建艦に依り脅かさるゝ時は其の國は唯他の締約國にこれを通告するのみにて安全保證維持のため建艦をなす事を得、他の各國はこれに從つて同一艦種を同一量丈建艦する事を得故に右協定はワシントン條約第二十一條と全く相違するものである、日本はこれに對し未だスチムソン氏に明確な回答を發してゐない

國產品の愛用を政府大規模で宣傳

各閣僚が地方に遊說

【東京十六日發電】濱口首相は十六日午前與黨幹部との會見において國產品愛用獎勵宣傳を大規模にすべしとの進言を受けたので、安達內相を招致し種々協議の結果與黨側の進言を採用する事となり取敢ず左の方法を實現する事に決定した

一、國產品愛用獎勵宣傳費は十五日の閣議で大體決定を見たるもこの際與黨側の意見に從ひ更に大藏省と協議して出來るだけ多額の經費を支出し得るやう追加豫算を訂正する事

一、安達內相は地方長官會議召集を利用して政府の所期する處を詳述してその趣旨の徹底と宣傳に遺憾なきを期するやう申し渡す事

一、政府は特別議會後において首相自ら陣頭に立ち地方遊說リーフレットの署名等凡ゆる宣傳策を講ずる事

一、各閣僚においても議會後は各地方に出て大々的に宣傳に從事する事

國產品愛用に進言

【東京十六日發電】民政黨の增田幹事長、各總務は十六日午前十時十分首相官邸に濱口首相を訪問し十五日總務會で決定せる國產品愛用獎勵に關する實行方法につき進言する處があつた

初任級引下問題 貴院兩派說明を聽取

【東京十六日發電】義務教育費國庫負擔增額問題を重視する公正會は教員初任給引き下げ問題が傳へられてより更に深甚の注意を拂つて來たが十五日午後政務調查第四部會を開き潮內務次官の出席を求めて詳細なる說明を聽取し更に研究會の政務、審查、內務、文部、商工、農林の聯合部會でも潮次官を招ぎ同樣說明を聽取したが、研究公兩派共初任給引下げ問題に就いては國庫負擔金一千萬圓を無意義ならしむるものであるとの意見多く潮次官の說明についても不滿足の意を表してゐる者が多い

同和會の協議 對支問題研究

【東京十六日發電】貴族院同和會は十六日午前十時より例會を開き義務教育費國庫負擔增額問題、軍縮問題、小橋文相奏請責任問題、財界問題等につき意見の交換をなしたが特に對支問題に就ては、日支關稅交涉並びに小幡公使アグレマン拒絕等の外まだ外部に現はれぬ問題で外務當局が屈辱的讓步をなしたと思惟される節が多いから會としては深甚の注意を拂ひ調查研究し置く事を申し合せて正午散會した

貴院論陣 政友系の顔觸れ決る

【東京十六日發電】十五日夜の幹部會に於て特別議會に臨む陣容は大體決定せる政友會では更に政府の失政を一院に於て糺彈すべく政友系貴院議員有力者と連絡を取り種々協議中であつたが、いよいよ左の如き陣立を以て衆議院と呼應して政府を窮地に陥れるべく痛烈なる論陣を張ることに決定した

一、綱紀肅正問題(小久保喜七)
一、財政經濟問題(勝田主計)
一、失業問題(山岡萬之助)
一、選擧干涉問題(鵜澤聰明)
一、軍縮國防外交問題(竹越與三郎)

貿易局新設案 結局原案可決

【東京十六日發電】貿易局新設に伴ふ商工省官制中改正案の第一回樞府精查委員會は十六日午前十一時より開會俵商相より詳細に說明し正午休憩午後一時半再會委員より相當猛烈な質問あつたが結局原案を可決し二時半散會した

統計課長會議

【東京十六日發電】今秋の國勢調查第三回勞働統計實地調查並びに國際統計會議に對する準備打ち合せのため全國各官廳統計課長會議は殖民地關係も含めて百五十名參加し十六日午前十時より內閣統計局で開會協議に入つたが、十八日まで續行の豫定

齋藤情報部長 財部全權と歸朝

【東京十六日發電】外務省側隨員齋藤情報部長は廿二日條約調印後財部全權と共に會議經過報告のためシベリヤ經由歸朝するに決した

攻勢に出られぬ蔣氏の立場

各方面とも援助せず

【北平十六日發電】蔣介石氏が今一に至るも攻勢的態度に出でず南北對峙の情勢を持續してゐるのは左の如き理由に基くもので南京側の形勢漸次面白からざる事が看取される

一、蔣介石直轄軍のみにては閻馮兩軍に對し勝目なき事
二、浙江財閥が形勢を見越し財政的に援助を控へた事
三、宋子文の軍費調達が失敗に終つた事
四、奉天派が武力的援助を拒絕せる事
五、山東、河南、湖北、安徽、各省雜色軍の態度判明せざる事
六、馮閻の聯絡が案外鞏固なる事
七、廣東方面が依然不安なる事

來連した北平陸大生一行

改組派の主張(下)

救國鐵則は三民主義

蔣は專制政治家

これによつて見るも吾々の黨國に對する主張及び態度は明らかであると思ふ、黨を以て國を治むる事は先づ總理唯一の主張であつて中國の現狀を觀るに如何に左傾しても共產主義となれず又如何に右傾しても資本主義にはなれないのだ、この殖民地の地位に在る中國としては三民主義一實行して初めて國家が救はれるのである故に以黨治國の意義は、三民主義、建國大綱によつて黨を整へ以て全國を治め生產を增加し、建設事業を進め以て國難より救ふのであつて決して少數の黨員が陞官したり金を儲けたり、個人で政を擅にすることではないのである、

× ×

南京政府成立後二年になるが外債を濫借したり秘密條約を締結せる外に、民生建設方面に何一つ表はれてゐる事實があるか、三民主義を實行しないばかりでなく、第一次全國代表大會で決議した對內對外の大綱も亦實行されてはゐない

× ×

蔣介石上臺後の唯一の目的は即ち個人の專政である、故に主席の名義を以て一切の事を壟斷し總統制を回復せんと部下をして頻りに運動せしめてゐたではないか、前年の冬には張某を上海に派遣して總統制回復問題に關して余等に意見を徴した事がある、其時私は、蔣の總統には自分は反對しないがたゞ一大疑問がある、如何なる方法で總統になるかだ、國會から選擧されたいのなら先決問題として縣議會、省議會、國會がなければならぬ、然るに黨の規定には其組織法がない、蔣は黨の總則を改變するだけの度胸があるか、それが出來ねば事實上總統制の復活は不可能である、又若し黨部から選擧されたいのなら黨としては約法を制定する能力しかなく憲法なぞ制定されぬからこれも駄目と云はねばならぬ、全國代表大會から選擧されたいなら大會は每年一回開かれるから今年選出されたとしても明年はどうなるか判らないと答へたところ張は一言もなく去つた、

× ×

蔣介石はこれを聞いて非常に憤慨した揚句我々を改組派と稱し猛烈な壓迫を加へるに至つたのである一般ではこの間のことを知らないものだから皆我々を改組派と云ふやうになつたので吾々としては如何とも致し方がない、今回我々が來たのは簡單にいへば蔣を倒すため各方面と聯合し一致團結するのが目的であつて、現在我各路軍は既に動員し總攻撃の期は目前に迫つて居り蔣が倒れるのは當然の成行である、汪先生は今も香港に居るが、軍事が展開し我政府の組織が確定したならば北上して閻氏と一切を協議する事になつてゐる(完)

巡洋艦借入交涉

中央の要求を奉天派拒絕す

【奉天十六日發電】蔣介石氏は山西軍の背後を衝くべく上海駐屯軍を天津に輸送するため奉天當局に巡洋艦の借り入方を要請して來たが奉天當局では山西側に對し中立嚴守の通電を發してゐるので若し山西派がこれを探知する處となれば我信用を失墜するのみかこれがため山西側の反感を招き遂には戰爭を惹起するやうにならないとも限られぬのでその處置に諒承を乞ふと婉曲に之を拒絕したと

奉派の防備方針決定

【奉天十六日發電】蔣閻兩氏の抗爭が漸次本舞臺に近づいて來た爲め張學良氏は愈々兩者交戰の場合における東北省の處置につき數日前各軍首腦部を召集協議した結果防備を左の如く決定直ちに準備に着手したと即ち

灤東一帶の防務は于學忠、汲金純を臨時警備總指揮として山海關駐屯の騎兵第一師全部及び綏中駐屯の步兵第四旅、義縣駐屯の同第廿旅、錦縣、彰武駐屯の同第八、九の兩團を灤東一帶に進出せしむると同時に航空第七隊(飛行機十二臺)工兵第三、第六の兩營を增派し航空隊は撫寧に駐屯せしむること

にした、而して之が兵站處は灤縣に設くることゝし現糧秣廠第一科長鍾延財を處長に任命したと

北寧線の責任分擔

【奉天十六日發電】支那側の情報によれば張學良氏は北寧鐵路が交通、財政その他外交上最も重要な關係があるので時局柄更に之が輕視を許さず、最近蔣閻兩氏に提議し必要の時には灤河を境に灤西北平間の交通責任は山西當局が負ひ灤東瀋陽間は東北政府が之を負ふこととし而して一切の收入は依然北寧鐵路局が之を統轄する外他方面には干與することを得ずとし既に蔣氏の諒解を得てゐると

西北軍の積極行動 兩戰線展開か

【漢口十六日發電】昨日京漢線の郾城と漢水上流の老河口とが同時に西北軍に占領されたとの說傳はり當地人心に衝動を與へたが、武漢當局が極力否定した爲め稍不安は薄らいだ樣であつたが、夜に入つてから死傷者約三百名を搭載せる軍用列車が到着せる事實ありこれに依つて見ると西北軍は愈々豫定の如く京漢、隴海兩戰線に於て積極行動を開始したものと信ぜられる

北支の財政事務新整理處で統一

南京政府の命令無效

【北平十六日發電】閻錫山氏は十五日附北平天津にある各財政機關に左の如く電命した

山西、河北、察哈爾、綏遠財政整理處を設置し賈司令が督辦を兼任す、爾後河北省北平天津に歸すべき各財政機關は財政整理處の管轄に歸し南京政府の命令は一切無效とし總ての報告は右整理處に報告すべし

國際聯盟裁判 米判事

【ワシントン十五日發電】フーヴァー大統領は本日ヒューズ氏の後任としてローランド、ダブリュ、ポイデン氏をヘーグの國際聯盟裁判所判事に任命した

國境に大飛行場

吉林當局に計畫はあるがその實現は相當困難

【ハルビン特電十五日發】四十萬元を投じてハルビンを中心にポグラニチナヤ沿岸富錦に飛行場を設け格納庫を完備して國防上の空軍を充實することに決定し吉林省政府は近く實行すると支那側で傳へてゐる、これに對し某要人は語る

支那のすることは其れが實現するまでは何ともいふことはできない、航空郵便の輸送計畫でも米國と南京政府が既に協定したものを途中で行き惱みとなつてゐる狀態である、投資者のある航空事業ですらこの通りだ、吉林省として斷行しやうとすればやれぬことはないが、財政的に餘裕なくその上儲けのないものに金をかけるかどうか疑問だ恐らくさういふ希望はあらうが實現は六ケしい、第一飛行家の養成が不充分では飛行場がいくらあつても駄目だ、のみならず四十萬元位ではソヴエートに對抗するやうなものはできない

印度の暴動惡化

暴徒二十名を逮捕

【カルカツタ十五日發電】カルカツタの大暴動はその後も終熄せず九名の歐洲人負傷し夜半となつても被害ありドワニポール地方の暴徒は電車に投石し數臺を破壞し遂に病院にも投石沙汰に及ぶに至り看護長を負傷せしめた爲め警官隊はこれを包圍し二十名を逮捕した

アムリツサー地方に暴動

【ラホール十五日發電】アムリツサー地方は十五日より不服從運動の暴動あり急報に依り軍隊出動して警戒に當つてゐる

プーナにもボイコット勃發

【ボンベイ十六日發電】印度議會議長ネール氏逮捕の結果プーナに於てもボイコットが起り通行人より外國製の帽子を奪つて燒却してゐるが其の首領數名は逮捕された

アビシニヤに叛亂起る 首都を占領

【ロンドン十六日發電デーリー、ニユース紙カイロ特電に依ればアビシニヤに於てタフアリ攝政に對する叛亂起り叛軍は既に二回の戰鬪でフアリ軍を破り首都アヂスアベバに入り形勢頗る重大でタフアリの失脚は免れぬであらうと、右叛亂は舊のアビシニア元首ザオジツツ女王の崩御がタフアリの攝政の惡計に依つたものであるとの嫌疑に依つて起つたものであると

獨逸の失業者は日本の十倍

汽船の機關はディゼル化 長長崎製鋼所技師長語る

【ハルビン特電十五日發】ベルリンの工科大學で四ケ年間ディゼルの研究をして歸朝の途にある長長崎製鋼所技師長は語る

ドイツの失業者は日本の十倍といはれ、失業保險施行の可否につき二派にわかれ、そのため[illegible]府は倒れたが、實施せよとの意見が強く

共產黨の跋扈には惱まされてはゐるが、鎭壓出來ると新政府は言明してゐる、最近日本人が三名死んだ、そのうち新潟醫大の山口教授は米國に一ケ年ドイツに一ケ年の研究を終へ、この四月歸朝することになつてゐたが、菌の研究中、頸部の傷に黴菌が入り丹毒となつて客死した、醫學界のため惜しいことだ、その他同地居留邦人のうち料理屋の主人と料理長が肺病で死亡したが生きて歸れるのは及第點です、汽船の機關は全部

ディゼル化する時が來てゐるが日本郵船が一千マークも出して誰も買はないエヤー・コンプレス・ローラーを註文し秩父丸の姉妹船に使用するとのことだが、五六年は遲れてゐる

瀋海沿線の特產滯貨

六百車に上る

瀋海線における特產物の集散地として知られてゐる山城鎭市場は解氷と同時にその取引も一段落を告げ從つて特產の品薄を見るが本年は一般的不振に加へ輸送上に頗る不圓滑を生じたゝめ現物も擧出御後月餘の滯貨を免れず現に驛滯貨三百車院內滯貨三百車といふ例年に見ない滯貨振りである、殊に本年は邊業銀行が特產に融資を試み(院內區域に對し月利一分六厘)たる關係上當業者も取引不振の際とて強て現物賣急ぎをなさず銀行利息の負擔に甘んじ追つて到來すべき特產品薄の時期における市價の騰貴を見越してゐる向きも少くないやうである、因に驛滯貨三百車は數日來の降雨で雨覆設備不完全なため全部濡豆となり荷主の損害甚大な模樣である

熱河朝陽間鐵道敷設

工費千六百萬元

【奉天十六日發電】熱河朝陽間の鐵道敷設は從來屢々計畫されてゐたが其都度資金難のため今日迄實現せざりし處東北交通委員會では該鐵道は地方開發のみならず軍事上重要なるものとして至急之を建設すべく決定目下その計畫につき審議してゐるが建設資金千六百萬元は公債により調達すべく夫々準備を進めてゐる

北平陸大生昨夕來連

各方面を視察

奉天より來旅、戰蹟見學した北平陸軍大學生一行の劉震東學生長以下九十餘名は大學教務主任鄒燮斌氏外教官に引率され十六日戰蹟見學を終つて十七時五十分着列車にて來連したが驛頭には先着の櫻井教官外關係者多數出迎へた、一行は直ちに鐵西旅館に入つたが、十八日遼陽に向ふ、在連中の視察豫定は左の如くである

十七日午前大連埠頭、午後滿蒙資源館、中央試驗所、滿鐵協和會館、五時ヤマトホテルにて滿鐵の招待會

和田中將招待

北平陸大生戰蹟視察講話の爲め來滿中の和田龜治中將は十六日學生團一行と共に來連したので滿鐵では同夜六時半より新濱にて和田中將を招待し滿鐵よりは大藏理事及び各軍部關係者が出席した

戶別割を上下公平に

參事會の修正

大連市昭和五年度戶別割賦課額決定の參事會は十六日も午後二時から開會、原案に對し同六時まで審查、十七日市會終了後總會を開く事にして散會したが、今年の賦課額決定に關しては參事會も從來の方針に更に一步を進め一千圓以下の累加收入に對して一般減額の方針で進み十四日開會以來原案に對し約五百ヶ所ばかりの修正があつた模樣である、例へば戶主と娘の收入を加算して賦課せる等の原案に對し手心を加へたもので參事會今回の審查は上下公平に修正されたものである

大連神社の氏子總會

八事項を協議

大連神社の氏子役員總會は十六日午後二時から市役所市會議場に於て開かれた、出席役員五十八名石本鏆太郎氏座長席に着き

一、大連神社春季大祭執行の件
二、春季大祭諸係總長、副總長、各係長、各係員推薦の件
三、春季大祭費豫算に關する件
四、昭和五年度大連神社收支豫算に關する件
五、昭和四年度秋季大祭決算報告の件
六、氏子總代補缺推薦の件
七、大連神社諸係改選の件
八、御造營に關し工事經過及び寄附金に關する件

に就き協議したが、二、六、七の事項は座長に一任、春季大祭費豫算は六千六十五圓、昭和五年度豫算は歲入、歲出とも二萬五千六百九十九圓と決定、昭和四年度秋季大祭決濟は豫算額一千二百四十圓で支出額一千百九十九圓七錢、差引殘高四十圓九十三錢と報告、神社造營に關しては委員會を設置し選擧の結果石本氏會長に當選、副會長二名、幹事十名、書記若干名を置く事に一決し同五時半閉會した

糸價新安値

新救濟法要求

【橫濱十六日發電】生糸補償法適用後生糸の値段は依然不況を續け商內は殆ど停頓狀態に推移し生糸市價は暗崩れして十五日の成行仕切相場は最優格一千百二十五圓と補償法適用前の新安値に落ち當業者は新なる救濟方法の必要を唱へられてゐる

葫蘆島附近の土地買占

奉天派要人が

【奉天十六日發電】葫蘆島築港が確定的となつて以來支那人側は同地方將來の發展を見越して土地買收を計畫する者續出してゐるが東北軍政界の要人汲金純、闞朝璽、張九卿、于珍、何豐林、王樹翰、湯玉麟、邢士廉氏等も競爭的に土地買收中であると

洮南地方歡迎 メートル實施を

滿鐵が四月一日より實施したメートル法は洮南における運送店及び一般商舖から頗る好感を以て迎へられ之が實施によりその益する處甚だ大なるものがあらうと喜んでゐる旨の情報が十六日滿鐵に入つた

パック博士來連

國際聯盟委員パック博士が來連するが十七日午後八時着列車にて十八日寺兒溝檢疫所を視察すると

安樂椅子

各國婦人はそれぞれ色んな特徴を有つてゐますが、そのうちの代表的特徴といふのを最近の或る漢字新聞が並べてゐましたから一寸紹介します▲先づ日本婦人は子供のをんぶ……これは或る野蠻人も持つてゐる風習で日本婦人の專賣ではないやうです、しかし餘り體裁はよくありませんね▲英國婦人は婦人參政權……これも事實とはいへません▲米國婦人は交際と虛僞……夫を尻に敷くのはどうでせう▲佛國婦人は新しい服裝やお化粧……流行はパリーからですね▲オランダ婦人は清潔……これは大方の教示を願ひたいものです▲伊太利婦人は美術的生活……どうでせう▲露國婦人は粗野……態見たいですね▲印度婦人は從順と卑屈……日本婦人は及ばないでせうか▲最後に支那婦人は麻雀▲ドイツ婦人はありませんでしたが勤勉として置いたらどうでせう

本日廳報を添ふ
大連市公報號外を添ふ

特產

定期後場(鈔建)

▲大豆(軟調)(單位厘)

限月	寄付	高値	安値	大引
四月末	七二四〇	七二四〇	七二四〇	七二四〇
五月末	─	─	─	七二五〇
六月末	七二二〇	七二三〇	七二〇〇	七二〇〇
七月末	七二一〇	七二一〇	七二〇〇	七二〇〇
八月末	七二三〇	七二三〇	七二二〇	七二三〇
出來高	二十六車			

▲普通大豆(出來不申)

▲豆粕(出來不申)

▲豆油(出來不申)

▲高粱(保合)(單位厘)

限月	寄付	高値	安値	大引
四月末	四五〇〇	四五〇〇	四五〇〇	四五〇〇
五月末	四五一〇	四五一〇	四五一〇	四五一〇
六月末	四五三〇	四五三〇	四五三〇	四五三〇
七月末	四五四〇	四五四〇	四五四〇	四五四〇
八月末	四五一〇	四五一〇	四五一〇	四五一〇
出來高	十四車			

▲包米(出來不申)

現物後場(銀建)

品名	寄付	大引
混保(袋込)	七一四〇	七一六〇
大豆(裸物)	─	─
三等(袋物)	不申	
大豆 出來高	一五車	
豆粕	二三三五	二三三五
豆粕 出來高	三千枚	
豆油	出來不申	
高粱	出來不申	
包米	出來不申	

錢鈔

定期後場(單位錢)

	寄付	高値	安値	大引
期近	六六三〇	六六三〇	六六三〇	六六三〇
出來高	期近 四十六萬圓			

現物後場(單位錢)

	銀對金	銀對洋	金對洋
一時半	六六三〇	一三三五	一七四六
二時半	六六三〇	一三三五	─
三時半	六六三〇	一三三五	─
出來高	銀對金 三萬六千圓	銀對洋 三千圓	金對洋 四百圓

商品

後場(出來不申)

神戸特產(十六日)

品名	
大豆現物	六二〇〇
先物	一五一〇〇
豆粕現物	一一七〇〇
先物	三七〇〇
滿洲小麥	五五〇〇
豆油現物	一九〇〇

大阪株式

銘柄	後場寄	後場引
大株新	六三三〇	六三八〇
大紡新	四八七〇	四八八〇
鐘紡	一七八三〇	一七九九〇
鐘紡新	八〇四〇	八一一〇
日郵	四三七〇	四四一〇
東新	不申	不申
	九五八〇	九六四〇

東京株式(長期)

銘柄	後場寄	後場引
東株	一〇九〇	一一一〇
東新	一〇七〇	一〇七〇
品	九二〇〇	九七二〇
中	不申	七四〇〇
先	不申	七五〇〇
信	不申	不申
五東	九七二〇	九七五〇
先中	不申	不申
豆	不申	不申

東京株式(短期)

品	寄	東新
直	不申	九六二〇
高値	不申	九六八〇
安値	不申	九七七〇
引値	不申	九八六〇

大阪綿糸

限月	後場寄	後場引
四月	一六二〇〇	一六二〇〇
五月	一六三〇〇	一六二九〇
六月	一六四〇〇	一六四〇〇
七月	一六五二〇	一六五一〇
八月	一六六〇〇	一六六〇〇
九月	一六七三〇	一六七二〇
十月	一六七六〇	一六七六〇

橫濱生糸

限月	後場一節	後場二節
四月	一一五〇〇	一一五〇〇
五月	一一二四〇	一一二二〇
六月	一〇六八〇	一〇六〇〇
七月	一〇六八〇	不申
八月	一〇五二〇	一〇五六〇
九月	一〇四六〇	一〇四八〇

大阪期米

限月	後場寄	後場引
四月	二六八六	二六八九
五月	二七二二	二七二九
六月	二七三六	二七四二

東京期米

限月	後場寄	後場引
四月	二六九五	二六九八
五月	二七二三	二七二七
六月	二七三〇	二七三七

滿日地方版

奉天

信託會社の受難時代來る
辛くも首繋ぎの現狀

滿鐵沿線で開原取引所に次ぎ活況を呈し一時は一千九百萬圓の出來高を見てゐた奉天取引所も、昨秋以來奉票相場不動、四大洋票相場不動、貿易の不振、支那側財界惡化等により急的に惡化しその間金對現大洋票の取引を開始したがこれも大した好況も示さず昨今は一日に**百萬內外**の手合せを見るに過ぎない有樣である、一方その精算會社たる信託會社の經營も著るしく不況に陷り近來一日の手數料收入は多くて百圓少くて二三十圓といふ閑散振り、そしてその中關東廳への納金二割と取引人の拂戾し五分を控除すると七十五圓內外に止り辛うじて喰ひつないでゐる狀態である、信託としては之が對策として特產物の上場を急いでゐるが之もまだ何時のことになるか判らないといふ始末で、この受難時代に喘いでゐる

緊縮時代の五月人形
昨年より二割安

五月五日の端午の節句もあと廿日市內の各店では人形、幟等店一杯に飾り立てゝゐるが、本年は緊縮の影響を受け卅圓、卅圓といふ高價なものよりも總て實質本位で極安いものが賣行きがよい、値段も昨年と比較して三割方安く一人立人形は一圓卅錢から四圓まで、二人立は二圓卅錢から五圓位、天馬は三圓から五圓、鎧が三圓から六圓その他附屬品として燈籠、千成、幟等は何れも五十錢から三圓までの處である

阿片に關する流言蜚語

在滿日本當局は過日來奉せる國際阿片聯盟調査團に對し國際問題の惹起を恐れ既に大連に於ては官許阿片小賣店に對し看板の撤去方を命じたとか、滿鐵沿線居住支那人に對しても關東廳から各警察署に宛阿片の嚴重取締方を嚴命したとか全くあり得ぬ謠言蜚語を流布する支那人あり、之がため阿片吸飲者に大恐慌を來してゐるが、該宣傳の出所は當地省城內の排日支那人の策動によるものではないかと云はれてゐる

警官の居る處に押入って捕はる
白晝大膽不敵な强盜

小西邊門岡持安太郞夫婦慘殺事件の犯人は豫て同家に出入せる支那人三四名と略見當が附き搜査の手を進めてゐるが、十四日午後二時頃總領事館警察署の倉迫警部補、木村刑事、小谷、堀兩巡査が兇行現場の同家屋に出張し證據取調べの最中、一支那人が表戶より無言のまゝ入り込んだが擧動に不審の點があったので誰何すると、件の支那人は矢庭に內懷に手を突込み兇器を取出さんとする樣子なので兩巡査が飛蒐り格鬪の上取押えた所、果して懷中にコルト拳銃一挺彈丸九十八發を所持してゐた、取調べの結果原籍海城縣、現住所不定の王明岐(三〇)といひ最近工業區、附屬地等にて數回强盜を働いた形跡あり、當日も强盜の目的で大膽にも白晝飛込んで運惡く弄に掛った者で、或は岡持夫婦慘殺に關係あるのではないかと目下嚴重取調中である

家賃を拂はぬ露國人

市內八幡町伊藤亮一氏の所有に係る隅田町五番地煉瓦造二階建住宅一戶を家賃一ケ月百卅圓、敷金一ケ月分として木曾町六番地露人トカラジウスキーの連帶保證付で露人シウベルグに賃借契約をなし、之によって生ずる一切の債務はトカラジウスキーが保證してゐたがシウベルグは昨年五月迄家賃を支拂ひ六月分廿圓を濟ましてから本年一月二十五日同家屋を明け渡すまで六ケ月の家賃七百八十圓、それに一月廿五日までの家賃百四圓八十三錢その他煖房損害金三百九十六圓十一錢合計千二百七十三圓十四錢支拂方の說諭願を十五日市內琴平町六番地久保田晴光氏の名義で奉天署に提出した

春に泛ぶ水禽

旅順後樂園所見

町の便り

北大營砲兵研究班砲兵科將校六十名の卒業式は十二日午前九時から張學良氏を始め多數大官列席の下に盛大に擧行されたと

◇

十四日午後十時頃南關嶺大房身間に於て匪賊四名と警官隊が交戰したとの報あるが詳細不明である

◇

滿鐵本社に請願中であった奉天普通學校の新築問題は大體の諒解が出來たので來年度事業豫算で認可されるものと觀られ、十五日係員出張敷地の調査をなした

◇

八幡製鐵所技監野田鶴雄氏は十四日夜鞍山製鐵所を視察の上來奉ヤマトホテルに投宿したが、十五日は北陵城內その他各方面の視察をなした

◇

奉天鐵道事務所運轉係では係員の事務能率を上げるため全部東窓方面に向き、その後に主任青木運轉長等が頑張って監視するといふ勉强振りである

人事

▲竹下海軍大將 十四日夜安東へ
▲野田中將(八幡製鐵所技監) 十四日大連より來奉
▲內藤子爵(帝室博物館長) 十五日朝來奉
▲鈴木特務機關長 十五日朝北行
▲淸水本溪湖署長 旅順に於て開催される署長會議出席のため十四日過奉旅順へ
▲石井長春署長 同上
▲齋藤公主嶺署長 同上
▲森脇四平街署長 同上
▲前田開原署長 同上
▲靑木鐵嶺署長 同上
▲高山安東署長 同上
▲川合奉天署長 十四日夜旅順へ
▲ラスチモア氏(社會風研究家) 十四日來奉
▲奉天質店組合員一行六十名 十五日朝湯崗子へ
▲北海道商工業視察團一行卅名 同上大連へ
▲野添奉天商議書記長 十七日頃歸奉の筈

支那娼妓を誘拐未遂
圖太い華工

山東生れ現撫順老虎臺華工宿舍構內安全燈掛曹東倫(三二)は平康里遊廓三十四番地成豐班の昨年暮北平から現大洋八百圓で仕入れてきた美妓郭素蘭(二〇)をかねてから目星をつけ、本月十日以來樓主李福田が天津方面に旅行した隙に、十三日午後四時から登樓甘言を以て同女をだまし翌十四日午前三時頃同樓東側煉瓦壁を破壞し、同妓を誘拐長春方面に高飛せんとする處を汽車中で十五日午後逮捕された

撫順

新市街の建設は敵本主義
地價の騰貴を目標に 支那側地主連の魂膽

既報支那側で第一商場に次ぐに第二商場並びに西平康里の建設を計畫しつゝある事實に關し、支那側有力地主張德善氏がある方面に洩らした處に依ると前記計畫の裏には次の如き野心があるものゝ如くである

附屬地の繁榮を奪ふ如き設備に成功したならば、早晚來るべき鐵道擴張に伴ひ必然的に支那町附近一帶の土地買收問題が起るその際各地主が**共同戰線**を張り高價に賣付ける目的で、現に大山坑下鐵道南では各地主連が不賣同盟會を組織し、獨地主の賣却を禁じ交涉の際は鐵道南を一丸として高價に處分せんとする計畫が進められてゐると

なほ右計畫の中心人物は支那側有力機關たる農務會商務會員中重要なる人々であると傳へられてゐる

屠畜數の激增で擴張は根本的に
◇大多忙の屠畜場

往年撫順地方は密殺肉の輸輸多く衞生上寒心すべきものがあったので新市街移轉と共に屠畜場を新設密輸取締を嚴重にしたる結果同屠殺場での屠殺畜數は非常に激增したが是を數字に示すと昭和二年度屠畜數三千一頭、同三年四千八百三十七頭、四年度は一躍六千百八十七頭で、二年度の二倍强の多きに達し、五年度は是非增築の必要生じたるも間に合せ增築はやがて又復增築問題が起きる事明なので近く遠大の增築がなされる事と內定した

昨年度屠畜數
六千百八十七頭

撫順屠殺場の四年度屠畜數は別稿の如く六千百八十七頭であるがその內譯次の如し

△豚三千五百四十二頭、牛千五百五十三頭△馬五百二十六頭△驢九十六頭△騾三百八十九頭△羊その他九十一頭

楊柏堡火藥工場長異動

過般の古城子火藥工場三昧混和室の爆發、永安臺硝安火藥工場爆發等の責を負ひ同火藥工場長柳井三之助囑託を免ぜられ左記異動が十五日附發表された

楊柏堡火藥工場長 淸宮 外記
命古城子火藥工場長
元日本火藥會社技師工學士 加藤 育一
命楊柏堡火藥工場長

下田氏退職

久しく撫順神社社司たりし佐々木常盤氏は同所勤務下田萬九郞氏と軋轢の結果下田氏退く事となり佐々木社司も近く勇退に決定したと

醫院で講演
けふ三時より

今十七日午後三時半より撫順醫院講堂に於て左記內科、耳鼻科に亘り講演がある

一、所謂滿洲窒扶斯の研究 海田博士、王化南氏
一、リガ氏病 平田松太郞氏

頁岩の殘滓利用で四十萬圓の節約
川砂の代りに坑內充塡に使ふ

東洋唯一の撫順製油工場の原料たる頁岩の殘滓は年額約百萬噸、その利用方法もないではないが未だ工業的にその全部の處分方法なく捨場所もないので持餘してゐたがその全部が各坑內の充塡用として役立ち、充塡費用年額約四十萬圓を節約し得る事が實際的に最近證明された

◇

從來炭礦の充塡用としては塔鐵の川砂並に古城子等の片麻岩風化部を利用、年額二百五十萬立方米を要してゐたが、限りある川砂も採砂しつくし將に缺乏せんとしその補充に苦んでゐる上、砂は噸二十五錢、是に附隨して沈澱池等の特殊設備を要し、充塡費用年額ザッと百萬圓を要してゐたのが頁岩の滓を使用する事に依って經費の點でも半減される譯である

◇

その他に川砂に代ふるに頁岩滓を使用すると次の如き利益がある充塡用として砂を使用する際は水二砂一の割合で鐵管を通じて注砂するのであるが、粒の小さい砂は水と共に流れその後始末に掃除費や沈澱池等の損失は頗る大である、それに、砂の質が一定しない爲充塡後傾斜を生じ非常な支障が起る更、注砂ポケット上で粒の大きい砂が一割以上空費される、元來砂は水分を含んでゐるので冬期運搬は荷車が氷結による困難――等々の弊害がセールの殘滓を使用する事に依って全く除去されるのである

金州

激增する果樹
本年度植付三萬本、面積百町步

金州管內に於ける果樹栽培面積は既に千餘町步に達し尙年々增加の傾向であるが、本年度は特に增加して植付數三萬本、面積は實に百町步に達してゐる、民政支署に於て調査せる本年度植付果樹左の如し

▲試驗場生育苗(果樹組合扱)
紅玉 一年生 一〇、五九〇本
國光 同 六、六〇〇
紅玉 三年生 四〇〇
國光 同 五〇〇
櫻桃々桃 一年生 一、八五五
▲熊岳城農野農園生育苗
祝、旭 二、三年生 三三一〇本
▲果樹組合の手を經ぬもの
苹果(豫定數) 一〇、〇〇〇本

旅順

雪崩込む觀光團
昨日の守備隊を筆頭に 既に五組の申込がある

名物の數々を持つ旅順さして續々觀光團が雪崩込むシーズンになったが、十六日から五月七日までの分のみで三百六十七名その內譯次の如し

△十六日 公主嶺守備隊三十名
△二十六日 大分縣中津商業生四十二名
△卅日 騎兵十二聯隊將校十一名
△[illegible]月三日 大分師範生九十七名
△同五日 大邱中學生六十七名
△同七日 大連南山麓小學生百二十名

以下續々と申込殺到してゐる

產婆、看護婦合格者
十四日發表さる

關東廳では十四日左記の通り今期產婆、看護婦試驗の合格者を發表した

看護婦試驗合格者(受驗者三十三名中二十五名) 千葉クウ(大連)杉田モトセ(同)新谷サヨ(同)麻生ヒサコ(同)行本ミワ(同)今重シズエ(同)寶珠山シヅエ(同)手島ヨシノ(同)平田タキ(同)矢村シヅコ(同)藤田ユリ子(同)今崎ミヨ子(同)島軒ゆきゑ(同)花井千代(同)河野マサエ(同)日下照子(奉天)末國スエ子(同)堀內けさ(同)小林いまつ(同)荒木シモヨ(同)滿淵タミヨ(同)城戶崎君子(四平街)松永デン(長春)勝野ひめじ(海城)中原テルエ(撫順)

產婆試驗合格者(受驗者廿九名中十四名) 村重ヨネコ、竹中綾子、松尾章子、井上コスエ、永野アイ、伊藤えつ、宮本さだゑ、渡邊鋤子、林チカ、崎地ふさゑ、中田さき、廣田政野、郞曉嫺、菊入クニ(以上實地學說)塚本ノシ、鈴木淸子、入丁ラク(以上學說のみ)

吉林

十五年勤續者表彰
一日附滿鐵から

吉林滿鐵公所員山崎保之丞、伊藤祐壽兩氏及農務課敎化駐在員遠竹行夫の三氏は十五年勤續者として本月一日附で表彰狀を交附された

吉林雜信

當地東亞煙草出張所は今回社事業縮小の爲め撤廢、川村主任は來る二十日頃當地を引揚げ奉天に轉ずると

◇

城內堀井豐太郞氏經營裕泰號の集金人劉某は前日集金を拐帶して逃走、總領事館警察署に訴出した

◇

永吉電影園事件の責任者として遭難者遺族から罷免運動を起されてゐた劉市政籌備處長は譴責處分を受けて居り、氏自身も如何なる辭任勸告も馬耳東風の體で、結局此儘在職に止まるらしいと

◇

今度鐵嶺滿鐵醫院へ轉任する前田翠氏の爲め十四日夜吉林文藝會で送別句會を催した

◇

三ケ島氏や名古屋館主遠藤氏等の肝煎りで民會運動場の一部に大弓場を設くる事になり目下大內組の手で工事中

◇

吉林劍道部では近く當地を引揚ぐる東亞煙草出張所主任川村氏の爲めに十五日午後四時より送別稽古を催した

◇

彌生俱樂部の圍碁大會は十三日の日曜に開催され非常な盛會、入賞者は

一等田中氏、二等東氏、三等浦非氏、四等松田氏、五等小原氏、六等稻村氏、七等山崎氏、八等奧田氏

開原

靑年團の役員春季總會で決定
今年度新計畫は座談會

既報開原靑年團の春季總會は十四日午後五時より公會堂に於て開催、定刻團員並に贊助員着席、國歌君ケ代を合唱し佐藤團長の開會の辭に次で修養部出塚幹事、體育部大瀨戶副團長、會計部牛島幹事、庶務部椿山幹事より各部の事業報告あり、休憩夕食後、七時再開し昭和五年度事業計畫について討議を重ね、從來の事業の外に座談會を催し各自の研究乃至意見を發表討究して靑年の意氣を發揮することゝなった、次いで役員改選に移り投票の結果▲團長佐藤正親▲副團長大瀨戶權次郞▲幹事出塚忠五郞、加藤重良、牛島孝、豐村糺、松本俊次、村上八郞、安藤俊夫、中島伊吉、大島良治、中川淸、森田正禮、和田市三郞、逆瀨川重盛、五城政則、小松淸の諸氏當選、尙補缺として次點者中より大慈味徹一氏を擧げ佐藤團長新任の挨拶あり、贊助員加藤局長、永野校長兩氏より團員激勵の辭、佐藤團長閉會の辭に午後十時盛會裡に終了せり

農業組合の創立
創立總會を擧げ役員も決定

開原農業組合は玆數年來其機能を充分に發揮せなかったのと、同業者の增加により過般來新に農業組合の設立を提唱されて居たが、去月十七日祈年祭當日同業者集り創立する事に決し爾來之れが準備を進め、愈々十二日午後二時より開原神社々務所に於て創立總會を開催、規約其他諸事項を審議し、評議員七名を選擧、互選の上組合長其他夫々左記の通り決定せり

組合長上郡山九效▲副組合長山本松次郞▲庶務係山口武太郞▲會計係大福謙吾▲評議員竹山末吉、佐藤祐太郞、加藤禮治

豫算査定の島氏一行

滿鐵社會課庶務主任島氏一行は豫算査定の爲め來る二十五日昌圖へ二十八日開原へ來り關係方面の調査をなすと

小黑氏來開

滿洲土木建築協會常務理事小黑隆太郞氏は十五日來開し地方事務所土木係中島伊吉氏東道の下に驛舍墜落事件に關し各方面を歷訪せり

實業會評議員會

開原實業會にては十五日午後五時より評議員會を開催せり

長春

支那側常設館でも設備を改善する
＝防火施備と非常口改造＝ 日本側は全部竣成

長春警察署の各常設館に對する注意があって以來長春座、演藝館及び日活館等は何れも防火設備及び非常口を改造して遺漏なきまでに至ったが、支那側公安局でも吉林事件に刺戟され城內の各常設館に對して同樣の注意を發した

辻强盜橫行
馬車夫を射つ

昨今長春附屬地內に馬車夫の辻强盜事件が頻出しつゝあるが、又復去る十三日午後七時三十分頃城內居住の馬車夫趙連祥(三七)は尾上町六丁目地先に於て一支那人が拳銃をつきつけ金を出せと迫ったが無一文であったので同人に向けて一彈を發射し左腕に貫通銃創を負はせその場から逃走した

恒例の運動會は愈々六月一日に決定

每年春には西公園で滿鐵從業員等及び家族の運動會が行はれて年中行事の一となってゐるが、本年も愈々陽春の候となったので、來る六月一日開催の豫定だと

紅白野球戰延期
二十日に擧行

全長春野球選手の本年春季紅白試合は十三日開催の筈であったが選手の練習が足りないので來週の日曜日に變更したと

體育ボール發會式
十四日擧行

滿鐵地事社員が中心となり運動獎勵の爲めバレーボール競技を盛にする計畫で滿鐵クラブ、機關區其他にコートを設け體育ボールと名づけ社外の人をも歡迎する由だが十四日午後三時半から發會式を行った

體育協會總會
けふ運動會支部も幹事會を開催

長春體育協會は愈々運動シーズンに入ったので十七日午後二時から地事會議室で總會を開催し、尙滿鐵運動會支部も同日午後一時から幹事會を開くと

安東

軍旗拜受記念日
あすの擧式と餘興で 守備隊の兵隊さん大忙し

新義州守備隊にては來る十八日第七十八聯隊の第十五回軍旗拜受記念日につき盛大なる祝典を行ふ筈である、當日は官民多數を招待して午前十時三十分記念式を擧げ、來賓を管內に案內して兵器說明、射擊を行ひ午後零時三十分祝宴を開始、終って餘興に移る筈で、運動會、相撲の外に兵隊さん達の素人芝居等が催されるが、年に一回の書入日の事とて力瘤を入れてゐる

製鋼所期成會問題 安東も絕望か
商議は主動を避ける

昭和製鋼所新義州設置要望期成會問題に就いては、既報の如く新義州側は內訌の爲め見合せの止むなきに至ったが、安東側では單獨にて期成會實現の積極なりしも中心たるべき商議が進んで主動者たるを回避し、更に公友會も今の處進んで發動せず、青聯支部も本部よりの命令に依り躍起を躊躇しつゝあり、目下の處安東側の期成會も全市民は贊成なるが如きも設立の可能性なき狀態に立ち到り、結局公友會幹部が主動者たらざる限り新義州側と同じく實現不可能と觀られて居る

馬賊團跳梁す
黃花甸附近に潛伏 公安隊懸命に搜索中

曾て遼陽縣千山方面において橫行してゐた馬賊頭目雙紅の一隊十六名は先般討伐隊のため追拂はれたが三月三十日午後二時頃鳳城縣第七區黃花甸附近(滿鐵附屬地より西方約二十支里)に爾來附近一帶を荒して千山に於て拉去せる人質一名を同行し其の親族に對し身代金を强要せんとしてゐる一方頭目不許の十八名よりなる賊團は四月上旬岫巖縣方面より潛入し來り前記雙紅一隊と合併の氣勢あり鳳城縣公安隊員二十名は遼陽公安隊長以下三十名と合し同地附近自衞團と協力し賊徒の所在搜査に從事中である

目拔の大和橋通りで二戶を全燒す
半燒は三戶で鎭火

十四日午後四時三十分頃市內大和橋通二丁目ホシ藥房と末吉折箱工場附近より出火忽ち隣家昭文堂書店、中村運送店、支那雜貨店を延燒し連日の好天氣と木造家屋のこととて火勢猛烈にしてアワヤ附近一帶全燒せんと見えたが、滿鐵消防隊及び警官隊軍隊等驅けつけ全燒二戶、半燒三戶のみにて五時十分ごろ鎭火した、原因及損害價格目下取調中であるが場所柄が驛前通目拔場所である上白晝の事とて一時は非常なる混雜であった

六道溝方面に無斷新築
困った支那人

最近六道溝方面に住宅又は貸家を無斷で建築する支那人が激增しつゝある爲め、當局に於ては防止に努め發見の場合は嚴重處分をなす事となった、右に關し當局は語る 無斷建築の弊は安東が沿線中一番甚しい、元來住宅及貸家其他總ては詳細なる設計圖面を願書に添へて提出し係員が實地調査を遂げ完全と認めたもののみ認可してゐるが、規則觀念の薄い支那人が勝手に建築するので困る、此の種無斷建築家屋は至急取毀處分に附すが今後は一層嚴重に取締り此の弊風を一掃する心算である

野球試合
三菱俱樂部を迎へ來月五日

野球シーズンに入って安東滿俱も十三日紅白試合を開いたが既に大連三浦三菱俱樂部より本年度定期戰の申込あり、期日は來月の五日の豫定であるが、安東滿俱も申込に應じ幹部會議の結果近く承諾の通知を爲すと共に應戰の準備として連日猛練習を開始してゐる

安中生修學旅行
支那を視察

安東中學五年生約四十名は平田、辛島兩敎諭に伴はれ青島、上海、杭州方面に往復約三週間の豫定を以て修學旅行をなす筈で目下準備中、出發は來る二十二日である

普蘭店

普蘭店を中心に廣大な鐵鑛脈
含有量は三割五分から六割 關東廳と滿鐵で調査

普蘭店附近に於ける鐵鑛石調査の爲め關東廳より秋吉技師滿鐵より入丁鑛業所長來普先般來調査中であるが、聞く處に依れば鑛脈は普蘭店を中心として神社山附近は勿論北方の山脈一帶殆ど礦石なれど含有量は不同にして凡そ三十五パーセントより六十パーセントなりと、尙之が經營等に關しては今後細密なる調査を要すべく目下計畫中なりと

神社境內擴張
十四日協議會

普蘭店神社境內を擴張するの議ありしが官民有志及氏子總代等十四日協議の上實施を見分した

祝賀打合會

來る二十九日の天長節を祝賀すべく十四日官民打合會を民政署に開催したが當日拜賀式終了後刀劍及書畫の展覽並池の坊生花の陳列等を催すと

補習校新學期開始

普蘭店驛長福井十一氏を校長とせる補習學校は本月新學期に入り、第二期生十八名第三期生十五名である、講師は秋吉氏の金州轉任後任として民政支署の牛島辰造氏を囑託すべく交涉中だ

椎名局長夫人逝去
きのふ告別式

普蘭店郵便局椎名書記補の令閨は久しく大連醫院に入院中の處十五日死亡十六日告別式を行った

遼陽

滿鐵からの融資で商店街近く竣工
五萬圓は無利子で五ケ年間に支拂ふ

遼陽商店街は工場撤廢と云ふ大問題に直面した爲め一時其の成行が氣遣はるゝと同時に、遼陽目拔きの場所を何時迄も半成のまゝ放置する樣な事があってはと泣噂されて居たが、組合幹部の熱誠なる運動と滿鐵の同情とで今回五萬圓を五ケ年無利子融通と決定し、之が償還方法は組合戶數廿六戶が

▲第一、二年は每月二十圓宛
▲第三年は二十七圓
▲第四、五年は三十圓宛とし

尙五ケ年後に殘存する不足額は一時に全額償却と云ふ條件で十五日遼陽地方事務所經由書類を本社に進達し、工事も昨今餘程進捗、近く竣工の見込である

金組評議員會
廿七日總會開催

遼陽金融組合では十五日午後七時から事務所で評議員會を開催、四年度の收支決算報告に付協議した因みに總會は廿七日開催すべく準備中

人事

▲長山警察署長 は署長會議列席の爲め十四日夜行で旅順へ
▲酒井憲兵分隊長 分隊長會議列席の爲め十四日朝赴旅

銀價暴落を禦ぐ 唯一の對策

依然割高の銀器を 大量生産で供給せよ

銀の相場はロンドンでは目下九ペンス半見當を唱へてゐる、三月初めの底値から見ると若干回復してはゐるが、以前の事を思へば非常に安くなつたものである、一オンス十九ペンス半を日本の金に換算すると一匁十錢強にしかあたらない。

銀器は下らぬ

銀が斯う安くなつてゐるのだから、銀器や銀細工の値段ももつと安くならねばならぬ理窟だが、この方は一向下がつてゐない樣である、貴金屬店で聞くと「銀細工の値段は大部分工賃で、材料の相場は殆ど問題になりません」と云つてゐる。

先づ大量生産

アメリカ・スポーケーン市のスタンダード株式取引所長ウォルター・ニコルス氏は次の如き話をしてゐる。

「アメリカの産銀業者は目下の銀相場低落に鑑み、銀器の大衆化に就て眞面目に研究中である即ち銀器の大量生産を行ひ、之れを消費者に直接安い値段で賣る爲め一つの會社を設立しやうと云ふのである、大體銀器の値段は餘りに高い、銀その物の相場の六倍乃至十倍してゐる、銀器がもつと安くなれば工藝用の需要は現在よりも大に增加し、世界の銀産額は寧ろ不足を來たす位であらう、銀で造つた器物を一オンスに付一ドル二十五セント位で賣るとすれば、産銀業者の手取りは七十セント位になる、これなら充分である、又この見當なら銀錢金のナイフやフオークで辛抱する必要はない、擧つて正銘の銀器を買ふ樣になるだらう

前途の光明

仲々妙案である、勿論大量生産となると、精巧な毛彫や、手のこんだ裝飾品は難しからうが、ナイフやフオーク、スプーン等の食器類はフォード式の流動作業で譯もなく出來るであらう、又小さな立像、胸像、或は燭臺、シャンデリアの裝飾等も大量生産必ずしも困難ではあるまい、かうして銀の食器類が安價大量に生産され、一般家庭で使用される樣になれば銀の消費は俄然激增し、銀の歎きも昔語りとなるであらう、大體銀の相場が昨今の樣に下がつたのは生産過剩の爲めではなくて需要が激減した爲めである。故に需要さへ增加すれば銀勢は自づから矯正されるのである。

産額は略一定

銀の年産額は毎年約二億五千萬オンス見當である、これ以上あまり增えもしない代りに減りもしない、然るに需要は減る一方である需要の主なるものは（一）造幣用（二）埋藏用（三）工業用（四）工藝用であるが、最も重要な造幣用の需要が近年は減る一方なのである、又インドや支那の埋藏用需要も今後增加は望み難い情勢にある、かうなると殘るところの工藝用及び工業用の需要を促進するより外にない、工業用としてはフィルム工業の如き有望な捌け口がある工藝用としては右に述べた銀器の安價大量生産であらう。

八ツ当

身元保證金 一取引人

投書歡迎 中傷を目的とするものは採らず 新聞行数五十行以内のこと

特産取引の身元保證金銀四千圓は銀暴落のため一部に引上必要說が傳へられてゐるとの新聞記事を見受けるが說の出所は兎も角として之は間違つた見方であると思ふ元來豆信は取引が銀建であり、起り得べき危險が銀額であるがために身元保證金も銀と定められたのである 大正九年銀價が二百六十圓に暴騰した時、身元保證金を金で代納してゐた小生は、三百圓換算として金一萬二千圓まで增納した事がある、現今銀價が暴落したとは言へ銀を基本とする保證能力に於て何等の變化を見ぬ譯で金に換算して二千五六百圓にしか當らないと言ふ事は米貨或は英貨に換算すれば幾何、にしか當らないと言ふと同樣何等理由のない、若し金換算が必要ならば何故最初より身元保證金を金建としなかつたか、殊に、銀の暴落と同時に危險の程度も正比例して減少して居る今日、金換算說は全然理由のない事を一言して置く。

聯盟阿片委員會（三）

壽府に於ける第十三回會合

國際聯盟事務局東京支局發表

不正賣買

前年度中、不正賣買の數多の件數が發覺したが不正賣買の供給者及び分配者の若干は何時も不明のまゝである、不正賣買は全世界の殆ど總ての部分に手を擴げてゐる、エヂプトは麻藥類の洪水の中にあるが如く、同國政府の見積りによれば、麻藥類の量は一千四百萬の人口に對して五十萬キログラムに達してゐる、コカインは印度、マレイ及びその他の領域に多量送らるゝも、その發送者は不明である、また阿片及びその他麻藥類の大量が米國及びカナダにも密輸出される、阿片の押收は極東に於ても行はれ、Lam Kee Hop, Macao なる僞の商標を貼つた精製阿片がカナダ、オーストラリア、米國及びオランダ領印度諸島等で發見された、印度、マレイ半島、極東方面に於けるコカイン密輸の發覺した數件では、押收せるコカインに麻藥製造を日本政府が認可せる日本の會社のレッテルが貼付してあるがこれには Hoshi Manufacturing Cy 及び Koto Seiyaku Manufacturing Cy 等があり、なほ此の外にも "Fujitsuru" "Boudet" "Elephant" "Paon" "Tacmufa Fo O no" 等の商標があつたが、その商標の出所は不明である、レッテルにはドイツの會社名を記した僞造のレッテルが同時に貼つてある、阿片委員會の入手せる情報では南方支那の一地方に不正賣買の中心が存する樣で、支那政府は之が探索を行つてゐる、ペルシア阿片を支那へ輸入する量はなほ非常に多額である、一九二九年中、二千箱のペルシア阿片がウラヂオストックに送附せられた、阿片委員會の探知せる處では、これ等の箱は確に支那に密輸入せられた、他の一方、支那の生阿片及び精製阿片の押收は香港オランダ領インド、マレイ及びフイリッピンの官憲により行はれた、ムルハウスのレスラー商會は三年半の間に、ヘロイン六トンとコカイン二〇五キログラムを輸出し、その大部分は不正賣買であつた、目下豫審中の他の三つのフランスの商會は數年間に行はれた數件の押收に關連して居た、これ等の商會の一つはコンスタンチノープルに工場を設けて居るので、阿片委員會はトルコ政府がその不正賣買を指摘する樣希望した。

防遏協議

委員會は不正賣買の二、三が運送會社及び船會社によつて行はれたことを考慮し「運送會社が不正賣買を行ふことにつき各國政府が愼重に調査されん度き旨」を要求し、輸出許可制度の實施の重要なることを力說した、多年不正なる目的に使用する麻藥類を商賣にして居た若干の商會も、法律違反となつては、その活動を繼續することが出來ないであらう。許可制度は、委員會の意見によれば、正當に營業せる商會に限り適用せられるものである、阿片委員會は各國政府に對して次の手段の必要なることに就て注意を促した、即ち

▲麻藥類包裝に製造地及び番號を記入すること
▲各國警察當局の密接なる協力
▲不正賣買業者の黒表作製

等である。阿片委員會は支那に於ける麻藥類の狀態に關する審査を次回會合の議題とすることに決定した、麻藥類の不正賣買は支那に於て盛で、支那政府は不正賣買業者撲滅に幾多の困難を感じてゐる委員會は聯盟理事會が本問題に關し、支那と條約關係を有する國の注意を惹かんことを求めた、本問題審議に當り支那代表吳開先氏は不正賣買取締に當り支那警察官の經驗する困難に就て注意を促した同氏の意見は左の如くである

この取締の困難は支那に於ける外國人が治外法權を享受してゐるからである、この特權により幾多の不正賣買業者は自由に國外に逃れ、また處罰を免がれてゐる、各國の警察の協力が必要で、租界に於ける警察は支那警察を援助しなければならぬと同時に、支那の麻藥類不正賣買取締の効果を擧ぐるためには國際協力が最も必要である。

支那怪談 痴人醉夢（三）

森田富義

「さあ、大王人一盞喫んでから弄ばう、俳優女は唄うがよい、王大人に鬼界の踊でもご覽に入れやう」

大王が斯う言ふと、一人の僕が客の酒盃に酒を注いで廻つて、もう一人の給仕は暖かい御馳走を運て來た。

王英は好きな酒を喫んだ、それはたいそう舌ざわりのよいものでこれまで、此樣上等の酒は喫んだことはなかつた。料理も邑には見られないもので、珍しいものばかり使つてあつた。王英は立派な御馳走に多少然いたが大王が頻りに進めたので、四五杯喫んで陶然として、隣席の大臣や宮女と話を交した。大王も賓客の王英に話しかけたが、如何にも愉快さうであつた。

それから、また酒が幾巡りかした。

「俳優女はまだか」

大王は思ひついたやうに督促した。

「は、今すぐ參ります」

僕が促いに出ると間もなく、廊下に優しい跫の音がした。花簪と耳環の音が鏘々と響いた。室は急に靜かになつて、客は一樣にその方を見た、紛黛をした柳腰の女が五六人、牡丹の花を一枝宛持つて這入つて來た。纖い鞋の繡は黄金絲であつた。

「ほう」

客人達は一時に、感嘆の聲を擧げた。大王は赤い顏を一層赤くして微笑した。

「客人がお待ちぢや、早く唄え」

大王は更促した。

春態既に去つて、
盛夏亦來たらず、
秋月只碑を照らし、
多宴何處より迎へん、
郎君今現世を去つて、
鬼界の客たるを不論、
一盞一曲何もと知ふ、
痴人の一醉只夢ならんや。

俳優女は、琴を彈じ、胡弓に合せて唄ひ、唄に合せて踊つた。それは天女の舞か、牡丹に狂ふ蝶の如で、身體の動く度に、香しい匂ひが漂ふて、彈く女、唄ふ女、踊る女、喫ふものも夢の蕩けてゐた。王英も、今までに見たことのない世界の氣分に醉ふて、自分の幸を悦んだ。

「踊りが濟んだら酌をしたがよい さあ王大人、金爵を」

大王は、夢心地の王英を指して促めた。

王英は、楚々とした柳腰が、艷に微笑て酌ぐので、思はず過した酒はそれから幾巡りかして、賑く宴は濟んだ。その時、僕の一人が這入つて來て云つた。

「準備が整きました」

「さうか」

大王は答して、今度は客に向つて云つた。

「準備が整きたさうだ、王大人もどうぞ」

官人や、宮女達が笑ひ興じて室を出て。王英も續いて出たが、また、長い廊下を幾曲りかして、綺麗に飾つた室に這入つた。そこには、すつかり賭博の準備が出來てゐたが、何時の間にか大王も來てゐて、央に席をとつて、臣に客に座を與めてゐた。

家庭とコドモ

「五月祭」合唱歌

一、青い空でも
陽かげがさせば
ちらり　きらりと
をどる
らららららら
をどるよ
をどる

二、野邊の草花でも
春風ふけば
にこり　からりと
笑ふよ
笑ふ

らららららら
笑ふよ
笑ふ

三、わたし　乙女よ
滿洲野の乙女
五月祭の
なかまに
なつて
らららららら
なかまに
なつて

四、をどる空には
心を乘せて
笑ふ花には
姿をまねて
らららららら
姿を
まねて

五、陽かげ　もろとも
春風　うけて
今日の祭を
歌はう
友よ
らららららら
歌はう
友よ

國史學習のお話(完)
人、事件、文化に就ての しらべ方

常盤小學校訓導　國東正路

こゝまで諸君が國史の勉強で注意しなければならぬ事を書いて來ました。最初から急によい勉強も出來ないでせうから段々注意して行つたならば後には最も良い勉強の仕方を會得する事が出來るでせう。

以上のお話で大體國史の勉強はどんなにすればよいか分つた事と思ひます、倘參考までにどんな國史の內容の時にはどういふ勉強の仕方をすればよいか御知らせして置きませう。

(1)人についての勉強の時、
小さい時の生ひ立ちはどうか、
當時の世の中の有様はどうか、
どんな事をしたか、
何故そんな事をしたか、
その結果はどうなつたか、
それが後の世にどんな影響を及ぼしたか、
當時の人は此の人をどうしたか
どう思つたか、
此の人の手柄、事業に對する自分の感じは、
此の人の最後はどうだつたか、
後世の人が此の人をどう見てゐるか。

(2)事件についての勉強の時、
何時何處に起つた事か、
何故に起つたか、
最も近い原因は何で、遠い原因は何か、最も主な原因は何か、
原因と原因との間にどんな關係があるか、
其の成行きはどうであつたか、
どんな結果になつたか、
どうしてそんな結果になつたか、
各方面にどんな影響を及ぼしたか、
中心になつた人物は誰か、
後世にどんな影響を及ぼしたか、
此の事件に對する自分の感じ。

(3)文化についての勉強の時、
文化はどんな方面に發達したか、
文化が盛になつたのは何故か、
どんな特色を持つてゐるか、
一の文化と他の文化の間にどんな關係があるか、
すぐ前の文化との間にどんな關係があるか、
すぐ後の文化との間にどんな關係があるか、
此の文化に力のあつた人は誰か、
現代の文化と比べて、
古からの大體の歷史、
流派、
現代までのこつてゐるものは、
自分の感じ(終り)

大チャンノ モウジウガリ(8)

ハルミチ作　ジラウ畫

シユウチヨウ　ハ　ヤマ　ノ　ウヘ　ニ　大チヤンタチノ　スガタ　ヲ　ミツケルト　ヒ　ノ　ヤ　ウニ　オコツテ　ケライノモノ　ニ　メイレイシマシタ、ケライドモ　ハ　テニテニ　ヤリヲ　フリアゲナガラ　ヤマ　ノ　ウヘ　メガケテ　カケノボツテキマス、

「イヨイヨ　オモシロクナツテキタゾ」ヲチサン　ハ　ヒザ　ヲ　ノリダシテ　ニツコリシマシタ、大チヤン　モ　ニツコリシテ　テツポウ　ヲ　ニギリシメマシタ、ドジンドモ　ハ　トキノコヱ　ヲ　アゲナガラダンダン　チカヅイテキマス。

支那看板 種々相(21)
宴會も引受ける 一等料理店

これは支那町の一等料理屋である、勞働者相手の安つぽい飲食店は例の赤いふさを吊るした看板を出してゐるが、料理屋も少しいゝのになると赤いふさは出してゐない、この店先には「應時小賣」「包辦酒席」の小さな看板を出してゐるが、前者は「一品賣りもします」後者は「宴會もひきうけます」の意である、大連あたりの大きな支那料理屋では日本人の顧客が多いところから料理もよほど日本化して居るが本格的な支那料理を食はうと思へばやはり支那人町にある料理屋に行かなければ駄目である。

彌生高女母國見學團通信
夢のやうに過した 江の島見物の一日

桐野滿洲

待ちに待つた自由見學の日。私達希望者八名は天候を氣にしながらまだ眠りから醒めきらぬ東京を後に七時四十二分電車で江ノ島へと向つた。

電車はまるで飛ぶ樣に走る、四方の景色を後へなげやりながら……

長閑な田舍道沿線の草々、黄色い菜の花、きれいにくぎられた畠わらぶきの家、のんびりした景色にすつかりいゝ氣持になつてコツクリ〱と船をこいで居る者もある。

藤澤で乘換へる。

狹い道、兩側には大きな竹やぶが續く。竹やぶを始めて見る私達には竹が風に吹かれてざわ〱とゆれるのも珍しく思はれた。

まもなく電車は片瀨に着いた、長い〱危つかしい棧橋を渡り江ノ島へ……高い石段をやつと登りつめて江ノ島神社にお參りする。眞赤な櫻が散つてゐる、大きな木が涼しい影を作つてくれて私達を待つてゝくれる、そこで一休みして社の後にある窟の辨天へと向ふ。

道の兩側にならんだ店からやかましく「貝細工は如何」「ゑはがき十六枚で五錢です」「お荷物をおあづけなさい」「おみやげものはたくさんあります」「入つてごらんなさい」等の聲、實際よく口が動くものだと感心してしまつた。

岩の尖端に出て眺めた景色、おゝ、何と言ふ靜かなそして悠々とした景色なのだ。

波のないあくまでも靜かな海はコバルト色の水をゆたかにたゝえてはるかに〱水平線の彼方までのびて居る、其の間にぽつかりと浮んだ鯨の背の樣な綠の島、可愛い島々、そして彼方に見える大きな山、氣持よく配置されたそれらのものを眺めた時私達一同はたゞ讃歎の聲を上げるばかりだつた。「あら飛行機」と言ふ友の聲、ふと目をあげると二臺の飛行機が仲よく翼をそろへ私達の來訪を祝する樣に頭上をくる〱飛まはつてゐる。

石段を下り窟の前に出る、入口でローソクを貰ひそれを頼りにまつくらな窟の中へ入つて行く。ローソクの火が消えぬようそろ〱と岩をつたひながら中へと進む。暗の中にちら〱する灯をめあてにしながら、岩にきざまれた弘法大師の像首なし地藏、辨天樣のお使ひの蛇等がローソクの光にぼんやりと浮び出る時、何とも言へぬ不氣味さを感じた。窟の探勝を終へやつと入口近くになつた、丸く開いた入口から差込む陽の光!あゝ何と尊い光なのだ、たつた二十分か三十分眞のくらやみの中に入れられた私達は今まで曾ておぼへたことのない有難さ嬉しさで太陽を仰ぐことが出來た。

それから私達は遊覽船に乘り江ノ島を半周した。海から眺めた江ノ島は本當に繪の島だつた。

眞白き富士の峰
綠の江ノ島 ………

誰かが唄ひ出した。これに富士が見えたらと思つたが悲しいかなかすみにつゝまれて美しい姿を見せては呉れなかつた。

帝國兒童教育會が こども全權を 歐米各國へ派遣

伯爵林博太郎、二荒芳德、子爵通陽氏を顧問に、巖谷小波、岸邊福雄其他知名の士を評議員に、石川千代松博士を會長とする帝國兒童教育會では兼て兒童を基礎とする國際親善を高唱し、前年來數次之に關した計畫を實行した事は一般の知る所であるが今回のロンドン會議で益々其必要を認め今回理事長石井顯一、評議員阪本洗學士の二氏を歐米に派遣する事となつた其目的としては

一、海外學童を通じて我國情の紹介

之には映畫又は實物、模型、寫眞等を携へ學校教會其他で講演會を開催の事

二、在外邦人、學童の慰問と其教育狀況觀察

在外同胞の家庭及學校の實情を親しく觀察し且つ慰問をなす事

三、各國の社會教育並に一般教育の研究

主要都市は勿論農村等にも出張して其施設方法等を調査する事

等が數へられ、目下關係官廳、大公使館、內外教育家、宗教家の各方面に亘り連絡を計りつゝあるが一行は來月下旬出發の豫定

之には外國兒童と邦人學童に贈與する國際親善カード(昭和三年同會作製原色版で既に海外へ十萬餘を贈つた物)や手輕な學童の製作品等を可成多量に持ち行き度いとの事で、該「カード」は百枚二圓五十錢の割合で汎く一般から贊助者を求め其氏名は贈呈の際印刷の上添付し左の諸項に關し多數の希望も聞きたいとの事である

イ、外國では如何なる觀察をして來べきか
ロ、如何なる話を內外兒童にしてよいか
ハ、說明材料に持ち行く物とお土產品の選擇
ニ、教育品玩具其他輸出入品の調査

等の事であるが共鳴者は東京市牛込區西五軒町帝國兒童教育會宛に直接申込あり度いと

新刊教育兒童書紹介

▲教育時論(四月五日號)五彈精神の動き方、日本の學校教育再吟味、義務教育費國庫負擔問題國史教育としての反省と修養、其の他(十八錢東京市麴町區三番町開發社)

探偵小說　女妖（65）

江戸川亂步作
横溝正史作
伊藤幾久造畫

犯人は？（二）

丁度その頃の事である。巴里の郊外で砂村と言ふ、至つて風光明媚な別莊地がある。その別莊地の、昔貴族が住んでゐたと言ふ大きな邸へ、最近移り住んで來たロシヤの貴族と稱する紳士があつた。

名は千家鷲鷹といつて、背の高い、鬚の濃い、見るからに堂々たる偉丈夫、尖つた鷲鼻の上に、爛々たる眼が二ツ、ぎろりと鋭く光つてゐる。如何にもロシヤの貴族らしい剛嚴なる面構へ、しかし、これを惡くいふと、何處か無氣味で近寄りがたいところがある。

然し、パリーも郊外となると、人目も至つて少く、警察の眼も行屆かぬと見えて、この正體の曖昧なロシア貴族に對して、誰一人疑惑の眼を向ける者はない。

今しも千家鷲鷹は何處か外出先から歸つて來たところと見え、馬車を下りると、重さうな鐵門を開いて中へ入つて行つた。

昔貴族が住んでゐたといふのも成程と頷けるやうな廣い邸宅である。その砂利道を千家鷲鷹は、又馬車の轍を響かせながら玄關の方へ進んで行つた。

うつさうたる木立が道の兩側に千年も昔からの姿そのまゝに立つてゐる。一寸見たところでは、これが一つの邸内の庭とはどうしても思へない千古の森林さながらの風景である。

さうした深い木立の中を暫く進むと、漸く古びた洋館の一角が見え始めた。それはフランス革命以前からの建物で、革命當時、暴民に襲はれたために、建物の所々にかなり破壞された跡が見える。さうした破損をつくろひもせずに、そのまゝ住んでゐる事が、却つてこの新らしい主人の奧ゆかしい趣味を思はせるのだつた。

馬車が玄關に近づくと中から一人の黒ん坊が飛び出して來た。そして馬車の手綱を取ると、主人に向つて恭々しく一禮する。

「いや、御苦勞々々。誰も來なかつたかね」

「ハイ、何誰もお見えになりません」

「さうか、よし」

千家鷲鷹はさう言ふと、身輕に馬車から飛び下りた。

そして手にしてゐた笞を黒ん坊の下男に渡すと、とつとゝ石の階段を登つて行く。

玄關を入ると、直ぐ傍に廣間がある。

鷲鷹は廣間へ入ると、帽子と手袋をとつてどつかと大きな革椅子に身を投げ出した。そして、卓子の上から葉卷を取上げると、さもうまさうにそれを燻らし始める。

と、其處へ先程の黒ん坊の下男が、銀の盆を捧げてコップの水を持つて來た。

「いや、御苦勞々々」

鷲鷹はゆつたりとした氣分で、そのコップを取上げると、

「時にお客樣の樣子はどうだね」

と訊ねる。

「ハイ別にお變りはありません」

「二人ともかね」

「ハイ、昨日まではかなり亢奮してゐらつしやいましたが、今日はもうすつかり落着いてゐらつしやる樣です」

「さうか。二人とも却々氣丈な女と見えるな」

さう言つて、千家鷲鷹はにんまりと笑つた。

衛生欄（質疑應答）

痔瘻の初期

昨年の二月痔核を手術して全治しましたが最近肛門の外の奧にシコリの樣なものがあつて痛みを覺へます、痔核とは違ふ感じですが何でせうか（牛込川原）

『答』恐らく痔瘻の初期でせう、瘻孔が外部に開口せずに居るのですが放任して置くと外部に小さな穴が明いて膿を出す樣になるのが普通です、痔瘻の療法は體質との相談ですから專門の醫師とよく協議の上で治療しなくてはなりません。

出血と貧血

身體は割合に強い二十一歳の女ですが通じの度に出血があります痛みはありません、顏の色が蒼白くて困ります療法を（千葉みよ女）

『答』痔の出血と思はれます、肛門内部の何處かに創があつて排便のために粘膜面が破れ出血するのです、この出血は甚だしく貧血を招くものですから顏色が蒼くなつたのでせう適當な肛門座藥を挿入して出血を止めなくてはなりません、自宅で用ふるには小松痔退座藥などが安全で有効でせう。

痔核と鎭痛藥

最近肛門内側に小さな疣を生じ激しく痛みます、痛みを止める藥は有ませんか（小樽B生）

『答』すべての痔疾藥はみな痛みを止める力を有してゐる筈です、しかし効力が多いか少ないかの差はありませう、單純な症狀ならば小松痔退膏を貼付するだけで充分治ります。

產後の痔疾

本年一月分娩後東角痔が痛み出血します、良い藥お知らせ下さい（困り女）

『答』出產時の壓迫により裂瘡が出來たものでせう便通を緩和するため野菜類を多く食し患部を溫かくし無理な力業をしない樣になさい、入浴して患部を淸潔にし脱脂綿によい軟膏をのばして貼付して置くと裂瘡面が癒合して治るものです、藥店で小松痔退膏を求め一日二三度交換して御覽なさい充分効果があるでせう。

□先づ病を識れ□

「正しく識らぬため」痔疾に惱む

……日常生活に注意すれば痔疾は輕微で治るもの……

痔疾に惱む人の多くは十年も十五年もこのために惱み續けてゐるといふのが普通である。誠に同情に値することではあるが一面から言ふと、どうしてそんなに長く苦しまなくてはならぬ樣にしたか、自分の身體にして置いたか、と云はれても仕方がないのである、恐らく患者はこれに對して『いや放任したのではない、あらゆる療法を講じたが治らないのだ』と抗議するに相違ない、それも無理ではないが、然らばその所謂療法とはどんな事を指して云ふのか、醫師の手當を受けた、手術した、藥を用ゐた、といふことが主なるものであらう、つまり外からの力を以て治さうとした事を以て全部なりと考へるならば痔疾は到底治らないのである。

知るものは怖れず

單に痔疾のみと云はず病氣といふものゝすべては外からの力によつてのみ治さうといふ事は根本的に誤りを有つものである。これは人間が自分の身體乃至病氣といふものゝ發生に對する知識に乏しいことから起るのであつて醫師と藥とを餘りに頼り過ぎる缺點にもよると云はなへてはならない。痔疾患者の場合に於てこの傾向は特に多いと思ふ、原因なくして結果はないのであるから痔疾にしても突如として無から有が生じたものではない、痔疾となるべき原因は各自の日常生活中にチヤンと織り込まれつゝあつたことを考へなくてはならぬことである。どうすれば痔疾になるのか、又どうすればそれが防がれるか、乃至は又どういふ部分がどうなるのが痔疾なのであるか、それを知らぬ故に十年十五年を惱むのである、彼の肺結核を怖るゝものはたゞ怖るゝのみで其の本體に就ては何も知らぬ、だから『人は病氣のために死ぬのではなく病氣を怖るゝために死ぬ』と喝破した人さへある、眞理である。

痔靜脈存在の理

端的に云へば人間の肛門といふ所は痔疾を起すのによい條件を具へてゐる所だと云へるのである。解り易く說明すると[illegible]で消化された[illegible]の滓、即ち糞便が漸次に下降して來て肛門の内部、直腸に停滯しそれが直腸に保持されなくなつた時に括約筋を押し開いて外部に排出される、從つてこの括約筋のある所、即肛門周圍は常に或る壓迫を受け續けてゐると思つて差支はない、しかもこの部分には特殊の形狀をした血管、痔靜脈といふものが無數に存在してこの壓迫に對するゴム管の如き緩衝作用を營んでゐる、しかし如何にその血管が多く又巧妙に造られてゐても直腸内から下降して來る壓迫が異常に強大な場合、つまり糞便が大量でしかも硬結してゐると其の壓力に堪え兼ねて血管内の血液は流通することが出來なくなる。

便秘豫防の意義

ゴム管に水を入れて兩端を塞ぎ中央を强く壓迫すればゴム管自身が膨れてその壓力に堪えるより外に道はない如く壓迫された痔靜脈は鬱血を起して遂には膨れ出す、この膨れ出した狀態が所謂痔核なのである。して見ればこの血管を壓迫しない條件、即ち大量でしかも硬化しない軟かい排泄物が何の困難もなく括約筋を通過して排出されてゐれば鬱血は起らず痔核も出來ないか、正にその通りである。であるから痔疾患者の大部分は便秘症の人である、然らば便秘は如何にして起るか、便秘を豫防することは痔疾の豫防であるか、曰く然り、正にその通りなのである。要するに、斯く知ること、斯く知つて其の原因に逢着したら自から原因を斷つ樣に生活を改善すること、これが痔疾の根本的療法なのである、所が斯く原因に據ることをせず、痔疾として現はれて來た點にのみ療治を加へてもそれは結局何にもならぬ、正しく識ることそれが第一と云はねばならぬ。

藥の安全性と効

しかし一旦痔疾として現はれて仕舞つたものに對してはどうするか問題はこゝにある。切るか、灼くか、注射するか、藥をつけるか、他に方法はない、切るとは靜脈の膨れ出した部分を切るのである、無數にある血管の一つを切つても次の血管が膨れ出せば元の杢阿彌である（痔瘻の場合は性質が違ふ）灼くとしても同じである、注射は便利であるが絕對的とは行かぬ。藥をつける、これは安全だが効き目がのろい、患者たるもの誠に焦慮せざるを得ない譯である、結局一時の苦痛を凌ぐことに馴れて根本的の療養を忘れるために十年依然として病苦に苛責されるといふ事になるのである。

治療の根本問題

果して如何にすれば痔疾の苦痛を輕減し治療の機轉を速かならしめることが出來るか、第一に飲食物を調節して便秘の原因を除去し便通の整調によつて根本的の刺戟を去らねばならぬ。第二に適當な運動によつて胃腸の機能を良好ならしめる（安靜といふことも適當な運動中の中に含まれる）患部を冷さぬ樣にすること、而して後に藥治を加ふべきである。痔の藥は痛みを止める作用、殺菌の作用、吸收の作用、收斂の作用、防腐の作用、消炎の作用等を有するものが理想である、たゞ麻痺劑によつて痛みを紛らすものは何の意味をもなさぬ。現在吾が國にも痔藥は數十種あるが實驗の上からは『小松ちの藥』などが最も優れてゐることを認めない譯には行かぬ、實際に効果あるものはあると云ふより外はあるまい。この藥の成分は確かに一般の痔藥と別個のもので自家用としては先づ理想に近いものと云ふことが出來る。

痔疾患者に問ふ

こゝで患者諸氏に質問したいのは實際に病苦から逃れたいのか逃れたくないのかといふ事である、若し眞實この病苦を征服して健康を樂しみたいならばそれだけの決心と覺悟とを以て進むことである。前に述べた小松ちの藥の實驗例の如きは恐らく如何なる症狀の患者に取つても確かに大きな參考となるべきものと信ずる、むしろ一讀の義務があると云つてもよいだらう（右實驗例は東京日本橋瀬戸物町玉置合名會社で無代頒布する）

贈收賄や贈賄幇助で全部有罪と決定
小川前鐵相以下十八名
四私鐵疑獄事件の豫審終結す

【東京十六日發電】小川前鐵相を繞る四私鐵事件は東京地方裁判所渡部豫審判事の手で審理中であつたが、十六日豫審終結決定し夕刻までに右決定書を各被告の下に送達する事となつた、豫審免訴者は一名もなく左の人々は全部有罪と決定した

收賄
前鐵道大臣　小川平吉
前代議士　青山憲三

收賄幇助
元代議士　春日俊文
前小川鐵相秘書官　守屋元太郎

贈賄
東大阪電鐵社長　太田光凞
同重役　田中元七
同　吉川義照
同　白井勘助
元代議士　長田桃藏
奈良電鐵社長　井出繁三郎

贈賄幇助
ブローカー　角谷幸次郎

贈賄
伊勢電鐵社長　熊澤一衛
同重役　伊坂秀五郎
博多灣電氣軌道社長　太田清藏

贈賄幇助
貴族院議員　富安保太郎
北海道鐵道社長　犬上慶五郎
同重役　兵藤榮作
同　渡邊孝平

外に贈賄幇助として長田、吉川、太田等は全部有罪となつた

崎山代議士正式に起訴

選出政友會代議士崎山武夫氏は過般の總選擧に買收行爲ありたる事明白となつたので十六日午後一時鹿兒島地方裁判所竹平檢事より不拘束の儘正式に起訴された

巨頭の公判に友人が辯護
法廷にも豊かな友情

【東京十六日發電】大疑獄豫審終結に依つて政界裏面の醜状は白日の下にさらけ出され世の顰蹙を受けてゐるが、これを被告に對し友人としての立場から美しい同情心を以て特別辯護人として立たうと云ふ友情味豐な話が續々生れかけてゐる、即ち佐竹三吾氏のために元鐵道次官中川正左、經濟學博士永井亨、前臺北地方法院長宇野庄吉の三氏が、小川平吉氏のために前横濱地方裁判所長横山鐵太郎氏がそれ〴〵法廷に立ち汚名をきせられた友人のため大いに辯じやうとして居り、聽て開かれる法廷に於て陰鬱な空氣を破つて特別の感激を釀すであらうと云はれてゐる

【東京十六日發電】昨日東京檢事局に召喚取調べを受けた鹿兒島縣

東亞日報に行政處分
無期發行停止

【京城十六日發電】諺文新聞東亞日報は十六日附を以つて無期發行停止の行政處分に附された

質流れ品を入札競賣
常盤質舖で

大連市常盤質舖では十九日午前九時より午後五時までの間社會館講堂に於て最低價格を附し質流れ品の陳列賣却を行ふが買受希望者は現品縱覽の上所定用紙に必要事項を記載し一品毎に入札せられたいと、點數は約三百點、入札用紙は會場に於て交附開札は翌二十日午前九時より開始、同一價格入札者二人以上ある時は抽籤を以つて落札者を決定する由、落札者には通知を發するから二十四日までに代金引換に現品を引取つて貰ひたいと

今度は前助役の慰勞金の噂
小數賀氏との比率で四千圓程度の提案か

大連市より石本前市長に贈呈した目錄と慰勞金三千圓は石本氏より辭退して來た爲め田中市長はこれが善後策に頭を痛めてゐるが、この問題の解決しないうちに瀨谷助役も辭任したので氏に贈呈すべき慰勞金もまた噂に上つてゐる、前小數賀助役辭任の際は市より二萬圓也の慰勞金を贈呈してゐるが、氏は全四ケ年間勤續し、その割合を以つてせば瀨谷氏は全九ケ月間の勤續であるから三千七百五十圓これを四捨五入して金四千圓也の慰勞金贈呈を市長より提案されるだらうと云はれてゐるが、もとより確定的のものでなく一種の想像に過ぎない然し瀨谷氏の立場は石本氏と多少異にしてゐる點もあり田中市長も石本前市長の感謝狀並に慰勞金問題に苦い經驗を有してゐるので愼重に熟慮の上提案されるであらうと

緊縮パンフレッド

滿洲公私經濟緊縮委員會では今般法學博士森莊三郎氏が「今後に於ける我等の覺悟」と題して講演し上たる金解禁後に於ける國民の覺悟に關する講演のパンフレッドを作製したが、前回の兩册子同樣近く各支部を以て配布の筈である

漁獲權から漁民對峙
警官を發動機船に載せ警戒

【鳥取十六日發電】鳥取島根兩縣に跨る中海では本年夥だしき赤貝が發生した爲め、兩縣漁夫の漁獲權爭ひとなり毎日數百艘の漁船が出動し爭ひを續けてゐるが、十六日未明より形勢愈々不穩となつたので警戒船八雲丸に中村、松江、石川、安來、淀江、脇坂、米子の各警察署長乘り込み發動機船九艘に警官數百名を乘せ之れを指揮警戒せしめてゐるが、兩縣漁夫の反目は益々募るので解散を命じた處午後九時頃島根側は發動機船に漁船を曳き船して二列の陣形を執り示威的行爲をなしつゝ島根の領海なる十島沖合に引き上げ一方鳥取側は自己の領海なりとて頑として引き上げず爲めに警戒船にては萬一を氣遣ひ双方を鎭撫中であるが双方對峙して讓らず形勢不穩である

織田參與官夫人

【東京十六日發電】織田外務參與官夫人榮子(三七)は十五日腸窒扶斯と決定した

執務中の土地係員二三名を又もや檢擧收容
土地整理を餌に華人を欺く
民政署の疑獄進展

表面一段落と見られてゐた官有土地貸下に絡る瀆職事件は收容中の大連民政署土地係志賀主任、中澤次席、田中技手及び贈賄者側を取調の結果、十六日又もや三名の

瀆職官吏を出すに至つた

同日午後三時大連地方法院池内檢察官は電話で關東廳高等法院安岡檢察官長の指示を仰ぎ、二宮、弓削兩巡查の手で執務中の大連民政署土地係技手藥地七之助、土地係屬淺川武夫、屬米村保雄の三名を拘引、一應取調のうへ午後五時三十分令狀を執行、嶺前屯刑務支所に收容した、これより先高井檢察官は中島司法巡查以下を

帶同して市内丹後町十三番地藥地技手宅へ、池内檢察官は庄司刑事以下を伴ひ市内菫町八三番地淺川屬宅へ、更に千葉警部は上郡山刑事部長を帶同菫町三九番地米村屬宅へ赴きそれ〴〵嚴重家宅搜査を行ひ多數證據書類を押收引揚げた、藥地技手等の罪狀は收容中の被疑者の證言又は證據物件によつて動かぬ確證を

司法當局で握つてゐる模樣であるが、從來の官有土地貸下に絡まり志賀主任等と氣脈を通じ收賄の瀆職行爲を行ひ或は關東廳の土地整理の結果、貸下土地を沒收することゝなつたが、運動如何では沒收せず濟むと欺き、州内支那人地主から多額に上る不正の金を捲き上げてゐた新事實も發覺したものゝ如く取調の進展に連れ更に瀆職官吏を出すものと見られてをる

ガラ空きの土地係
屬一名と雇が五、六名

事件以來大連民政署土地係は御用の際に屬三名、技手二名、雇一名計六名も檢擧されてガラ空となり僅かに屬一名、雇五、六名が殘るのみとなつた、爲めに仕事も手に付かず戰々兢々の有樣で事務の澁滯を來してゐるが、藤井財務課長も「困つた〳〵」と滯し民政署當局はこれが善後策に頭痛鉢卷の態である

春・街上の慘劇
實兄の乘つたローラーで苦力が轢き殺さる

十六日午後一時十分ごろ市内土佐町三八番地先で道路修繕のため關東廳土木課大連出張所のローラー(運轉手小山正運)が前方で作業中の苦力陳元賓(二七)を過つて轢き見るも悲慘な珍事を惹き起した、急報により大連檢察局から高井檢察官、新妻警部補現場に出張檢視を遂げ小山運轉手を業務傷害致死で取調中である、被害者陳の死體は板の如く地上に轢き伸ばされてさながら挽肉のやうに碎かれた、轢いたローラー助手として被害者の實兄陳玉兒(二七)が乘つてゐて實弟の無殘な即死を見て泣き叫んでゐる樣は道行く人の目に涙をもよほさせた、なほ被害者は珍事の三日前兄の世話で同所の苦力に雇れたものである

淺野セメントの川崎工場動搖す
要求を提出し罷業準備

【横濱十六日發電】川崎市但馬町淺野セメント從業員七百七十六名は先月中旬より賃銀制度改正反對の歎願書を提出し協調會の添田理事が調停に努めつゝあつた處、不調に終つたので十六日總同盟セメント從業員組合は午前十一時罷業準備の指令を發すると共に夜勤手當一割存續その他十二項の要求を提出し十八日午後二時迄に回答されたいと迫つてゐるが、會社側は拒絶の回答をなす模樣である

自動車料金は割引も嚴禁
高い定額料金のタクシーは値下の再認可が要る

昨夕刊所報の如く大連署保安係は關東廳警務局の嚴達により市内タクシー業者が花柳界方面に出してゐる十錢割引の謝恩券の發行を禁止するが、これと同時に普通賃金の割引をも嚴禁することゝなつた即ち從來タクシー業者は現金で支拂ふ場合は正額五十錢を申受け、帳付の得意先に對しては定額の二割、四十來で運轉してゐる、これに對し關東廳では「定額以外の料金を取ることを得ず」と指示してゐるので、警察署に屆出で右以外の料金を徴收した場合は今後處罰される譯である、この結果從來七十錢乃至六十錢を定額料金(實際は五十錢)として屆出てゐるタクシー業者は、これ以上又は以下の料金を取ることが出來ず、同業者との競爭上必然的に定額料金値下げの再認可を得ねばならぬものと見られてゐる、右に就き原田保安主任は語る

謝恩券發行と普通料金の割引を禁止するのは種々の理由に基くものであるが要は無謀な賃銀競爭の防止にあると思ふ、定額料金以外の料金を取ることが出來なくなれば七十錢や六十錢を定額料金として警察に屆出てゐる向は定額料金の變更を願ひ出ねばなるまい

八對四で法政勝つ
對立敎一回戰

【東京十六日發電】法立第一回野球戰は午後三時十二分綾村(球)三宅、新田(審)三氏審判法政の先攻で開戰八對四にて法政の勝となつた閉戰五時十分
▲バツテリー　法政(若林、倉)立教(辻、小笠原)

大連實業團會員募集

大連實業野球團後援會では左記の通り昭和五年度後援會員を募集すると
▲維持會員　會費毎年金二十五圓(一口)以上、座席は本壘ネット裏コンクリート、スタンドCDE席
▲特別會員　會費金十圓、座席は本壘ネット裏コンクリート、スタンドCDE席
▲普通會員　會費金五圓、定席なし座席はコンクリート、スタンドの兩外側土のスタンド
普通會員にして定席希望の方は會費の外に
指定席券　會費金二圓、座席は一壘及三壘ネット裏コンクリートスタンドABFG及本壘ネット裏スタンドCDEの上端より二段目まで

申込場所
維持會員後援會事務所(山縣通瓜谷商店内)
特別會員及定席券　伊勢町山本運動具店(電五九七九)
普通會員
山本運動具店(電五九七九)
大阪屋書店(電五一八八)
體育堂本支店(電三七二三、二二一五七)
五葉商會(電八六一一)
滿洲日報社内本村武盛(電六三四八)
玉澤運動具店(電二二三三七)
安藤忍(電八六一二)

木炭積載の貨車より發火して乘客死傷
應援に驅けつけた憲兵殉職
朝鮮鎭昌線の椿事

【釜山十六日發電】十六日午後一時十五分鎭昌線長福山隧道にて鎭海を發した第二百二十五列車の木炭積載貨車より發火、同貨車及び客車二輛を燒失乘客一名重傷五名の輕傷者を出した、急報に依り鎭海より應援に驅けつけた憲兵一名は重傷後遂に死亡した、尚消火中工夫一名車掌一名は窒息したが、幸ひ蘇生した、これが爲め現場は大混雜を極め鎭海及び馬山より醫師看護等數名現場に急行した

約一萬坪の山火事
轉山燒く

十六日午後六時廿九分頃寺兒溝の石油スタンドの東方轉山の中腹より發火し約一萬坪の山火事となり大連消防署より直に蒸氣ポンプを出動せしめて消火に努めたが午後七時卅分頃松その他多數の樹木を燒きつくして漸く鎭火した、原因損失額等は目下取調中であるが附近に火藥庫もあることゝて一時は却々の騷ぎであつた

黄組體育會
新に組織さる

滿鐵では社員の體育普及健康增進で大童のことは既報の如くであるが、社員の方でも漸く趣旨が徹底し、いち早く總裁室、庶務部、消費組合の三ケ所を含む黄組では各箇所に先だつて黄組體育會を組織し野球部、庭球部、陸上競技部、體育ボール部、婦人部に分れて機會ある毎に社員集合のうへ一體體育の向上を計ることになつた

柴野恭堂氏講演

滿鐵社會課では今回京都臨濟宗大學教授柴野恭堂氏を聘して十七日午後四時半から社員俱樂部第二集會室に於て「無我の意義」なる題下に講演會を開催する

愈よ設立された大連野球審判協會
球界の權威者を網羅し野球技の健全な發達を圖る

近時我國運動熱の勃興は旭日昇天の勢を示し如何なる山間僻地においてもボールに觸れ、スポーツを語る人々のゐないところはない、後世大正昭和の時代風俗畫を畫がく繪師あらば恐らくユニホーム姿の運動選手を畫がいて時代を表現するであらうといふ語も敢し過言ではあるまい、然るに我が運動界は紛擾が殆ど附物のやうになつてゐる

勿論一面紛擾の多きは其の旺なることを物語るものであらうが、折角の興味もこの紛擾の二字によつて殺がることを往々にして見受ける、東京における六大學リーグ戰、その他野球大會においてはこの弊害を排除するべく努力し、或は專屬審判官を設置し、或はまた大會毎に審判委員を設け試合を圓滑に且つ一層權威あらしめてゐる、實業、滿俱の二大チームを有し

黄金時代を作る大連の野球界でも近時專屬審判官を設け滿洲野球界に一新紀元を畫すべしとの議起り大連實業、滿俱兩俱樂部關係者集合、より〳〵協議中のところ、いよ〳〵左記野球關係者、功勞者及び權威者により大連野球審判協會なるものが出來上り、近日中に發會式を擧行することになつた、同協會は上述の如く大連に於ける野球競技の審判をなし、規則に關する疑義を解決し、併せて滿洲における野球技の健全なる

發達普及を圖るを以て目的とするものであるが同協會の設立は滿洲野球界の現在の地位をより一層高めるものと信じられてゐる、發表されたる役員諸氏の氏名は左の如くである

▲會長　小日山直登
▲副會長　貝瀨謹吾、平田驥一郎
▲顧問　津久井誠一郎、吉村英吉、平下正朗、西山勉、瓜谷長造、猪子一到
▲常任幹事　安藤忍、中澤不二雄、岩瀨五郎、疋田捨三
▲委員　中澤不二雄、疋田捨三、芥田文夫、永澤丈夫、濱崎眞二、兒玉政雄、綠川郁二、井上直吉、片岡秀雄、吉野幸策、上條千幸、中井幸雄、安藤忍、岩瀨五郎、中島謙、平田次郎、高穠誠、安藤勝、中川武行、宮武英男、二神武

可愛い雛に春の光り

戀と地獄 (103)

三上於菟吉作　浅枝次朗畫

海邊の秘密（三）

冷三は目を閉ぢた——すると大きな重たるい波に乘せられたもののやうに、全身が搖り動かされて、そして船醉に似た嘔吐性の眩暈が襲つて來るやうな氣がした。

「冷三さん、何だつてあなたはいつまでも六かつてゐなさるのよ」

と、綾子は、ねばつこく囁いた。

「私が吉雄さんなんぞに何で愛を分けるでせう——あなたはあの人とのことをうたがつてゐるのね？あなたは遊びとほんたうの生活がわからないほど子供でもないのでしやうに——」

冷三は言ひはづかしめてやりたくてならなかつた。

——僕は見てゐたのだ！聽いてゐたのだ！何もかも知つてゐるのだ！汚女！

しかし、それが聲じて彼の唇からは出なかつた。あべこべに、彼女の言葉に依つて愛撫された感情が、熱い、大つぶな涙となつてポトポトと溢れ落ちるのをさへ禁じがたいのだつた。

「まあ、あなたは泣いてゐるのね？私が側にゐるとそれほどいやなの？」

綾子はわざとらしく歎息した。

「いゝえ、そんなわけじやないのです」

と、冷三は狼狽て答へた。

「じやあ、どうして泣くの？」

自分にもわからない涙である。反抗を放棄しなければならなくなつたもただけが知る、あの情なさと、よろこびとの交錯した感動には相違ないが、どんな氣持ちと問はれて答へるにはあまりに複雜なものであつた。

——僕はこのひとのために、何もかも失つてしまうのだ？思想も純潔も——。

それなら、彼女を突き放すがよい——決然として立つて、外へ出てしまうがよい。

だが、冷三には、彼女がゐるところほど魅惑的なものはないのだつた。

——妖しだ！妖しだ！妖しだ——

冷三は目をとぢつゞけた。すると、物の本で讀んだあの恐るべき海の女妖のすがたが、彷彿としてうかんで來た。海の女妖は——サイレンは、白い顔に髪をふりみだし、ゆたかな腕に樂器をいだいて、あらゆる航海者に叫びかけ、歌ひかけ、そして船という船を覆滅せしめるのだつた。まぼろしのサイレンは、ありありと綾子とおなじ顔になつて彼にほゝゑみかけた。

彼は熱い息を耳朶に感じて、愕然として幻想からさめた。

すると、つい鼻の先に、眞白な綾子の顔があつた。

「私としては、隨分あなたにつくしてゐるつもりよ」

と、彼女は囁きくどいてゐる。

「私はあなたをあぶない瀬戸際から引き出して上げたわ。黒い炎の中から引出して上げたわ。そして落ちついてあなた自身の仕事が出來るやうにしてあげたわ——いゝえ、私、別にそれを誇りにするわけではありませんのよ。あなたに誇つて見せる必要がどこにあるでせう——ただ、みんなそれもあなたを愛してゐたればこそと言ふだけですわ。あなただつて、つい昨日のことを忘れておしまいになるはずはないわねえ——」

——さうだ、彼の前に突然あらはれて、人間に對する義務と信じたものから彼をそむかせたのは彼女にあつた。彼にあらゆる事業よりも彼の女と一緒にゐるといふことの方が樂しいといふことを知らせたのは彼女であつた。そして彼女はそれを指して救ひだといふ——

「あなただつて、私の愛を信じたればこそついて來てくれたのでせう？」

滿日文藝

滿日柳壇

薬菜吟『胸』　　沙河口　哥壽美

胸に手をあてゝ人封の門を出る
嫁ぐ日の胸に怪しくうつ動氣
胸市が少し足らない不合格

　　　　大連　掛泉

胸倉をとつて女房は懸飾をいひ
胸三寸締めて候補の話しぶり

　　　　撫順　喜良久

受驗籍小さい胸を躍らせる
胸騷ぎする烏啼き氣が腐り

　　　　大連　晨夫

買ひ過ぎた品を遁ゝ胸算用
胸の中見透されてる若旦那
仲人は胸と度胸を褒めてゆき

　　　　大連　素靜

胸の邊娘は別なうつくしさ
勳章へ今日の佳き日の陽がうつり

五月川柳課題

◇「面あて」四月二十五日〆切
◇「袖」四月三十日〆切
◇「ピクニック」同上

▽一題五句住所氏名明記の上▽大連市彌生町一六高須月南宛のこと

　　　　滿日社文藝係

新刊紹介

▲滿洲短歌（四月號）「空」（北原白秋）「多藝」（富田充）「平原（坪田耕吉）「撫順近郊」（河本茂大郎）等、定價三十錢、大連霧島町滿洲婦士藝術協會發行
▲露西亞事情（百四號）「露國軍隊に於ける共產青年團」（定價廿錢東京丸ビル露西亞通信社發行
▲海友（廿一卷）發刊二十周年記念號「グレート大連港の新施設」（紺野順）「第一艦隊便乘見學記」等（定價卅五錢、大連寺内通大連海務協會發行）
▲朝鮮（四月號）「地方制度改正に就て」（齋藤總督）等（定價卅錢朝鮮總督府發行）
▲共存（四月號）「農村青年の生活理想」（深作安文）等（定價廿五錢東京市外大久保百人町三一七新日本協會發行）

滿日勝繼聯珠（九）

中央聯珠社大連支部第一次戰譜　第四回（その一）

渡邊榮洲
先番　井口珠醉

【四段井村永治講評】

△級差なし、七桂捉打四號水月

黒(三)までを四號桂馬水月といふ。(四)は有力な防ぎである、又之を「イ」に打つ斯も面白い。評者の最も得意とするところである黒(五)惡い「ロ」或は「ハ」に打つが定珠である。よしそれが趣向としても敬服出來ぬ「ニ」に打つなどもあるには有るが……白(六)大いに可、待望主義な穩健なる手段である。黒(七)贊成出來ない「ハ」に打つ位のもので又此場台に於ける手筋でもある。

●正誤　第四回講評中右より三行目「旅星」は「瑞星」六回「第二回（その二）」は「第三回（その一）」左より入行目「斜引斜」は「斜引釘」の誤、又戰譜中「五」の右隣に「白（六）」の一珠を脱す

夕刊 滿洲日報 四月十六日
發行所 大連市東公園町廿一番地 株式會社滿洲日報社 印刷人 山下□太郎

日・英・米新協定に基く わが補助艦の保有量
現有勢力より五萬噸減
代換十萬六千噸、廢棄七十八隻

【東京十六日發電】ロンドンより最近その筋に達した情報に依れば日英米三國補助艦協定に基く我國の協定保有量と現有量との増減、一九三六年までの代換建造量權利並びに廢棄量左の如し

一、補助艦現有量
大巡 一〇八、四〇〇噸
輕巡 九八、四一五
驅逐艦 一三二、四九五
潛水艦 七七、八四二
計 四一七、一五二

二、我國の協定新保有量
大巡 一〇八、四〇〇
輕巡 一〇〇、四五〇
驅逐艦 一〇五、五〇〇
潛水艦 五二、七〇〇
計 三六七、〇五〇

三、現有量と協定新保有量との差引増減量
大巡 ―
輕巡 増 二、〇三五
驅逐艦 減 二六、九九五
潛水艦 減 二五、一四二
計 減 五〇、一〇二

四、一九三六年迄の代換建造量權利
大巡 ―
輕巡 五一、〇〇〇
驅逐艦 三六、五〇〇
潛水艦 一九、二〇〇
計 一〇六、七〇〇

即ち右驅逐艦及び潛水艦の噸數は一九三六年までに代換建造と關係なしに當然廢棄すべきものである

五、一九三六年までの廢棄量概算
大巡 ―
輕巡 四八、九六五
驅逐艦 五二、七〇〇
潛水艦 三七、〇〇〇
計 一三八、六六五

六、廢棄艦の確定せるもの
輕巡では利根、筑摩、平戸、矢矧、龍田、球磨、天龍、多摩、北上、木曾、大井の十一隻、驅逐艦では一等驅逐艦は海風より谷風まで九隻二等驅逐艦は櫻より竹まで二十五隻合計三十四隻潛水艦では二等潛水艦呂號第一より第二十八まで三十二隻(註廢棄は艦齢順に據るから潛水艦番號と廢棄隻數とは必らずしも一致せず)である

廢棄完了の期日 一九三六年末と決定す

【ロンドン十五日發電】巡洋艦、驅逐艦、潛水艦の廢棄完了期日は一九三六年末と各國の間に意見一致を見て居り條約起草委員會でも一九三六年としたがアメリカは先頃より之を一九三四年末に完了となさん事を主張し之を固執してゐるので十四日の總會後スチムソン、アダムス、財部、アレキサンダー四全權の會談となり財部全權は本會議の招請状においても一九三六年末に至り達せらるべき數字の協定とある旨を指摘してアメリカの反省を求めたが時間なくして議纒まらず十五日午後零時半よりセントジエームス宮殿において日英米三國會商し問題解決を圖ることになつてゐたがアメリカ側が折れて出で一九三六年末となる事に同意したので會議の必要なくなり問題は茲に解決した

選擇條項問題は米の言明で解決 日本は何等保留せず

【ロンドン十五日發電】アメリカの大巡、輕巡自由選擇條項問題に關し若槻、財部兩全權は十五日午前十一時リツツホテルを訪ひスチムソン、リード兩全權プラツト少將と會見し若槻全權より選擇條項の適用に依り輕巡四萬五千噸の建造増加が急に行はれる事となれば日本は困るとてアメリカの態度明示を迫つた處、スチムソン全權はアメリカの建造計畫に依れば輕巡四萬五千噸は一九三六年以前には決して建造に着手せぬ旨言明したので若槻全權はアメリカ全權が本問題につき潔白に明言せる紳士的態度を諒し問題は茲に解決した、倘右は只アメリカの言明のみに過ぎず條約文においては日本より何等保留とはせぬことゝなつてゐる

新任駐奉總領事ズ氏一行着哈

露支正式會議豫備會議の重要使命を帶びた新任奉天露總領事ズナメンスキー氏は副領事、秘書各一名を帶同し十二日朝歐亞聯絡列車で哈爾賓に着いた【寫眞は哈爾賓驛頭のズ總領事】

調印は日本の返電で決定 代辯者語る

【ロンドン十五日發電】イギリス側代辯者は本日左の如く語つた
條約草案は十六、七日迄に完成し各國政府に打電されるから二十二日の調印式に間に合ふか否かは日本の返電が間に合ふか否かで極るだらう
倘して我全權側では恐らく調印は豫定通り二十二日午前中に終るべしと見てゐる

我全權事務所 廿五日閉鎖

【ロンドン十五日發電】若槻全權は條約文につき政府の承認回答を待つ必要より二十二日迄旅行もせずロンドンに留まることゝなつたが調印式後四、五日はスコツトランド地方を見物し廿八、九日頃ロンドン發ベルリン、パリーよりジユネーヴに廻り大陸旅行を試み五月十二日イタリーのネープルスより北野丸に乘船する筈である、グロヴナースクエアーの全權事務所も二十五日閉鎖し殘務整理は大使館事務所でなすことになつてゐる

伊全權歸國

【ロンドン十五日發電】イタリー全權グランヂ外相、シリアニ海相アクトン提督は十五日午前九時ロンドン發ローマへ向つた

若槻全權の宣言 廿二日調印式當日

【ロンドン十五日發電】二十二日の調印式には會議の總括を爲るべく各國全權の華やかな演説がある筈であるが、若槻全權の演説は
一、本條約が一九三六年以後の協定を何等拘束せぬ事のわが保留條項を更に敷衍し
二、英米の大巡洋艦と輕巡洋艦との振替條項實施の場合日本の保有内容は當然變更し得ると解釋する
旨を宣言する筈であると

復興答禮使 米大統領を訪ふ

【ワシントン十五日發電】昨日當地へ到着した時事新報の遣米答禮使一行は本日フーヴァー大統領を訪問復興の感謝を述べた

印度暴徒警官と衝突 カルカツタで

【カルカツタ十五日發電】國民會議法違反の廉で印度議會議長シャワカルラル、ネール氏が六ケ月の禁錮の宣告を受けたのに憤慨し反對運動を起し群衆が數千の警官と衝突し警官は發砲し、數名の暴徒を射殺し數名の負傷者を出した倘暴徒は交通を阻止し五臺の電車を燒却し之を消し止めんとした消防手を殺害し警官側の負傷者も相當あつた

孟買取引所閉鎖

【ボンベー十五日發電】ボンベー株式取引所は印度議會議長ネール氏が逮捕されたゝめ十四、五兩日閉鎖された、アーメダ、バツドでは外國品ボイコツトを行ひ辯護士は擧つて法廷に出ず學校、工場及び印度人の商店は閉鎖された

走馬燈 荻川

暗鬼(其四)

米國は初め支那に、侵略的野心はなかつたが、列國が競ふて之を支那に試む、かゝる情勢の間に立つと、既に支那に通商と云ふ希望が在る以上は、其通商が平和的では立ち行かぬ、それでこゝに米國は、機會均等なる新熟語を支那に使ふて、列國侵略の後に從ふ、斯うなれば自ら手を下さゞるまでも、侵略への機會均等は乃ち侵略となる、寧ろ其遣口は、同じ仕事をなすに、他を貶して吾を善くせんとする僻事と評されまいか。

◇

尤も米國の支那に臨みし機會均等主義に、領土的野心はない、併し穿つて云へば、幷は列國の行動に立ち遲れ、幸ひそこにヒリツピンを保つ、それで已むを得ず此ヒリツピンを領有するに滿足し、之を支那に對する根據として、活躍を企圖したものであるまいか、そうして其活躍は如何に、主なるは鐵道政策である、[illegible]鐵道、北部支那では錦愛鐵道等と、此鐵道敷設によつて、勢力を其沿線に扶植せんとしたは事實である。

◇

當時列國の支那侵略は、皆此鐵道敷設を基礎に、各自の勢力範圍を設定せんとする傾向にあり米國も既にそこに割込む、縱し其鐵道敷設が、民間資本によつてなされしものあつたにせよ、それが米國を代表せぬと、誰が云ひ得ようぞ、米國の支那に對する施設はまだ／＼澤山にあるが、此鐵道の一事で、他をも同様に評し能ふまいか、剰さへ米國の機會均等は善いとしても、此機會均等を振翳して、他の仕事に邪魔を入れるは善くない。

◇

一例を擧ぐれば、滿洲鐵道の國際管理を初めとして、事毎に日本の滿洲に於ける特權に水を差すたぞがそれで、米國は日本の支那に有する權益を、自己が支那に得んとする權益と、同様に心得て居ると思はるゝが、若しそうだとすると、そこ相互間に多大の喰違ひがある、之を過去に徴するに、米國は支那に權益を獲得しても、採算不合[illegible]すれば、直に其權益を放棄すること、弊履の如しではないか、そこが日本と全然に違ふ、倘是等につき少しく合點の出來ぬところを言はしめよ。

戰意無き廣東軍 陳濟棠氏辭表を電請 陳銘樞氏も遂に引き籠る

【廣東十五日發電】張發奎軍廣西軍に對し討伐を行つて居る廣東軍の行動は六ケ月來進展を見ず中央の督促嚴重なる爲め陳銘樞、陳濟棠兩氏は躍起となつてゐるが、兵に戰意なく遂に陳濟棠氏は梧州から辭職を中央に電請した、陳銘樞氏もこれに倣ひ昨日來病氣と稱して一切の面會を避けてゐる

改組、共産兩派が反閻馮運動を開始
政治問題に關する協定望み無く 汪氏に密電を發す

【天津十五日發電】太原の陳公博氏は香港の汪精衞氏に對し、北方の反蔣運動は政治上何等の秩序なく且つ黨の問題も紛糾して到底第二期全員の前途は望みなしと密電した、改組派では馮閻兩氏は黨の問題が紛糾するにつれ之に關係することを好まず、軍事決定後に改めて協議しやうと言つてゐるが、軍事終れば直ちに黨治を覆へすものであらうと觀測し早くも共産黨と聯合して反閻馮の運動を開始してゐる

關内駐屯奉軍が天津進擊の準備 近く灤河以西に配備

【山海關特電十五日發】副司令于學忠氏は張學良氏の命令にて目下砲兵一團及び歩兵一團より約三千名の兵隊を改編して北寧鐵路保安隊を編成中なるが來る四月二十五日より灤州以西の沿線に配置する筈である、之について當地では張學良氏は愈々中央擁護の肚を定め適當の時機に蔣介石氏援助の爲め平津一帶に兵を進むべくその前提として鐵道保護に名を籍り右部隊を灤河以西へ配置するものならんと觀測してゐるが司令部では共產黨に備へるのだと語つてゐる、因みに山西軍も唐山へ增兵し保安一大隊第一旅の兵千餘名は趙承綬氏に率ゐられ數日前到着し尙續々增兵されてゐる

馮氏親日の目的 北方政權把握用意か

【北平十五日發電】馮玉祥氏が早晩天下を握るべしとは各方面一致した觀測であるが、馮玉祥氏自身も窃に期するところある如く前外交次長唐悅良氏をして各國公使を訪問せしめ外交團の意向を探らすと共にその對外主義が絕對的に穩健合法主義なることを說明せしめてゐる、なほ馮玉祥氏が最近特に親日を標榜し來つたことは他日の用意をなすもので北方において天下を握らんには先づ日本との感情を良好ならしむる必要ありとの見解からである

パツク博士 哈爾賓に到着

【ハルビン特電十五日發】十五日の歐亞連絡列車で病菌學の大家國際聯盟のパツク博士が來哈し直ちに伍連德博士の案內で濱江醫院へ向つたが、ペストの病源地と傳播その他を調査し南滿に向ひ、奉天醫大を訪ふと

劉南京市長遂に辭職 秕政續出の爲

【南京特信】南京市長劉紀文氏は過般デンマーク皇太子上陸の際南京下關にある貧民家屋を眼障りになるからとの理由でブチ毀して取拂つたが、同問題は少なからず市民の反感を買ひ國民政府部內でも問題視し遂に十一日辭表を提出した、蔣介石氏の寵愛を受けてゐた劉氏も道幅四十米突の中山路の新設や今次の貧民窟取拂など寧ろ橫暴に近き行爲が多かつたゝめ遂に窮地に陷つて了つた【寫眞は最近の劉紀文】

勞農機關紙 莫氏を歡迎

【モスクワ十五日發電】ソウエート政府機關紙イズベスチヤ紙は本日莫德惠氏が東支鐵道問題交涉のため支那側代表としてモスクワに來ることに決定したことを歡迎し左の如く述べてゐる
莫德惠氏の公明正大なりとの評判は露支交涉に友交な雰圍氣を與へるであらう、我々は支那代表がソウエートは露支相互の利益とする精神から協定に達すべく用意あることを見出すに違ひないと證言することが出來る斯くの如き支那の好意に據つて相互の商議に依つて總ての問題を解決し得ることゝ信じて已まない

政府攻擊材料の調査擔當者決定 政友會最高幹部會

【東京十六日發電】政友會は數日後に迫つた特別議會に對する陣容を整へる爲め十五日午後四時から芝公園三緑亭において極秘裡に最高幹部會を開き犬養總裁を始め床次、三土兩顧問、島田、松野、山口の各總務、森幹事長その他幹部四十餘名出席森幹事長より對議會策については院內役員決定後に萬事を處理する筈でその準備については幹事長に一任されてゐるが質問事項等についても今から相當準備して置く要がある、即ち攻擊材料として調査すべき項目並びに調査擔當者は
一、一般論(鳩山、秋田)
一、軍縮と國防問題(內田、內野、植原)
一、金解禁善後處置と不景氣問題(三土、大口、堀切、東)
一、社會政策及び失業問題(安藤、田子)
一、選擧干涉問題(廣岡)
一、綱紀肅正問題(島田、山口)
一、豫算案(義務教育費問題)(山崎、大口)
の豫定であるからそれ／＼幹部と聯絡を執り調査されたいと報告し一同これに贊成し尙種々懇談の後八時散會した

警察署長會議(第一日) けふ關東廳會議室で 各署長三十餘名出席

關東廳管下全滿警察署長會議第一日は十六日午前九時から本廳會議室において開會、出席者は神田內務、中谷警務兩局長及び警務局內各課長關係係主任並びに署長側では尾崎大連署長の外、州內沿線各警察署長、各民政支署長、大連消防署長等

三十餘名

にて開會壁頭長官訓示として中谷警務局長より一、官紀振肅、二、適材適所配置、三、警察執務の基礎たる結合の改善、四、滿洲治安の特異性、五、各種思想運動に對する懸念、六、保健衞生に對する措置等の諸項につき訓示し大いに各機關の協調を力說する所あり、次いで指示及び注意事項に入つたが指示事項については中谷局長より

官紀肅正

外九件、松田高等課長より高等警察の執務改善外四件、有田保安課長より興行場取締外十三件、增田衞生課長より家庭衞生指導に關する事項外八件につき夫々指示說明して各署長の善處を促し注意事項については巡査巡捕の監督、情報の精選、報告文書作製等に關する件、其他三十一項につき同樣關係各課長より說述注意するところあり、かくて午前中の日程を終つて一同晝食、午後は一時より、再會日程の通り厚東要塞司令官を初め三宅參謀長、篠原遞信局庶務課長等列席の上、先づ參謀長より

軍警連絡

其他希望事項を口演引續き以上各署提案の議事項につき協議したが六時休會の上一同は長官々邸における晚餐會に臨む筈

新助役の來任後市の職制を改正 社會係を獨立して四課制に

大連市助役に推薦すべき永井準一郎氏は十七日午後二時から開會される第四十八回市會の決定を俟つて關東廳に申請、十八日ごろ認可の見込みで、同時に千葉縣鴨川に閑居の永井氏に打電、來任を促す手筈になつてゐる、田中市長は永井助役の就任と共に抱負經綸の一端として職制改正を行ひ現在庶務係に隸屬してゐた社會係を獨立させ庶務、財務、衞生、社會の四課となし係主任を課長に變更、主任級一、二の勇退を見るべく尙事務の繁閑を按配して書記、書記補級の配置換へも行ふ模樣である、田中市長も人事問題に關しては不景氣の際であり失職者を出す事は本意でないから特別の事情なき者に限り退職せしめない心算である と語つてゐた、因に近藤收入役は當分現狀維持の模樣である

保證金半減願 けふ却下

大連中央卸賣市場內の市場商人組合が市役所に納付してゐる二千圓の保證金を一千圓に半減して貰ひたいと出願したのに對し市役所の態度が强硬なる爲め組合側は種々策動し再三市當局を訪れる等認可運動中であつたが、田中市長は十六日附遂にこれを却下した

東鐵各課異動

【ハルビン特電十六日發】東鐵管理局では經濟調査局長にメリニコフ氏の股肱の人物であるミハイロフ氏近く任命することに決定したが各課にも相當の更迭が行はれる模樣である

內蒙王族會議 決議事項

【ハルビン特電十六日發】三月末から蒙古カラウス王府において內蒙王族會議を開催してゐたが(一)階級の平等(二)服裝の改良(三)禮儀の畫一(四)民生の進化(五)中國の同一待遇等を決議し蒙家屯において其會議を行ひ南京政府の蒙藏代表會議には王公代表と民衆代表各五名を派遣することを可決した、倘蒙古の農牧を發達せしめるために耕作獎勵辦法を施行するに至つたが、それによると種子農具の無料貸與、稅金納入の免除、地代の低下、耕地貸下の年限延長等にそれ等の農民には一定の徽章を與へるといふのである、因に無料貸下耕地は廿ケ年であると

地方事務所長更迭

滿鐵地方部勤務栗屋秀夫氏は十五日附を以て本溪湖地方事務所長を本溪湖地方事務所長塙慣太郎氏は地方部勤務を命ぜられ十六日社報を以て發表された、倘塙氏は多分結核療養所事務長に就任の筈だと

神田局長上京期

臨時議會に出席のため十七日陸路東上のはずであつた關東廳神田內務局長は事務の都合により十八日香港丸にて海路東上することになつた

人事

▲副島千八氏(昭和製鋼所專務)十六日入港の香港丸にて來連
▲兒玉普匡氏(滿鐵參事)同上歸連
▲久留宗一氏(滿洲報主幹)同上
▲五泉賢三氏(辯護士)同上
▲戶谷銀三郎氏(大連醫院長)同上
▲中澤不二雄氏(滿鐵情報課員)同上
▲岸一郎氏(滿鐵社員)同上
▲岩永勝典氏(二等主計正)同上來連
▲盛新之助氏(醫師)同上來連
▲堀內正重氏(同)同上
▲田村羊三氏(滿鐵興業部長)曾關店貔子窩管內貔子窩及碧流河水田視察中の所十六日夜歸任の筈
▲武部治右衞門氏(同商工課長)同上
▲松島鑑氏(同農務課長)同上
▲內藤政光子爵(帝國博物館囑託)十六日七時宵列車で來連
▲宇佐美喬爾氏(四洮鐵路會計課長)十五日夜行にて來連
▲星野榮五郎氏(國際運輸京城支店長)十六日着旅客機にて來連
▲小山田劍南氏 十六日夜行にて奉天へ

大觀小觀

一月二十日に開始されたロンドン會議、いよ／＼二十二日に調印式を擧行。わが臨時議會、開會の翌日なるも何かの奇緣。

◇

馮玉祥氏の親日、何だか擽ぐられるやうでもあるが、敢て親日のみならず、親露、親米、親英、國際親善に惡いことはない。大に親日風潮も高調して貰ひたい。

◇

ただ併し、馮氏が天下の權を執るか否かは請合ふことは出來ぬ。日本は例によつて內政不干涉、とにかく南京政權と通商條約の改訂を行はんとしてゐることだけは記憶しておいて貰はねばならぬ。

◇

國產品愛用、大に可なり。國際關係の關係を拔きにしても、ただ舶來品なるのゆゑを以て愛用するが如き輕佻なる風潮と一緒することは何時の時代にも緊要に相違ない。

天氣豫報

十六日(南の風)一時曇

各地の溫度

	十一時	昨日最低
大連	一二、六	六、六
旅順	一八、二	五、三
營口	一四、四	二、〇
鞍山	一九、七	三、七
奉天	一九、三	二、六
長春	二〇、三	二、四

滿潮 午前零時十五分 午後零時五十分
干潮 午前六時二十分 午後七時二十五分

タクシーの謝恩券 發行罷りならぬ
關東廳警務局が不合理と認め 大連署から禁止命令

市内タクシー業者が猛烈な競爭の結果、花柳界やカフエー方面に對し謝恩券と稱して十錢の割引券を發行し結局市内は三十錢で運轉し顧客の爭奪に努めつゝあるが、この制度は一般乘客に均霑するにあらずして一部花柳界方面のみに限られてゐることは此方面に於て割引する不足額を一般乘客の賃金で補塡する譯で、五十錢乃至四十錢の正當な賃金を仕拂つてゐる

乘客は 常に五、六錢を花柳界方面のために負擔させられてゐるわけだとて漸く非難の聲が揚げられんとしてゐたが、關東廳警務局でも同制度の不合理を認め、殊に謝恩割引券の發行は取りも直さず運轉手の收入をそれだけ減ずることゝなり、さなきだに收入の尠い運轉手の待遇改善の上からも斷然撤廢すべきものであるとの意見の下に十六日大連署保安係に謝恩券發行禁止の旨を

嚴達し て來た、よつて大連署では一兩日中に市内各タクシー業者に向つて禁止命令を發する筈である

醫學大會出席の 世界刀圭界の權威來連
けふ戸谷大連醫院長ら歸る

大阪における醫學大會に出席中であつた大連醫院長戸谷銀三郎博士並びに關東廳醫院長盛新之助博士並に關東廳療病院の二木保男氏等は相攜へ十六日入港の香港丸にて歸連した、戸谷博士は語る

新聞なぞでも既に御承知でせうが頗る盛大でしたよ、何分七千名からに招待狀を出したと云ふのですから大したものだ、討論も頗る

眞面目 にされたが、この種學會では稀れに見ることだ、外國の斯道大家が集つた點でも今までにない盛んなものでしたでせう、聞くところによると何れもそれ等の外人中には近いうちに滿洲を經て歸歐するものが多く是非この機會に大連醫院を見たいと云つてゐた、これ等來連の博士の中にはドイツフライブルグ大學教授で眼科の泰斗アクセンフエルト博士や梅毒の權威ホフマン博士等が居り一行は廿八九日ごろ來連すると云つてゐた

内藤帝博囑託 けふ來連
資料蒐集のため滿鮮巡遊

東京帝室博物館の囑託内藤政光氏は資料蒐集のため滿鮮巡遊中のところ、十六日午前八時着列車にて來連ヤマトホテルに泊つたが直ちに滿蒙資源館を訪ね、更に案内者と共に旅順戰蹟視察に向つた、なほ氏は十八日出帆の香港丸にて歸京すると

水產不正事件 あす第一回公判

水產會社不正事件としてセンセイションを起した滿洲水產會社專務佐治大助、川上覺三、横越久吉、鐵山虎藏、高橋德藏、木野村圓太郎、加藤巳之七、元關東廳技手柳生大三郎等にかゝる贈收賄、業務上横領、恐喝事件の第一回公判は十七日午前十時から大連地方法院で森本裁判長係開廷される筈

モダンな海員倶樂部 甘井子に建設
滿鐵が豫算七萬圓で

滿鐵々道部では甘井子築港の第一期工事が來る六月でいよいよ完成するので、その曉は寄港船舶も激增し、同地に上陸する船員の數も非常に增大することゝなるので、これ等海員の休養娛樂設備として約七萬圓を投じ約二十室を有する二階建の頗るモダンな樣式の海員倶樂部を建設することになり、五年度追加豫算を以て本年十月頃までに完成することに決定した、右は石炭積込にカーダンパーを使用するため荷役が約七、八時間で終りるため船員は到底大連まで休養に出て來る餘裕がないためで倶樂部内には浴場、バー、理髮、娛樂、宿泊等の各種設備がなされる筈で竣功の上は同地一寄港船の福音とみられてゐる

陳列窓を破り窃盗
近江洋行盜難

十六日午前一時から五時までの間に市内浪速町一丁目、近江洋行の陳列窓に投石破壞し測量器十一個(價格二百二十圓)を窃取逃走した犯人あり、大連署で嚴探中だが最近この種犯罪が增加し本年に入り既に數件の被害があると

幼兒浚ひ
隣りの男

市内長安街五八、中華青年會ボーイ王榮の二女看兒(五)が去る十四日午前九時半ごろ突然行方不明となつたといふので小崗子署でかねて搜查中、隣家居住の馬孫氏が擧動不審なところより同署の佐藤刑事が十五日午後九時ごろ外出先きより歸宅したのを逮捕し嚴重取調べた結果、馬孫氏が當日路上にて遊んで居つた看兒をカッ浚つて金州管内老虎山會朱家屯二十番地に隱匿しあることを自白したので、十六日無事看兒は親元に引渡された

前科者の窃盗 捕はる

福岡縣生れ住所不定、前科一犯田村春彦(二〇)は去る十一日午後十一時頃市内山縣通一四八番地、大手商店裏口から忍び入り現金七十五圓を窃取し、さらに翌日沙河口郵便局で局員のオーバー一着を窃取したこと發覺、十六日大連署員に檢擧されたがこの外詐欺、横領數件の餘罪あり引續き取調べ中

珍らしい 食火鷄と 一丈餘の大蛇
電氣遊園てお目見得

電氣遊園には今珍しい食火鷄と長さ一丈餘、胴のまはり一尺五寸といふ大蛇がお目見得して坊つちやん、孃ちやん達を驚かしてゐる、食火鷄は濠洲產で臆病な鳥だが蹴るのがお得意で脚はトテも太い、白菜や麵麭をたべさせてゐるが、昨日人參をやつたら下痢をして一寸ご不快だとある、二つとも五日ほどまへ支那人の動物商人が上海から賣込みに來たのだが、食火鷄は二百四、五十圓、大蛇は三十圓と云ひ未だ値段のところが纏まらず購入するかどうかは極つてゐないと【寫眞はお目見得の大蛇と食火鷄】

巡查の殺人
面書記と口論のすゑ 龍仁警察署に自首す

【京城十六日發電】京畿道龍仁郡暮閣面旺山里警察官駐在所勤務巡查部長伊藤伯一郎(□)は、十五日夜十一時ごろ春期淸潔法終了慰勞宴の席上、面書記申衡均と口論し喧嘩となつたが、その場は仲裁で事なく濟んだものゝ激昂せる伊藤巡查部長は自宅に歸るやピストルを持出し數彈を發射して申衡均を射殺し龍仁警察署に自首して出た

『時代の要求』を容れて 舞踊場を許可…?
けふの全滿警察署長會議で その運命を決定する

時代の流れは大連にもダンスホールを要求して來た、殊にエロチックな都會の夜でなければ黃金の雨は降らぬ……といふ理由で最近連鎖商店街を初め市内二、三ケ所にダンスホール設置の聲が擡頭し、大連署保安係でも既に研究に取りかゝり内地各都市のダンスホール取締方法を照會してゐたが、これら參考資料も蒐集出來たので十六日から關東廳で開催される全滿警察署長會議に「ダンスホール設置如何」の議案を提出する

段取り まで漕ぎつけた、署長會議の結果はダンスホールの運命を左右するものでダンス黨にとつては可成り興味ある問題であるが「時代の要求」に對しては既に關東廳にても充分理解してゐる模樣で結局大連市内にダンスホールの生れるのも近き將來であらうと見られてゐるが、しかしその取締をどの程度嚴にするかゞ目下の問題となつてゐる、大連署が内地都市の取締方法を照會したところによると大阪市が一番嚴重で東京、名古屋、横須賀等は比較的緩慢だが、矢張り弊害の

根絶は 期し難く當局が常に頭を惱ましてゐるらしい、しかし大連市内では既に露人經營のダンスホールが二軒あり、ダンス黨の六割までが日本人であるところから見て、ダンスによつて生ずる處の弊害は憂ふるに足らず、殊に日本人の出入理由を默許してゐる露人經營のホールを許可してをりながら日本人經營のホールのみ許可出來ぬといふ理由が見出せないので、生れ出づる惱みはあれど結局署長會議の結果は取締嚴重を條件に許可されることに落ちつくものと見られてゐる

鐵材を軌條に横たへ 列車の顚覆を圖る
沙河口、周水子間の滿鐵上り線に 沙河口署で犯人嚴探中

十五日午後一時半ごろ沙河口、周水子間の大連基點五哩宿舍附近滿鐵本線上り軌道上に何者かゞ目方約五貫匁の鐵材を横たへ通過列車の顚覆を圖りあるを折から進行して來た下り四三貨物列車の機關士が發見、直ちに列車を停車せしめて右鐵材を取除き事なく同所を通過したが、所轄沙河口署では十六日朝豐增司法主任現場に赴き實地檢證を行ふと共に犯人嚴探中

關東州野球大會の 組合せ愈よ決定す
旅順工大棄權し參加は八チーム けふ主將會議を開催

本社主催、第十五回關東州野球大會はいよいよ來る二十日から滿倶球場に於て戰ひの火蓋は切つて落されるが、十六日正午より本社樓上會議室に於て電報中止の通知あつた工大を除く八チームの主將會談を開き抽籤の結果左の如く決定した

▲二十日午後十二時入場式

第一回 工專對滿電 (十二時半開始)

▲工專 (投手)瀬之口(捕手)山谷(一壘)岩尾(二壘)井上(三壘)高野(遊擊)吉田(左翼)國米(中堅)光森(右翼)加藤(補缺)吉屋、竹下、堺

▲滿電 監督後藤、主將芥田(投手)兼枝、頴原(捕手)片岡、檜山、隅田、柳谷(一壘)大藤荻野(二壘)大野、持原、吉川(三壘)佐賀、中川(遊擊)今泉(左翼)和田(中堅)芥田(右翼)鈴木(補缺)淵野、針原

第二回 大商對工場 (三時三十分開始)

▲大商 監督進藤、主將梅本(正)(投手)因藤、工藤(捕手)堀部(一壘)伊藤(二壘)谷口(三壘)白石(遊擊)梅本(正)(左翼)因藤、工藤(中堅)德永(右翼)原田(補缺)梅本、野田、杉村

▲大連工場 (投手)益田(捕手)野田(一壘)高原(二壘)金田(三壘)出島(遊擊)島村(左翼)大石(中堅)中野(右翼)竹島(補缺)島田、石丸、北田、中野、永森

鐵道部對消費組合 (二十一日午後四時)

▲鐵道部 (投手)沖原、大井(捕手)神田(一壘)西田(二壘)野尻、内田(三壘)北澤(遊擊)山野、成田(左翼)岩瀬(中堅)高柳(右翼)政暖(補缺)加藤、武田、川田、杉門、西出、伊藤、中村

▲消費組合 (監督)北川(主將)二神(投手)永田、青山、大橋、竹中(捕手)井上、中井(一壘)北川(二壘)南條(三壘)吉野、古味(遊擊)時任、齋藤、瀬尾(左翼)宗正(中堅)二神(右翼)綠川

鐵道事務所對國際 (二十二日午後四時)

▲鐵道事務所 (投手)山口(捕手)石關(一壘)杉崎(二壘)高須(三壘)藤田(遊擊)上條(左翼)高橋(中堅)伊藤(右翼)中尾(補缺)岩下、岩澤、今野、山尾、廣中、瀬口、山下、伊藤(勝)富澤、吉野、杉町

▲國際運輸 (監督)植草(主將)宮武(投手)木下(捕手)渡邊(一壘)山田(二壘)橋本(三壘)立石(遊擊)宮武(左翼)松尾(中堅)武井(右翼)石井(補缺)石河、藤田、久我、齋藤、寺門、水野、菊川

實滿戰までには 相當、陣容を整ふ
けふ、中澤滿倶監督歸へる

滿鐵情報課員中澤不二雄氏は東京における「空と海」の博覽會並びに宇治山田市において開催中の遷宮記念博覽會の準備並に開會後の事務に多忙の日を送つてゐたが、十六日入港の香港丸で約四十餘日振りに歸社した

隨分忙しい目を見ました、東京の「海と空」の博覽會は宣傳が利いたのと

復興祭 のあとをうけ物凄い人氣で滿鐵から出品した大連の模型の日露役當時と現在の比較は頗る興味を持つて迎へられ日每の人出は恐ろしいものでした、なほ四月の末から五月にかけてますます見物人の數を增すことゝ思ひます、更に神都の博覽會は恰度お蔭參りの年に當るのでこゝもまた大變な人氣、殊に滿鐵經營の滿蒙參考館は同博覽會第一の人氣で、この種の博覽會では恐らく今までにない

成功を 收めたものと思ひます、大阪、京都、名古屋邊りからドンドン見物に來て大したものですよ

更に滿倶新選手招聘について

シーズンまでに迫つて居るが私の方は未だ確定して居ない、これから瓦斯なり電氣、消費等々と交渉して見なければ實際誰が來るのかわからない、久禮、安田等も來る希望をもつて居るが當方で未だしつかりしたことが解らないんだから決定發表も出來ない次第だ、然し

實滿戰 迄には可成り揃ふことゝ思ふ、けれど餘り期待されるべきものもなからうと思ふ鈴田の入社も今始めて聞いたことで、何しろ山出の片田舍にくすぼつて居たのだから却つて大連の人々がよく知つて居る位だ

粗製品押賣り
學生に御用心

十五日午後二時ごろ市内黃金町產婆梅田ウメノ方へ二十一歲位の愛知縣某校の修學旅行團の團員と稱する男が旅費の一部に當てると稱して粗製の鉛筆一打を二圓餘で押し賣りして立ち去つたが、最近この種の旅行團員と稱する學生風の男か女ばかりの留守宅を覘つて押賣りするもの多くなつたので、其筋でも目を光らして居るが各家庭でも大いに注意されたいと

英巡洋艦來港

東京駐在英國大使館附武官からの通知によれば英國巡洋艦コーンウオール號は五月六日大連に入港、九日まで碇泊の豫定であると

巧妙な詐欺

十四日午後五時ごろ市内得勝街五五、靴商李善郷方へ靴一足を注文し命により店員が同仁街三六連昌自動車公司へ持參すると、足に合はすと稱して店内に入つたまゝ行方不明となり、十五日も午後三時ごろ市内大龍街四六靴商任茂田方へ同一人らしき者が短靴一足を注文し、店員が新起街三九番地へ屆けると同手段で裏口より逃走姿を晦ましたので小崗子署では各署に手配して目下犯人嚴探中

傷病兵きのふ送還

駐滿軍三月分の傷病兵四十四名は十五日出帆うらる丸にて西村一等軍醫に引率され内地へ送られた、内譯は胸膜炎廿名、肺炎十名、肺結核五名その他であると

電氣分會總會

大連電氣分會では來る二十日、市内羽衣町社會館で第二回總會を開催し、會務、會計報告、役員補缺選擧、表彰式並に記念講演、等があると

・訂正 四月十三日附本紙夕刊二面「汽船老虎丸坐洲」の記事中船長鄉廣衞とあるは岩城德太郎氏の誤りにつき訂正

台所メモ
公設市場物價

品名	單位		
鯛 (生 氷)	百匁	七〇	三〇
ほうぼう	同	一五	一〇
いか	同	四〇	一五
たこ	同	二五	一五
ぐち	同	一二	一
かながしら	同	一〇	〇六
えび	同	二五	二〇
ひらめ	同	一〇	〇八
すゞき	同	二〇	一〇
さはら	同	七五	六〇
めばる	同	二〇	一〇
あぶらめ	同	二五	〇七
ぼら	同	二〇	一〇
かれい	同	一五	〇八
さば	同	二二	一五

艶色生膽祕譚（84）

伊藤松雄作　河原緑鎗太郎畫

中仙道（三）

艶やかに訪なふ聲。
闌川は居住居を正した。
「どうぞ御入り下さいまし」
「はい」
妙香は襖の外に手をついた。
「手前は信州高島藩波多野典膳の娘妙香と申します。先程は弟欣彌が急病に際しまして先生の御介抱頂きありがたう存じました。おかげさまにてどうやら痛みもおちつき只今はスヤ／＼眠つて居ります何とも御禮の申しあげやうも御座いません、これは甚だ失禮とは存じますが旅先のことゝて平に御赦し下さいますやう」
闌川の前へ寸志の包がさしだされる。
「や、これは御丁寧な御挨拶痛みいります。殊にかやうな御禮などを頂いては誠に恐縮」

いつたんは押し戻したが、強つての言葉に納めた闌川、
「江戸はどちらへ？」
と訊いた。
「はい、まだ落着きます住所も不案内で御座いまして」
「ほう、すりや？」
「は、はい、父が不慮の死を遂げましたため、一家も分散、それ故の旅でございます」
「ふうむ」
闌川思はず一膝のりだして、
「すりや仇の在所は確に江戸と思召しての旅でござるかな」
「は、いいえ――」
妙香はツト身を退るやうにして答へた。
「滅相な」
が、闌川はニツコリ笑つた。
「手前大切をお明しなされやうとも他言はいたしませぬ、仇は何藩の武士でござる、御同藩かな！」
妙香は顔赧らめて默つてしまつた。
「これはまた强情な、その御心底はお察し申す、なれどもそれがしは湯島に開業いたす阿蘭陀醫者宇田川闌川とて相當手廣く交際もありかた／＼いつそ御打開け下さらばまたどのやうな手蔓をたぐれぬものとも限りませぬでな」
「はい……」
妙香はぢつとうつむいてゐる。
ふくよかな頸に魅せられたごとくぢいつと見入る闌川、
「御病弱な御弟御をおかばひなされての旅ではさぞかし御難儀でもござらう、さきほど若徒殿にも申し上しごとく江戸まで御同道いたしてもよろしうござるが」
「は、有難い仰とは存じますれど別段先を急ぐ旅でも御座いませず いはば街道筋をもさぐり／＼に旅して居りますこと故……」
妙香は闌川の眼と言葉を避けるものゝ如く、ヂリ／＼と後退り乍らつい唇を開いてしまつた。
「は、は、は、は、仇敵をおさがしになる御身の上かと訊いてより大分それがしを御要慎なさいますな」
「いいえ、さう云ふ譯では御座いません」
妙香はあえぐやうに云ふ。
途端に廊下から若徒が聲をかけた。
「お孃樣、手係りがつきましたぞこの宿の前淺沼屋と申すに廿日餘り以前宮川右近樣がお泊りなされたと宿帳にありますぞ」
五三郎も嬉しさの餘りであつたらう、日頃のたしなみ忘れて、思はず大聲にかうよびかけた。
「あ、これ五三郎……」
妙香は制した。
「――宮川×近！」
闌川はハツとなつた。
「廿日餘り以前の淺間屋に泊つた宮川×近――左近に違ひない、して見るとお仙め、血卍の左近としめし合せてそれがしに毒を喰はせおつたか、それに、いま眼前にゐるこの姉弟が仇敵とねらふ血卍の左近か、や、これは面白いことになつて來たぞ」
思はず双手をポーンとうつた。

紙上放送　母國の清元界を訪ねて（四）

多波羅生

然らば、延壽から分離した梅吉喜久太夫の清元流の方はどうかといふと、この方は梅吉の天才的な絃と喜久のレコードによつて賣り擴めた名聲とを資本として懸命の努力を傷し、どし／＼と名とりを造り出し門下の太夫三味線ひきにも勢力擴張の意味に於て、自由に稽古を爲さしめたので、東都は勿論北は函館、札幌、南は名古屋、大阪、京都、神戸、下關、臺灣と非常な勢を以て勢力圏を擴げ、隨つて門弟連の生活も比較的、餘裕を生じて來たといふ狀態であります。

然し、此派にも唄の方の喜久太夫と絃を主體とする梅吉の兩派に其唄ひ方に差異を生じ、前者か太夫張の荒削りの節なるに對し、後者は絃本位な細い節で、花柳界の黒人筋に深い根を張りつゝあるに加へて、千代太夫、小喜久太夫、梅太夫などそれ／＼獨特の節を有してゐるので、これ又、千差萬別の感なきを得ない。而して道行もの心中ものは、喜久太夫、梅太夫の如き達者もあるが、矢張り聲の質から言つて延壽、巴瑛、正等の方に軍扇は上る、その代りお祭もの早間ものは、美聲ならぬ樂壽がそこに生命を發見せんと懸命の努力を傷しつゝあるも喜久太夫に及びもつかず（これは去月廿七日の清元會に鳥羽繪で證明された）又三味線も榮次郎は成程、嘗ては梅吉の高弟ではあつたが、天下一品の梅吉の脚下に及ぶべくもないので、玆に、兩派の一長一短は依然として免れ得ず、清元研究者は一派一人のみでは、滿足し難い狀態なのであります、殊に、絃に至つては高輪派は常に梅吉派の後に隨つてゆくの狀態で此點は高輪派讀者も亦如何とも止むなき次第であります。而も双方、高輪派は「梅吉の絃は常に二の調子が半本下つてゐる上、ツツンとしやくり彈き方は違法である」とけなし、梅吉派は「高輪派の絃は延壽の唄の節に隨つてウラ許り彈いてゐるのみか、唄に生氣がない。延壽自身でさへ、青年當時からの癖たる高音で外れる缺點が今以て治らぬ」などの惡評を投げ合ひ、素人衆をして、その據るところを迷はしめてゐるのであります。

メトロの「消防隊」
讀者優待割引券
四月十六日まで大日活で
階上五十錢　階下三十錢
後援　滿洲日報社

映畫と演藝

オペラとレヴウ　少女歌劇座の初日番組決る

來る十八日から歌舞伎座にて開演する日本少女歌劇座の演し物のうち最も期待されてゐるものはレヴユウ「東洋一周」二十景であるが遼陽の春の夕べを彩るに相應しいジャズダンス、或ひは大連の春の姿を畫がいたバレー、映畫的漫畫「金色夜叉」ステージ・トーキー奉天の巻「名知允」の一幕、臨興の朝鮮を畫がき、臺灣の地方色濃厚な本島人の踊等、好奇をそゝる東洋の姿の舞踊化、二時間に亘る乙女等の亂舞は駘蕩の春宵を華やかに彩り、更に大レヴユウ「東洋一周」をめぐつて喜歌劇「都と鄙」歌劇「夢の島國」二幕、レヴユウ「平家村」四景等が上演される同一座は本年は特に破格の料金で大衆本位の興行をするといふから盛況を呈するであらう

協和會館映畫　ベン・ハー上映

大連滿鐵社員俱樂部主催にて廿七日午後七時より協和會館に於て映畫會を催しメトロ・ゴールドウイン・メーヤー社特作品フレッド・ニブロ監督ラモン・ノヴアロ主演の「ベン・ハー」十二卷を上映するが、會費は大小五十錢小人三十錢會員外一圓とある

歸朝した早川雪洲と上山草人

映畫俳優早川雪洲は十二日朝横濱入港の淺間丸で八年振りに歸朝した雨の横濱埠頭には出迎への上山草人を始め映畫關係者一般フアンで華やかな色彩をたゞよはせ時ならぬシーンを呈した【寫眞は船上にて草人と握手する雪洲】

喫話

メトロの「ベン・ハー」は明晩社員俱樂部主催で封切して▲來る二十日から帝國館で大連新聞社後援の下に一般公開するが▲旅順の映畫協會を始め大連基督教青年會や沿線からの申込みが戰車競走のやうに押しかけてゐる▲大連小劇場ではゆふべ日活食堂で幹部が集つたが、近く宣言書を發表するとのこと▲目下上阪中の旭勝師匠がお土産に大隅太夫をつれて歸るかも知れぬといふので大分期待されてゐる。

大連　JQAK

四月十七日午後七時
▲浪花節（櫻川五郎藏）　白川小舟
▲薩摩琵琶（河内宿）　樋蔣湖城
▲長唄（土蜘蛛）大連長唄櫻會社中
▲箏曲（四季の眺）　琴富森大槻校　三味線竹内夫人
▲支那唄　（坐宮）唱奏袞寶、師付楊樹亭
▲料理獻立
▲ラヂオ體操

第十四回　滿日勝繼碁戰（林氏一回勝二回目）

二段　林　仁作氏
三子　北條　力松氏

○六一リの十七　●六二トの七
○六三への五　●六四チの五
○六五への三　●六六ニの二
○六七チの三　●六八レの十三
○六九レの十　●七〇ヨの十三
○七一カの三　●七二タの六
○七三タの七　●七四ヨの六
○七五レの五　●七六レの四
○七七ワの四　●七八ヨの三
○七九ヨの二　●八〇カの四

▲清水、林兩二段合評　白六十一は輕卒一著六十二に押し然る後七十一の方面に打つ方よからん、黑六十六は此場合單に（い）に下りて居る方がヨイ、黑六十八は寧ろ進んで六十九に打つ方優る

—【4】—

滿洲日報

一年一年花王の愛用者は増す
質…純なるが故に
價…廉なるが故に
花王石鹸
カ
オー
セツ
ケン

劃然と
あらゆる金ペンの書き味を分類したる……
標準六種
パイロット高級萬年筆
定價四圓以上
6
學生向 ¥2.00以上
株式會社並木製作所

社説

對立のまま有耶無耶か
支那最近の政局

蔣介石氏を中心とする南京政權の勢力が最も優勢とあつて例の反蔣聯盟なるものが組織され、その反蔣組織がそれからそれへと變轉して遂に昨今の如きに至つた。而して蔣氏は常に機先を制して反蔣派を打討して來たがさて南京政權の基礎が蔣氏の勝利によつて鞏固を加へ來つたかといへば必ずしも然らず、ただ徒らに反蔣運動なるものは、それからそれへと模樣がへせられるといふに過ぎぬ。かくて支那の南北統一は依然として舊の如く軍閥抗爭の年中行事を繰り返すに過ぎぬのは支那のために遺憾千萬である。

◇

昨今も形をかへた反蔣運動、たとへば閻と馮と改組派と西山派といつた水と油とを混淆したやうなただ反蔣といふ共同目的のために勝手な理窟を揑ね上げ、つひに北方政權を呼稱した南京政權に對立せしめんとしてゐる。而して最近は馮玉祥氏が天下を統制すべく親日宣傳をさへしてゐると傳へられる。親日宣傳は勝手だが反蔣運動の盟主が閻錫山氏であつたかと思ふと、今度は馮氏が第一人者たらんとするが如くに傳へられるところ、そこに却つて形勢の不熟といふやうな事實があるのではあるまいか。

◇

翻つて南方の形勢を觀望するにさすがの蔣氏も依然の如き神出鬼沒の出足を見せず、北方の宣傳戰に對して徐州方面の前線視察と觸れ出すの餘儀なきものあるは抑も何を物語るか。事件毎に反蔣聯盟に打ち勝ちつゝ、シカも南京政權の地盤は鞏固にならず、たゞ政治解決のために財閥の懷中を痛むるのみなるは南京政權に中央政權たるべき要素に何か缺くるところがあるからではあるまいか。かくて南京政權に對峙する四周の軍閥も新陳代謝、依然として舊態を改めざるは支那國民革命の惱みであるといはねばならぬ。

◇

かくて北方の各軍閥も支那の實情よりして當然に存在の理由を有し兎も角も反蔣聯盟を構成して抗爭の相手方たり得るのである。併しながら閻氏にしてもまた馮氏にしても又は汪氏その他の政客にしても今日の情勢を以てしては、如何にするも南京政權を推倒するだけの勢力を盛り返すことは絕對に不可能なりといふことが出來やうと思ふ。閻氏が北平に乘り込み軍政府を組織しても又は馮氏が閻氏に更つて勢力を占むることあるにしても辛うじて南京政權に對抗し得る勢力を把握するに過ぎず、結局、從來の情勢をただ反蔣的に些か旗幟を明確にするといふほどのことであらうと思はれる。

◇

かく考察し來ると今次の反蔣聯盟運動も歸するところは支那の南北對峙の形勢を少しく抗爭的に濃厚たらしむる程度であつて支那の大局よりせば依然として走馬燈を繰り返すに過ぎぬのである。そこに新味もなければ曙光もなく前途の五里霧中なるは支那のために氣の毒千萬である。換言すれば蔣介石氏にも反蔣聯盟を推倒するだけの實力なく、また反蔣聯盟各軍閥は勿論のこと各軍閥の個々に至つては或ひは分解作用に漫據せられて自滅するより外なき底のものであるだけに、利害を一にするものが共同し自己防衛のために反蔣運動を組織するといふやうな結果となつたものに外ならぬ。

◇

されば南京政權を首め北方の各軍閥も總すノみの如狀にあり、これならば寧ろ弱いもの同士で不戰條約を締結し軍縮會議でも開くべきであらうが、それもならず事實の如何に拘らず先づ宣傳戰に憂身をやつすとは支那の現實よりして全く如何ともすべからざることであるか。支那の現實が、かくの如く業火に拖はれてゐる以上は前述の如く蔣も閻も汪も抗爭のために抗爭し天下は四分五裂、南北は對峙の情勢を以て有耶無耶裡に推移するのではあるまいか。而して南北の勝敗を一決するが如き戰は行はれず、總すくみの狀態を以て日時の經過に委せられると觀測せらるゝ。關ヶ原的解決を結局彼ら軍閥の命脈を縮むる結果となるのであるから、最後の決算をせず牛上落下の未解決を續けるものと觀るの外はあると思ふ。

國產品の愛用を政府大規模で宣傳
各閣僚が地方に遊說

【東京十六日發電】濱口首相は十六日午前與黨幹部との會見において國產品愛用獎勵宣傳を大規模にすべしとの進言を受けたので、安達内相を招致し種々協議の結果與黨側の進言を採用する事となり取敢ず左の方法を實現する事に決定した

一、國產品愛用獎勵宣傳費は十五日の閣議で大體決定を見たるもこの際與黨側の意見に從ひ更に大藏省と協議して出來るだけ多額の經費を支出し得るやう追加豫算を訂正する事

一、安達内相は地方長官會議召集を利用して政府の所期する處を詳述してその趣旨の徹底と宣傳に遺憾なきを期するやう申し渡す事

一、政府は特別議會後において首相自ら陣頭に立ち地方遊說リーフレットの署名等凡ゆる宣傳策を講ずる事

一、各閣僚においても議會後は各地方に出て大々的に宣傳に從事する事

國產愛用の宣傳運動
民政黨にて

【東京十五日發電】民政黨では十五日午後二時半より總務會を開き櫻内總務の提議により產業振興として國產愛用を宣傳するため產業振興總動員運動を起す事となり委員として櫻内幸雄、田昌、岡崎久次郎、櫻井兵五郎……五氏を擧げ濱口、俵兩相に進言……其の實現を圖る事となつた

初任級引下問題
貴院兩派說明を聽取

【東京十六日發電】義務教育費國庫負擔增額問題を重視する公正會は教員初任給引き下げ問題が傳へられてより更に深甚の注意を拂つて來たが十五日午後政務調査第四部會を開き潮内務次官の出席を求めて詳細なる說明を聽取し更に研究會の政務、審查、内務、文部、商工、農林の聯合部會でも潮次官を招ぎ同樣說明を聽取したが、研公兩派共初任給引下げ問題に就い……

靜岡縣行幸
御日取御決定

國產品愛用に進言

糸價新安値
新救濟法要求

改組派の主張（下）

救國鐵則は三民主義
蔣は專制政治家

特殊艦艇の我が保有量
十隻八萬六百六十噸

獨逸の失業者は日本の十倍
汽船の機關はデイゼル化
長崎製鋼所技師長語る

共產黨

河南省から十萬の移民
遼寧省と黑龍江省へ

水師營の南方に第三聯隊の記念碑
今回隊内に建設委員會を設け基金の募集に着手

親日第一主義が馮氏の對外方針
唐悅良北平で語る

巡洋艦借入交涉
中央の要求を奉天派拒絕

北寧線の責任分擔

崎山代議士檢事局に召喚

北支の財政事務新整理處で統一
南京政府の命令無効

奉派の防備方針決定

東鐵獨斷の時間改正
滿鐵連絡に支障

國境に大飛行場
吉林當局に計畫はあるがその實現は相當困難

警察署長の會議
十六日から三日間開催

濟南沿線の特產滯貨
六百車に上る

東京市電の總罷業
十七日開始か

印度の暴動惡化
暴徒二十名を逮捕

地方に暴動 アムリツサー

豫算反對運動 英勞働黨急進派

赤峯の農民三千縣公署に押寄す
飢饉と誅求に憤慨

滿洲視察團
四五月中の豫定丈でも十四團體來連

大連醫師會の功勞者に記念品
十五日廿五周年祝賀會

熱河朝陽間鐵道敷設

洮南地方歡迎

憲兵隊長會議 十五日の第一日

生命保險會社合併

商況

滿日地方版

奉天

信託會社の受難時代來る
辛くも食繋ぎの現状

滿鐵沿線で開原取引所に次ぎ活況を呈し一時は一千九百萬圓の出來高を見てゐた奉天取引所も、昨秋以來奉票相場不動、現大洋票相場不動、貿易の不振、支那側財界惡化等により急轉的に惡化しその間金票現大洋票の取引を開始したがこれも大した好況も示さず昨今は一日に百萬內外の手合せを見るに過ぎない有樣である、一方その精算會社たる信託會社の經營も著るしく不況に陷り近來一日の手數料收入は多くて百圓少くて二三十圓といふ閑散振り、そしてその中關東廳への納金二割と取引人の拂戻し五分を控除すると七十五圓內外に止り辛うじて喰ひつないでゐる狀態である、信託としては之が對策として特産物の上場を急いでゐるが之もまだ何時のことになるか判らないといふ始末で、この受難時代に喘いでゐる

警官の居る處に押入つて捕はる
白晝大膽不敵な强盜

小西邊門岡持安太郎夫婦傷殺事件の犯人は豫て同家に出入せる支那人三四名と略見當が附き捜査の手を進めてゐるが、十四日午後二時頃總領事館警察署の倉迫警部補、木村刑事、小谷、堀兩巡査が兇行現場の同家屋に出張し證據取調べの最中、一支那人が表戸より無言のまゝ入り込んだが擧動に不審の點があつたので誰何すると、件の支那人は矢庭に內懷に手を突込み兇器を取出さんとする樣子なので兩巡査が飛蒐り格鬪の上取押えた所、果して懷中にコルニア拳銃一挺彈丸九十八發を所持してゐた、取調べの結果原籍海城縣、現住所不定の王明岐（三〇）といひ最近工業區、附屬地等にて數回强盜を働いた形跡あり、當日も强盜の目的で大膽にも白晝飛込んで運惡く笄に掛つた者で、或は岡持夫婦傷殺に關係あるのではないかと目下嚴重取調中である

緊縮時代の五月人形
昨年より二割安

五月五日の端午の節句もあと廿日市內の各店では人形、幟等店一杯に飾り立てゝゐるが、本年は緊縮の影響を受け廿圓、卅圓といふ高價なものよりも總て實質本位で極安いものが賣行きがよい、値段も昨年と比較して三割方安く一人立人形は一圓廿錢から四圓まで、二人立は二圓卅錢から五圓位、天馬は三圓から五圓、鐙が三圓から六圓その他附屬品として燈籠、千成、幟等は何れも五十錢から三圓までの處である

阿片に關する流言蜚語

在滿日本當局は過日來奉せる國際阿片調査團に對し國際問題の惹起を恐れ既に大連に於ては官許阿片小賣店に對し看板の撤去方を命じたとか、滿鐵沿線居住支那人に對しても關東廳から各警察署に阿片の嚴重取締方を嚴命したとか全くあり得ぬ謠言蜚語を流布する支那人あり、之がため阿片吸飲者に大恐慌を來してゐるが、該宣傳の出所は當地省城內の排日支那人の策動によるものではないかと云はれてゐる

家賃を拂はぬ露國人

市內八幡町伊藤晃一氏の所有に係る隅田町五番地煉瓦造二階建住宅一戶を家賃一ケ月百卅圓、敷金一ケ月分として木曾町六番地露人トカラジウスキーの連帶保證付で露人シウベルグに賃借契約をなし、之によつて生ずる一切の債務はトカラジウスキーが保證してゐたがシウベルグは昨年五月迄家賃を支拂ひ六月分廿圓を濟ましてから本年一月二十五日同家屋を明け渡すまで六ケ月の家賃七百八十圓、それに一月廿五日までの家賃百四圓八十三錢その他損害金三百九十六圓十一錢合計千二百七十三圓九十四錢支拂方の說諭願を十五日市內琴平町六番地久保田晴光氏の名義で奉天署に提出した

町の便り

北大營砲兵研究班砲兵科將校六十名の卒業式は十二日午前九時から張學良氏を始め多數大官列席の下に盛大に擧行された

◇

十四日午後十時頃南關嶺大房身間に於て匪賊四名と警官隊が交戰したとの報あるが詳細不明である

◇

滿鐵本社に請願中であつた奉天普通學校の新築問題は大體の諒解が出來たので來年度事業豫算で認可されるものと觀られ、十五日係員出張敷地の調査をなした

◇

八幡製鐵所技監野田鶴雄氏は十四日夜鞍山製鐵所を視察の上來奉ヤマトホテルに投宿したが、十五日は北陵城內その他各方面の視察をなした

◇

奉天鐵道事務所運轉係では係員の事務能率を上げるため全部東側窓方面に向ぎ、その後に主任青木運轉長等が頑張つて監視するといふ勉强振りである

人事

▲竹下海軍大將　十四日夜安東へ
▲野田中將（八幡製鐵所技監）　四日大連より來奉
▲內藤子爵（帝室博物館長）　十五日朝來奉
▲鈴木特務機關長　十五日朝北行
▲淸水本溪湖署長　旅順に於て開催される署長會議出席のため十四日過奉旅順へ
▲石井長春署長　同上
▲齋藤公主嶺署長　同上
▲森脇四平街署長　同上
▲前田開原署長　同上
▲青木鐵嶺署長　同上
▲高山安東署長　同上
▲川合奉天署長　同上
▲ラスチモア氏（社會學研究家）　十四日夜旅順へ
▲奉天質店組合員一行六十名　十五日朝湯崗子へ
▲北海道商工業視察團一行卅名　同上大連へ
▲野添奉天商議書記長　十七日頃歸奉の筈

金州

激增する果樹
本年度植付三萬本、面積百町歩

金州管內に於ける果樹栽培面積は既に千餘町歩に達し尙年々增加の傾向であるが、本年度は特に增加して植付數三萬本、面積は實に百町歩に達してゐる、民政支署に於て調査せる本年度植付果樹左の如し

▲試驗場生育苗（果樹組合扱）
紅玉　一年生　一〇、五九〇本
國光　同　六、六〇〇
紅玉　三年生　四〇〇
國光　同　五〇〇
櫻桃及桃　一年生　一、八五五

▲熊岳城農野農園生育苗
祝、旭　二、三年生　三二〇本

▲果樹組合の手を經ぬもの
苹果（豫定數）　一〇、〇〇〇本

撫順

新市街の建設は敵本主義
地價の騰貴を目標に　支那側地主連の魂膽

既報支那側で第一商場に次ぐに第二商場並びに西平康里の建設を計畫しつゝある事實に關し、支那側有力地主張德善氏がある方面に洩らした處に依ると前記計畫の裏に次の如き野心があるもの ゝ如くである

附屬地の繁榮を奪ふ如き設備に成功したならば、早晩來るべき鐵道擴張に伴ひ必然的に支那町附近一帶の土地買收問題が起るその際各地主が

共同戰線

を張り高價に賣付ける目的で、現に大山坑下鐵道南では各地主連が不賣同盟會を組織し、獨地主の賣却を禁じ交涉の際は鐵道南を一丸として高價に處分せんとする計畫が進められてゐると

なほ右計畫の中心人物は支那側有力機關たる農務會商務會員中重要なる人々であると傳へられてゐる

屠畜數の激增で擴張は根本的に
◇大多忙の屠畜場

往年撫順地方は密殺肉の密輸多く衞生上實に寒心すべきものあつたので新市街移轉と共に屠畜場を新設密輸取締を嚴重にしたる結果同屠殺場での屠殺畜數は非常に激增したが是を數字に示すと昭和二年度屠畜數三千一頭、同三年四千八百三十七頭、四年度は一躍六千百八十七頭で、二年度の二倍强の多きに達し、五年度は是非增築の必要生じたるも間に合せ增築はやがて又復增築問題が起きる事明なので近く遠大の增築がなされる事と內定した

昨日の守備隊を筆頭に雪崩込む觀光團
既に五組の申込がある

名物の數々を持つ撫順さして愈々觀光團が雪崩込むシーズンになつたが、十六日から五月七日までの分のみで三百六十七名その內譯次の如し

△十六日　公主嶺守備隊三十名
△二十六日　大分縣中津商業生四十二名
△卅日　騎兵十二聯隊將校十一名
△五月三日　大分師範生九十七名
△同五日　大邱中學生六十七名
△同七日　大連南山麓小學生百二十名

以下續々と申込殺到してゐる

支那娼妓を誘拐未遂
圖太い華工

山東生れ現撫順老虎臺華工宿舍構內安全燈掛曹夫倫（三一）は平康里遊廓三十四番地成雲班の昨年暮北平から頭大洋八百圓で仕入れてきた美妓郭素蘭（二一）をかねてから目星をつけ、本月十日以來樓主李福田が天津方面に旅行したる際に、十三日午後四時から登樓甘言を以て同女をだまし翌十四日午前三時頃同樓東側煉瓦壁を破壞し、同妓を誘拐長春方面に高飛せんとする處を汽車中で十五日午後逮捕された

頁岩の殘滓利用で四十萬圓の節約
川砂の代りに坑內充塡に使ふ

東洋唯一の撫順製油工場の原料たる頁岩の殘滓は年額約百萬噸、その利用方法もないではないが未だ工業的にその全部の處分方法なく捨場所もないので持餘してゐたがその全部が各坑內の充塡用として役立ち、充塡費用年額約四十萬圓を節約し得る事が實際的に最近證明された

◇

從來炭礦の充塡用としては塔連川砂並に古城子等の片麻岩風化部を利用、年額二百五十萬立方米を要してゐたが、限りある川砂も採砂しつくし將に缺乏せんとしその補充に苦んでゐる上、砂は噸二十五錢、是に附隨して沈澱池等の特殊設備を要し、充塡費用年額ザッと百萬圓を要してゐたのが頁岩の滓を使用する事に依つて經費の點でも半減される譯である

◇

その他に川砂に代ふるに頁岩滓を使用すると次の如き利益がある充塡用として砂を使用する際は水二砂一の割合で鐵管を通じて注砂するのであるが、粒の小さい砂は水と共に流れその後始末に掃除費や沈澱池等の損失は頗る大である、それに、砂の質が一定しない爲充塡後傾斜を生じ非常な支障が起る更に注砂ポケット上で粒の大きい砂が一割以上空費される、元來砂は水分を含んでゐるので冬期運搬荷卸が氷結による困難――等々の弊害がセールの殘滓を使用する事に依つて全く除去されるのである

昨年度屠畜數
六千百八十七頭

撫順屠殺場の四年度屠畜數は別稿の如く六千百八十七頭であるがその內譯次の如し

△豚三千五百四十二頭、牛千五百五十三頭△馬五百二十六頭△驢九十六頭△騾三百八十九頭△羊その他九十一頭

楊柏堡火藥工場長異動

過般の古城子火藥工場三味混和室の爆發、永安臺硝安火藥工場爆發等の責を負ひ同火藥工場長柳井三之助囑託を免ぜられ左記異動が十五日附發表された

楊柏堡火藥工場長
命古城子火藥工場長　元日本火藥會社技師工學士　淸宮　外記
命楊柏堡火藥工場長　加藤　育一

下田氏退職

久しく撫順神社社司たりし佐々木常盤氏は同所勤務下田萬九郎氏と軋轢の結果下田氏退く事となり佐々木社司も近く勇退に決定したと

醫院で講演
けふ三時より

今十七日午後三時半より撫順醫院講堂に於て左記內科、耳鼻科に亘り講演がある

一、所謂滿洲室扶斯の研究　海田博士、王化南氏
一、リガ氏病　平田松太郎氏

吉林

十五年勤續者表彰
一日附滿鐵から

吉林滿鐵公所員山崎保之丞、伊藤祐壽兩氏及農務課敦化駐在員遠竹行夫の三氏は十五年勤續者として本月一日附で表彰狀を交附された

吉林雜信

當地東亞煙草出張所は今回社事業縮小の爲め撤廢、川村主任は來る二十日頃當地を引揚げ奉天に轉ずると

◇

城內堀井豐太郎氏經營裕泰號の集金人劉某は前日集金を拐帶して逃走、總領事館警察署に訴出した

◇

永吉電影園事件の責任者として遭難者遺族から罷免運動を起されてゐた劉市政籌備處長は譴責處分を受けて居り、氏自身も如何なる辭任勸告も馬耳東風の體で、結局此儘現職に止まるらしいと

◇

今度鐵嶺滿鐵醫院へ轉任する前田翠氏の爲め十四日夜吉林女醫會で送別句會を催した

◇

三ケ島氏や名古屋館主遠藤氏等の肝煎りで民會運動場の一部に大弓場を設くる事になり目下大內組の手で工事中

◇

吉林劍道部では近く當地を引揚ぐる東亞煙草出張所主任川村氏の爲めに十五日午後四時より送別稽古を催した

◇

彌生俱樂部の圍碁大會は十三日の日曜に開催され非常な盛會、入賞者は

一等田中氏、二等東氏、三等浦井氏、四等松田氏、五等小原氏、六等稻村氏、七等山崎氏、八等奧田氏

開原

青年團の役員春季總會で決定
今年度新計畫は座談會

既報開原青年團の春季總會は十四日午後五時より公會堂に於て開催定刻團員並に賛助員着席、國歌君ケ代を合唱し佐藤團長の開會の辭に次で修養部出塚幹事、體育部大瀨戶副團長、會計部牛島幹事、庶務部椿山幹事より各部の事業報告あり、休憩夕食後、七時再開し昭和五年度事業計畫について討議を重ね、從來の事業の外に座談會を催し各自の研究乃至意見を發表討究して青年の意氣を發揮することゝなつた、次いで役員改選に移り投票の結果▲團長佐藤正親▲副團長大瀨戶權次郎▲幹事出塚忠五郎、加藤重長、牛島孝、豐村糺、松本俊次、村上八郎、安藤俊夫、中島伊吉、大島良治、中川淸、森田正禮、和田市三郎、逆瀨川重盛、五城政則、小松淸の諸氏當選、尙補缺として次點者中より大嶽味徹一氏を擧げ佐藤團長新任の挨拶あり、賛助員加藤局長、永野校長兩氏より團員激勵の辭、佐藤團長閉會の辭に午後十時盛會裡に終了せり

農業組合の創立
創立總會を擧げ役員も決定

開原農業組合は茲數年來其機能を充分に發揮せなかつたのと、同業者の增加により過般來新に農業組合の設立を提唱されて居たが、去月十七日新年祭當日同業者集り創立する事に決し爾來之れが準備を進め、愈々十二日午後二時より開原神社々務所に於て創立總會を開催、規約其他諸事項を審議し、評議員七名を選擧、互選の上組合長其他夫々左記の通り決定せり

組合長上郡山九發▲副組合長山本松次郎▲庶務係山口武太郎▲會計係大森謙吉▲評議員竹山末吉、佐藤祐太郎、加藤禮治

豫算查定の島氏一行

滿鐵社會課庶務主任島氏一行は豫算查定の爲め來る二十五日昌圖へ二十八日開原へ來り關係方面の調查をなすと

小黑氏來開

滿洲土木建築協會常務理事小黑隆太郎氏は十五日來開し地方事務所土木係中島伊吉氏東道の下に驛北墜落事件に關し各方面を歷訪せり

實業會評議員會

開原實業會にては十五日午後五時より評議員會を開催せり

長春

支那側常設館でも設備を改善する
―防火施備と非常口改造―　日本側は全部竣成

長春警察署の各常設館に對する注意があつて以來長春座、演藝館及び日華舞臺は何れも防火設備及び非常口を改造して遺漏なきまでに至つたが、支那側公安局でも吉林事件に刺戟され城內の各常設館に對して同樣の注意を發した

辻强盜橫行
馬車夫を射つ

昨今長春附屬地內に馬車夫の辻强盜事件が頻出しつゝあるが、又復去る十三日午後七時三十分頃城內居住馬車夫薛運德（二七）が尾上町六丁目地先に於て一支那人が拳銃をつきつけ金を出せと迫つたが無一文であつたので同人に向けて一發を發射し左腕に貫通銃創を負はせその場から逃走した

恒例の運動會は
愈々六月一日に決定

每年春には西公園で滿鐵從業員等及び家族の運動會が行はれて年中行事の一となつてゐるが、本年も愈々陽春の候となつたので、來る六月一日開催の豫定だと

紅白野球戰延期
二十日に擧行

全長春野球選手の本年春季紅白試合は十三日開催の筈であつたが選手の練習が足りないので來週の日曜日に變更したと

體育ボール發會式
十四日擧行

滿鐵地事社員が中心となり運動奬勵の爲めバレーボール競技を盛にする計畫で滿鐵クラブ、機關區其他にコートを設け體育ボールと名づけ社外の人をも歡迎する由だが十四日午後三時半から發會式を行つた

體育協會總會
けふ運動會支部も幹事會を開催

長春體育協會は愈々運動シーズンに入つたので十七日午後二時から地事會議室で總會を開催し、尙滿鐵運動會支部も同日午後一時から幹事會を開くと

旅順

產婆、看護婦合格者
十四日發表さる

關東廳では十四日左記の通り今期產婆、看護婦試驗の合格者を發表した

看護婦試驗合格者（受驗者三十三名中二十五名）　千葉クウ（大連）杉田モトセ（同）新谷サヨ（同）麻生ヒサコ（同）行本ミワ（同）今重シズエ（同）寶珠山シヅエ（同）手島ヨシノ（同）平田タキ（同）矢村シヅコ（同）藤田ユリ子（同）今崎ミヨ子（同）島軒ゆきゑ（同）花井千代（同）河野マサエ（同）日下照子（奉天）末國スエ子（同）堀內けさ（同）小林いまつ（同）荒木シモヨ（同）滿淵タミヨ（同）城戶崎君子（四平街）松永デン（長春）勝野ひめじ（海城）中原テルエ（撫順）

產婆試驗合格者（受驗者廿九名中十四名）　村重ヨネコ、竹中綾子、松尾章子、井上コスエ、永野アイ、伊藤えつ、宮本さだゑ、渡邊鋼子、林チカ、崎地ふさゑ、中田さき、廣田政野、鳥嶋嫺、菊入クニ（以上實地學說）塚本ノシ、鈴木淸子、入丁ラク（以上學說のみ）

安東

軍旗拜受記念日
あすの擧式と餘興で　守備隊の兵隊さん大忙し

新義州守備隊にては來る十八日第七十八聯隊の第十五回軍旗拜受記念日につき盛大なる祝典を行ふ筈である、當日は官民多數を招待して午前十時三十分記念式を擧げ、來賓を管內に案內して兵器說明する射擊を行ひ午後零時三十分祝宴を開始、終つて餘興に移る筈で、運動會、相撲の外に兵隊さん達の素人芝居等が催されるが、年に一回の書入日の事とて力瘤を入れてゐる

製鋼所期成會問題
安東も絶望か
商議は主動を避ける

昭和製鋼所新義州設置要望期成會問題に就いては、既報の如く新義州側は內訌の爲め見合せの止むなきに至つたが、安東側では單獨にて期成會實現の模樣なりしも中心たるべき商議が進んで主動者たるを回避し、更に公友會も今の處進んで發動せず、商議支部も本部よりの命令に依り蹶起を躊躇しつゝあり、目下の處安東側の期成會も全市民は賛成なるが如きも設立の可能性なき狀態に立ち到り、結局公友會幹部が主動者たらざる限り新義州側と同じく實現不可能と觀られて居る

馬賊團跳梁す
黃花甸附近に潛伏　公安隊懸命に搜索中

曾て遼陽縣千山方面において橫行してゐた馬賊頭目雙紅の一隊十六名は先般該地討伐隊のため追拂はれたが三月三十日午後二時頃鳳城縣第七區黃花甸附近（滿鐵附屬地より西方約二十支里）に爾來附近一帶を荒して千山に於て拉去せる人質一名を同行し其の親族に對し身代金を强要せんとしてゐる一方頭目不詳の十八名よりなる賊團は四月上旬岫巖縣方面より潛入し來り前記雙紅一隊と合併の氣勢あり鳳城縣公安隊員二十名は遼陽公安隊長以下三十名と合し同地附近自衞團と協力し賊徒の所在搜查に從事中である

野球試合
三菱俱樂部を迎へ來月五日

野球シーズンに入つて安東滿俱も十三日紅白試合を開いたが既に奉天三菱俱樂部より本年度定期戰の申込あり、期日は來月の五日の豫定であるが、安東滿俱も申込に應じ幹部會議の結果近く承諾の通知を爲すと共に應戰の準備として連日猛練習を開始してゐる

安中生修學旅行
支那を視察

安東中學五年生約四十名は平田、辛島兩教諭に伴はれ青島、上海、杭州方面に往復約三週間の豫定を以て修學旅行をなす筈で目下準備中、出發は來る二十二日である

目拔の大和橋通りで二戶を全燒す
半燒は三戶で鎭火

十四日午後四時三十分頃市內大和橋通二丁目ホシ藥房と末吉折箱工場附近より出火忽ち隣家昭文堂書店、中村運送店、支那雜貨店を延燒し連日の好天氣と木造家屋のこととて火勢猛烈にしてアワヤ附近一帶全燒せんと見えたが、滿鐵消防隊及び警官隊軍隊等驅けつけ全燒二戶、半燒三戶のみにて五時十分ご鎭火した、原因及損害價格目下取調中であるが場所柄が驛前通目拔場所である上白晝の事とて一時は非常なる混雜であつた

六道溝方面に無斷新築
困つた支那人

最近六道溝方面に住宅又は貸家を無斷で建築する支那人が激增しつゝある爲め、當局に於ては防止に努め發見の場合は嚴重處分をなす事となつた、右に關し當局は語る無斷建築の弊は安東が沿線中一番激しい、元來住宅及貸家其他總ては詳細なる設計圖面を願書に添へて提出し係員が實地調查を遂げ完全と認めたもののみ認可してゐるが、規則觀念の薄い支那人が勝手に建築するので困る、此の種無斷建築家屋は至急取毀處分に附すが今後は一層嚴重に取締り此の弊風を一掃する心算である

普蘭店

普蘭店を中心に廣大な鐵鑛脈
含有量は三割五分から六割　關東廳と滿鐵で調查

普蘭店附近に於ける鐵鑛石調查の爲め關東廳より秋吉技師滿鐵より八丁鑛業所長來普先般來調查中であるが、聞く處に依れば鑛脈は普蘭店を中心として神社山附近は勿論北方の山脈一帶殆ど礦石なれど含有量は不同にして凡そ三十五パーセントより六十パーセントなりと、尙之が經營等に關しては今後細密なる調查を要すべく目下計畫中なりと

神社境內擴張
十四日協議會

普蘭店神社境內を擴張するの議ありしが官民有志及氏子總代等十四日協議の上實施を見分した

祝賀打合會

來る二十九日の天長節を祝賀すべく十四日官民打合會を民政署に開催したが當日拜賀式終了後刀劍及書畫の展覽並池の坊生花の陳列等を催すと

補習校新學期開始

普蘭店驛長福井十一氏を校長とせる補習學校は本月新學期に入り、第二期生十八名第三期生十五名である、講師は秋吉氏の金州轉任後任として民政支署の牛島長造氏を囑託すべく交涉中だ

椎名局長夫人逝去
きのふ告別式

普蘭店郵便局椎名書記補の令閨は久しく大連醫院に入院中の處十五日死亡十六日告別式を行つた

遼陽

滿鐵からの融資で商店街近く竣工
五萬圓は無利子で　五ケ年間に支拂ふ

遼陽商店街は工場撤廢と云ふ大問題に直面した爲め一時其の成行が氣遣はるゝと同時に、遼陽目拔きの場所を何時迄も半成のまゝ放置する樣な事があつてはと憂慮されて居たが、組合幹部の熱誠なる運動と滿鐵の同情とで今回五萬圓を五ケ年無利子償還と決定し、之が償還方法は組合戶數廿六戶が▲第一、二年は每月二十圓宛▲第三年は二十七圓▲第四、五年は三十圓宛とし尙五ケ年後に殘存する不足額は一時に全額償拂と云ふ條件で十五日遼陽地方事務所經由書類を本社に進達し、工事も昨今餘程進捗、近く竣工の見込である

金組評議員會
廿七日總會開催

遼陽金融組合では十五日午後七時から事務所で評議員會を開催、四年度の收支決算報告に付協議し、因みに總會は廿七日開催すべく準備中

人事

▲長山警察署長　は署長會議の爲め十四日夜行で旅順へ
▲酒井憲兵分隊長　分隊長會議出席の爲め十四日朝社

春に泛ぶ水禽　旅順後樂園所見

銀價暴落を禦ぐ唯一の對策

依然割高の銀器を 大量生產で供給せよ

銀の相場はロンドンでは目下九ペンス半見當を唱へてゐる、三月初めの底値から見ると若干回復してはゐるが、以前の事を思へば非常に安くなつたものである、一オンス十九ペンス半を日本の金に換算すると一匁十錢強にしかあたらない。

銀器類が安價大量に生產され、一般家庭で使用される樣になれば銀の消費は俄然激增し、銀の動きも昔語りとなるであらう、大體銀の相場が昨今の樣に下がつたのは生產過剩の爲めではなくて需要が激減した爲めである。故に需要さへ增加すれば難勢は自づから矯正されるのである。

銀器は下らぬ

銀が斯う安くなつてゐるのだから、銀器や銀細工の値段ももつと安くならねばならぬ理窟だが、この方は一向下がつてゐない樣である、貴金屬店で聞くと「銀細工の値段は大部分工賃で、材料の相場は殆ど問題になりません」と云つてゐる。

產額は略一定

銀の年產額は每年約二億五千萬オンス見當である、これ以上あまり增えもしない代りに減りもしない、然るに需要は減る一方である需要の主なるものは（一）造幣用（二）埋藏用（三）工業用（四）工藝用であるが、最も重要な造幣用の需要が近年は減る一方なのである、又インドや支那の埋藏用需要も今後增加は望み難い情勢にある、かうなると殘るところの工藝用及び工業用の需要を促進するより外にない、工業用としてはフイルム工業の如き有望な捌け口がある工藝用としては右に述べた銀器の安價大量生產であらう。

先づ大量生產

アメリカ・スポーケン市のスタンダード株式取引所長ウオルター・ニコルス氏は次の如き話をしてゐる。

「アメリカの產銀業者は目下の銀相場低落に鑑み、銀器の大衆化に就て眞面目に研究中である即ち銀器の大量生產を行ひ、之れを消費者に直接安い値段で賣る爲め一つの會社を設立しやうと云ふのである、大體銀器の値段は餘りに高い、銀その物の相場の六倍乃至十倍してゐる、銀器がもつと安くなれば工藝用の需要は現在よりも大に增加し、世界の銀產額は寧ろ不足を來たす位であらう、銀で造つた器物を一オンスに付一ドル二十五セント位で賣るとすれば、產銀業者の手取りは七十セント位になる、これなら充分である、又この見當なら銀鍍金のナイフやフオークで辛抱する必要はない、擧つて正銘の銀器を買ふ樣になるだらう

前途の光明

仲々妙案である、勿論大量生產となると、巧な毛彫や、手のこんだ裝飾品は難しからうが、ナイフやフオーク、スプーン等の食器類はフオード式の流動作業で譯もなく出來るであらう、又小さな立像、胸像、或は燭臺、シヤンデリアの裝飾等も大量生產必ずしも困難ではあるまい、かうして銀の食

身元保證金

投書歡迎　中傷を目的とするものは採らず　新聞行數五十行以內のこと

一取引人

特產取引の身元保證金銀四千圓は銀暴落のため一部に引上必要說が傳へられてゐるとの新聞記事を見受けるが說の出所は兎も角として之は間違つた見方であると思ふ元來豆信は取引が銀建であり、起り得べき危險が銀額であるがために身元保證金も銀と定められたのである　大正九年銀價が二百六十圓に暴騰した時、身元保證金を金で代納してゐた小生は、三百圓換算として金一萬二千圓まで增納した事がある、現今銀價が暴落したとは言へ銀を基本とする保證能力に於て何等の變化を見ぬ譯で金に換算して二千五六百圓にしか當らないと言ふ事は米貨或は英貨に換算すれば幾何、にしか當らないと言ふと同樣何等理由のない、若し金換算が必要ならば何故最初より身元保證金を金建としなかつたか、殊に、銀の暴落と同時に危險の程度も正比例して減少して居る今日、金換算說は全然理由のない事を一言して置く。

聯盟阿片委員會（三）

壽府に於ける第十三回會合

國際聯盟事務局東京支局發表

不正賣買

前年度中、不正賣買の數多の件數が發覺したが不正賣買の供給者及び分配者の若干は何時も不明のまゝである、不正賣買は全世界の殆ど總ての部分に手を擴げてゐる、エヂプトは麻藥類の洪水の中にあるが如く、同國政府の見積りによれば、麻藥類の量は一千四百萬の人口に對して五十萬キログラムに達してゐる、コカインは印度、マレイ及びその他の領域に多量送らるゝも、その發送者は不明である、また阿片及びその他麻藥類の大量が米國及びカナダにも密輸出される、阿片の押收は極東に於ても行はれ、Lam Kee Hop, Macao など僞の商標を貼つた精製阿片がカナダ、オーストラリア、米國及びオランダ領印度諸島等で發見された、印度、マレイ半島、極東方面に於けるコカイン密輸の發覺した數件では、押收せるコカインに麻藥製造を日本政府が認可せる日本の會社のレッテルが貼付してあるがこれには Hoshi Manufacturing Cy 及び Koto Seiyaku Manufacturing Cy 等があり、なほ此の外にも "Fujiitsuru" "Bouddet" "Elephant" "Paon" "Taemmufa Fo One" 等の商標があつたが、その商標の出所は不明である、レッテルにはドイツの會社名を記した僞造のレツテルが同時に貼つてある、阿片委員會の入手せる情報では南方支那の一地方に不正賣買の中心が存する樣で、支那政府は之が探索を行つてゐる、ペルシア阿片を支那へ輸入する量はなほ非常に多額である、一九二九年中、二千箱のペルシア阿片がウラヂオストツクに送附せられた、阿片委員會の探知せる處では、これ等の箱は確に支那に密輸入せられた、他の一方、支那の生阿片及び精製阿片の押收は香港オランダ領インド、マレイ及びフイリツピンの官憲により行はれた、ムルハウスのレスラー商會は三年半の間に、ヘロイン六トンとコカイン二〇五キログラムを輸出し、その大部分は不正賣買であつた、目下豫審中の他の三つのフランスの商會は數年間に行はれた數件の押收に關連して居た、これ等の商會の一つはコンスタンチノープルに工場を設けて居るので、阿片委員會はトルコ政府がその不正賣買を指摘する樣希望した。

防遏協議

委員會は不正賣買の二、三が運送會社及び船會社によつて行はれたことを考慮し「運送會社が不正賣買を行ふことにつき各國政府が愼重に調査されん度き旨」を要求し、輸出許可制度の實施の重要なることを力說した、多年不正なる目的に使用する麻藥類を商賣にして居た若干の商會も、法律違反となつては、その活動を繼續することが出來ないであらう。許可制度は、委員會の意見によれば、正當に營業せる商會に限り適用せられるものである、阿片委員會は各國政府に對して次の手段の必要なることに就て注意を促した、即ち

▲麻藥類包裝に製造地及び番號を記入すること

▲各國警察當局の密接なる協力

▲不正賣買業者の黑表作製

等である。阿片委員會は支那に於ける麻藥類の狀態に關する審査を次回會合の議題とすることに決定した、麻藥類の不正賣買は支那に於て盛で、支那政府は不正賣買業者撲滅に幾多の困難を感じてゐる委員會は聯盟理事會が本問題に關し、支那と條約關係を有する國の注意を惹かんことを求めた、本問題審議に當り支那代表吳凱先氏は不正賣買取締に當り支那警察官の經驗する困難に就て注意を促した　同氏の意見は左の如くである

この取締の困難は支那に於ける外國人が治外法權を享受してゐるからである、この特權により幾多の不正賣買業者は自由に國外に逃れ、また處罰を免がれてゐる、各國の警察の協力が必要で、租界に於ける警察は支那警察を援助しなければならぬと同時に、支那の麻藥類不正賣買取締の效果を擧ぐるためには國際協力が最も必要である。

支那怪談 痴人醉夢（三）

森田富義

「さあ、大王ハ一盞喫んでから罷ばう、供ノ女は唄うがよい、王大人に鬼界の踊でもご覽に入れやう」

大王が恁う言ふと、一人の僕が客の酒盃に酒を注いで廻つて、もう一人の給仕は暖かい御馳走を運んで來た。

王英は好きな酒を喫んだ、それはたいそう舌ざわりのよいもので、これまで、此麼上等の酒は喫んだことはなかつた。料理も邑には見られないもので、珍しい材料ばかり使つてあつた。王英は立派な御馳走に酔然いたが、大王が頻りに進めたので、四五杯喫んで陶然として、隣席の大臣や官女と話を交した。大王も賓客の王英に話しかけたが、如何にも愉快さうであつた。

それから、また酒が幾巡りかした。

「供優女はまだか」

大王は思ひついたやうに督促した。

「はい、今すぐ參ります」

僕が促いに出ると間もなく、廊下に優しい蓮の音がした。花簪と耳環の音が鏘々と響いた。室は急に靜かになつて、客は一樣にその方を見た、紛擬をした柳腰の女が五六人、牡丹の花を一枝宛持つて這入つて來た。細い鞋の鐺は黄金作であつた。

「ほう」

客人達は一時に、感嘆の聲を擧げた。大王は赤い顏を一層赤くして微笑した。

「客人がお待ちや、早く唄え」

大王は更促した。

春光既に去つて、盛夏亦來たらず、秋月只碑を照し、多娛何處より遁へん、郎君今現世を去つて、鬼界の客たるを不識、一盞一傑何もヽ知ふ、痴人の一醉只夢ならんや。

供優女は、琴を彈じ、胡弓に合せて唄ひ、唄に合せて踊つた。それは天女の舞か、牡丹に狂ふ蝶の舞で、身體の動く度に、香しい匂ひが漂ふて、彈く女、唄ふ女、踊る女、喫ふものも夢の蕩けてゐた王英も、今までに見たことのない世界の氣分に醉ふて、自分の幸を悦んだ。

「踊りが濟んだら酌をしたがよい　さあ王大人、命爵を」

大王は、夢心地の王英を指して促めた。

王英は、楚々とした柳腰が、艶に微笑て酌ぐので、思はず過した。酒はそれから幾巡りかして、漸く宴は濟んだ。その時、僕の一人が這入つて來て云つた。

「準備が整きました」

「さうか」

大王は答して、今度は客に向つて云つた。

「準備が整きたさうだ、王大人もどうぞ」

官人や、官女達が笑ひ興じて室を出て。王英も續いて出たが、また、長い廊下を幾曲りかして、綺麗に飾つた室に這入つた。そこには、すつかり賭博の準備が出來てゐたが、何時の間にか大王も來てゐて、央に席をとつて、臣に客に座を興めてゐた。

B-237

家庭とコドモ

「五月祭」合唱歌

一、青い空でも
陽かげかさせば
ちらり　きらりと
をどる
らららららら
をどるよ
をどる

二、野邊の草花でも
春風ふけば
にこり　からりと
笑ふよ
笑ふ
らららららら
笑ふよ
笑ふ

三、わたし　乙女よ
滿洲野の乙女
五月祭の
なかまに
なつて
らららららら
なかまに
なつて

四、をどる空には
心を乘せて
笑ふ花には
姿をまねて
らららららら
姿を
まねて

五、陽かげ　もろとも
春風　うけて
今日の祭を
歌はう
友よ
らららららら
歌はう
友よ

國史學習のお話（完）
人、事件、文化に就ての　しらべ方

常盤小學校訓導　國東正路

こゝまで諸君が國史の勉強で注意しなければならぬ事を書いて來ました。最初から急によい勉強も出來ないでせうから段々注意して行つたならば後には最も良い勉強の仕方を會得する事が出來るでせう。

以上のお話で大體國史の勉強はどんなにすればよいか分つた事と思ひます。尚參考までにどんな國史の內容の時にはどういふ勉強の仕方をすればよいか御知らせして置きませう。

（1）人についての勉強の時、
小さい時の生ひ立ちはどうか、
當時の世の中の有様はどうか、
どんな事をしたか、
何故そんな事をしたか、
その結果はどうなつたか、
それが後の世にどんな影響を及ぼしたか、
當時の人は此の人をどうしたかどう思つたか、
此の人の手紙、事業に對する自分の感じは、
此の人の最後はどうだつたか、
後世の人が此の人をどう見てゐるか。

（2）事件についての勉強の時、
何時何處に起つた事か、
何故に起つたか、
最も近い原因は何で、遠い原因は何か、最も主な原因は何か、
原因と原因との間にどんな關係があるか、
其の成行きはどうであつたか、
どんな結果になつたか、
どうしてそんな結果になつたか、
各方面にどんな影響を及ぼしたか、
中心になつた人物は誰か、
後世にどんな影響を及ぼしたか、
此の事件に對する自分の感じ。

（3）文化についての勉強の時、
文化はどんな方面に發達したか、
文化が盛になつたのは何故か、
どんな特色を持つてゐるか、
一の文化と他の文化の間にどんな關係があるか、
すぐ前の文化との間にどんな關係があるか、
すぐ後の文化との間にどんな關係があるか、
此の文化に力のあつた人は誰か、
現代の文化と比べて、
古からの大體の歴史、
流派、
現代までのこつてゐるものは、
自分の感じ（終り）

支那看板　種々相（21）
宴會も引受ける　一等料理店

これは支那町の一等料理屋である、勞働者相手の安つぽい飲食店は例の赤いふさを吊るした看板を出してゐるが、料理屋も少しいゝのになると赤いふさは出してゐない、この店先には「隨時小賣」「包辦酒席」の小さな看板を出してゐるが、前者は「一品賣りもします」の意で後者は「宴會もひきうけます」の意である、大連あたりの大きな支那料理屋では日本人の顧客が多いところから料理もよほど日本化して居るが本格的な支那料理を食はうと思へばやはり支那人町にある料理屋に行かなければ駄目である。

彌生高女母國見學團通信
夢のやうに過した　江の島見物の一日

桐野滿洲

待ちに待つた自由見學の日。私達希望者八名は天候を氣にしながらまだ眠りから醒めきらぬ東京を後に七時四十二分電車で江ノ島へと向つた。

電車はまるで飛ぶ様に走る、四方の景色を後へなげやりながら……

長閑な田舍道淺緑の草々、黃色い菜の花、きれいにくぎられた畠、わらぶきの家、のんびりした景色にすつかりいゝ氣持になつてコツクリ／＼と船をこいで居る者もある。

藤澤で乘換へる。

狹い道、兩側には大きな竹やぶが續く。

竹やぶを始めて見る私達には竹が風に吹かれてざわ／＼とゆれるのも珍しく思はれた。

まもなく電車は片瀨に着いた、長い／＼危つかしい棧橋を渡り江ノ島へ……高い石段をやつと登りつめて江ノ島神社にお參りする。

眞赤な櫻が散つてゐる、大きな木が涼しい影を作つてくれて私達を待つてゝくれる、そこで一休みして社の後にある窟の辨天へと向ふ。

道の兩側にならんだ店からやかましく「貝細工は如何」「ゑはがき十六枚で五錢です」「お荷物をおあづけなさい」「おみやげものはたくさんあります」「入つてごらんなさい」等の聲、實際よく口が動くものだと感心してしまつた。

岩の尖端に出て眺めた景色、おゝ、何と言ふ靜かなそして麗々とした景色なのだ。

波のないあくまでも靜かな海はコバルト色の水をゆたかにたゝえてはるかに／＼水平線の彼方までのびて居る、其の間にぽつかりと浮んだ鯨の背の様な緑の島、可愛い島々、そして彼方に見える大きな山、氣持よく配置されたそれらのものを眺めた時私達一同はたゞ讚歎の聲を上げるばかりだつた。

「あら飛行機」と言ふ友の聲、ふと目をあげると二臺の飛行機が仲よく翼をそろへ私達の來訪を祝する様に頭上をくる／＼飛まはつてゐる。

石段を下り窟の前に出る、入口でローソクを貰ひそれを頼りにまつくらな窟の中へ入つて行く。ローソクの火が消えぬようそろ／＼と岩をつたひながら中へと進む。

暗の中にちら／＼する灯をめあてにしながら、岩にきざまれた弘法大師の像首なし地藏、辨天様のお使ひの蛇等がローソクの光にぼんやりと浮び出る時、何とも言へぬ不氣味さを感じた。窟の探勝を終へやつと入口近くになつた、丸く開いた入口から差込む陽の光！あゝ何と尊い光なのだ、たつた二十分か三十分位のくらやみの中に入れられた私達は今まで曾ておぼへたことのない有難さ嬉しさで太陽を仰ぐことが出來た。

それから私達は遊覽船に乘り江ノ島を半周した。海から眺めた江ノ島は本當に繪の島だつた。

假白き富士の峰
緑の江ノ島
……
誰かが叫び出した。これに富士が見えたらと思つたが悲しいかなかすみにつゝまれて美しい姿を見せては呉れなかつた。

大チャンノ　モウジウガリ（80）
ハルミチ作　ジラウ畫

シユウチヨウ　ハ　ヤマ　ノ　ウヘ　ニ　大チヤンタチノ　スガタ　ヲ　ミツケルト　ヒ　ノ　ヤウニ　オコツテ　ケライノモノ　ニ　メイレイシマシタ、ケライドモ　ハ　テニテニ　ヤリヲ　フリアゲナガラ　ヤマ　ノ　ウヘ　メガケテ　カケノボツテキマス、

「イヨイヨ　オモシロクナツテキタゾ」ニツコリヲヂサン　ハ　ヒザ　ヲ　ノリダシテ　テツポウ　ヲ　ニギリシメマシタ、大チヤン　モ　ニツコリシテシマシタ、ドジンドモ　ハ　トキノコヱ　ヲ　アゲナガラダンダン　チカヅイテキマス。

帝國兒童教育會が　こども全權を　歐米各國へ派遣

伯爵林博太郎、二荒芳德、子爵通陽氏を顧問に、澁谷小波、岸邊福雄其他知名の士を評議員に、石川千代松博士を會長とする帝國兒童教育會では兼て兒童を基礎とする國際親善を高唱し、前年來數次之に關した計畫を實行した事は一般の知る所であるが今回のロンドン會議で益々其必要を認め今回理事長石井傳一、評議員阪本洪學士の二氏を歐米に派遣する事となつた其目的としては

一、海外學童を通じて我國情の紹介

之には映畫又は實物、模型、寫眞等を携へ學校教會其他で講演會を開催の事

二、在外邦人、學童の慰問と其教育狀況視察

在外同胞の家庭及學校の實情を親しく視察し且つ慰問をなす事

三、各國の社會教育並に一般教育の研究

主要都市は勿論農村等にも出張して其施設方法等を調査する事等が數へられ、目下關係官廳及び大公使館、內外教育家、宗教家等の各方面に亘り連絡を計りつゝあるが一行は來月下旬出發の豫定で之には外國兒童と邦人學童に贈與する國際親善カード（昭和三年同會作製原色版、既に海外へ十萬餘を贈つた物）や手輕な學童の製作品等を可成多量に持ち行き度いとの事で、該「カード」は百枚二圓五十錢の割合で汎く一般から贊助者を求め其氏名は贈呈の際印刷の上添付し左の諸項に關し多數の希望も聞きたいとの事である

イ、外國では如何なる視察をして來べきか

ロ、如何なる話を內外兒童にしてよいか

ハ、說明材料に持ち行く物とお土產品の選擇

ニ、教育品玩具其他輸出入品の調査

等の事であるが共鳴者は東京市牛込區西五軒町帝國兒童教育會宛に直接申込あり度いと

新刊教育兒童書紹介

◇教育時論（四月五日號）互譯精神の動き方、日本の學校教育再吟味、義務教育費國庫負擔問題國史教育としての反省と修養、其の他（十八錢東京市麴町區三番町開發社）

探偵小說 女妖 (65)

江戸川亂歩
横溝正史 作
伊藤幾久造 畫

犯人は？(二)

丁度その頃の事である。

パリーの郊外で砂村と言ふ、至つて風光明媚な別莊地がある。

その別莊地の、昔貴族が住んでゐたと言ふ大きな邸へ、最近移り住んで來たロシヤの貴族と稱する紳士があつた。

名は千家鷲鷹といつて、背の高い、髯の濃い、見るからに堂々たる偉丈夫、尖つた鷲鼻の上に、爛々たる眼が二ツ、ぎろりと鋭く光つてゐる。如何にもロシヤの貴族らしい剛毅なる面構へ、しかし、これを惡くいふと、何處か無氣味で近寄りがたいところがある。

然し、パリーも郊外となると、人目も至つて少く、警察の眼も行屆かぬと見えて、この正體の曖昧なロシア貴族に對して、誰一人疑惑の眼を向ける者はない。

今しも千家鷲鷹は何處か外出先から歸つて來たところと見え、馬車を下りると、重さうな鐵門を開いて中へ入つて行つた。

昔貴族が住んでゐたといふのも成程と頷けるやうな廣い邸宅である。その砂利道を千家鷲鷹は、又馬車の轍を響かせながら玄關の方へ進んで行つた。

うつさうたる木立が道の兩側に千年も昔からの姿そのまゝに立つてゐる。一寸見たところでは、これが一つの邸内の庭とはどうしても思へない千古の森林さながらの風景である。

さうした深い木立の中を暫く進むと、漸く古びた洋館の一角が見え始めた。それはフランス革命以前からの建物で、革命當時、暴民に襲はれたために、建物の所々にかなり破壞された跡が見える。さうした破損をつくろひもせずに、そのまゝ住んでゐる事が、却つてこの新らしい主人の奥ゆかしい趣味を思はせるのだつた。

馬車が玄關に近づくと中から一人の黒ん坊が飛び出して來た。そして馬車の手綱を取ると、主人に向つて恭々しく一禮する。

「いや、御苦勞々々。誰も來なかつたかね」

「ハイ、何誰もお見えになりません」

「さうか、よし」

千家鷲鷹はさう言ふと、身輕に馬車から飛び下りた。そして手にしてゐた笞を黒ん坊の下男に渡すと、とつとゝ石の階段を登つて行く。

玄關を入ると、直ぐ傍に廣間がある。

鷲鷹は廣間へ入ると、帽子と手袋をとつてどつかと大きな革椅子に身を投げ出した。そして、卓子の上から葉卷を取上げると、さもうまさうにそれを燻らし始める。

と、其處へ先程の黒ん坊の下男が、銀の盆を捧げてコップの水を持つて來た。

「いや、御苦勞々々」

鷲鷹はゆつたりとした氣分で、そのコップを取上げると、

「時にお客樣の樣子はどうだね」

と訊ねる。

「ハイ別にお變りはありません」

「二人ともかね」

「ハイ、昨日まではかなり亢奮してゐらつしやいましたが、今日はもうすつかり落着いてゐらつしやる樣です」

「さうか。二人とも却々氣丈な女と見えるな」

さう言つて、千家鷲鷹はにんまりと笑つた。

衛生欄 (質疑應答)

痔瘻の初期

昨年の二月痔核を手術して全治しましたが最近肛門の外の奥にシコリの樣なものがあつて痛みを覺へます、痔核とは違ふ感じですが何でせうか（牛込川原）

『答』恐らく痔瘻の初期でせう、瘻孔が外部に開口せずに居るのです放任して置くと外部に小さな穴が明いて膿を出す樣になるのが普通です、痔瘻の療法は體質との相談ですから專門の醫師とよく協議の上で治療しなくてはなりません。

出血と貧血

身體は割合に強い二十一歳の女ですが通じの度に出血があります痛みはありません、顔の色が蒼白くて困ります療法を（千葉みよ女）

『答』痔の出血と思はれます、肛門内部の何處かに創があつて排便のために粘膜面が破れ出血するのです、この出血は甚だしく貧血を招くものですから顔色が蒼くなつたのでせう適當な肛門座藥を挿入して出血を止めなくてはなりません、自宅で用ふるには小松痔退座藥などが安全で有効でせう。

痔核と鎮痛藥

最近肛門内側に小さな核を生じ激しく痛みます、痛みを止める藥は有ませんか（小樽B生）

『答』すべての痔疾藥はみな痛みを止める力を有してゐる筈です、しかし効力が多いか少ないかの差はありませう、單純な症狀ならば小松痔退膏を貼付するだけで充分治ります。

産後の痔疾

本年一月分娩後直ぐ痔が痛み出血します、良い藥お知らせ下さい（困り女）

『答』出産時の努責により裂瘡が出來たものでせう便通を緩和するため野菜類を多く食し患部を溫かくし無理な力業をしない樣になさい、入浴して患部を清潔にし脱脂綿によい軟膏をのばして貼付して置くと裂瘡面が癒合して治るものです、藥店で小松痔退膏を求め一日二三度交換して御覽なさい充分効果があるでせう。

□先づ病を識れ□

正しく識らぬため 痔疾に惱む

……日常生活に注意すれば 痔疾は輕微で治るもの……

痔疾に惱む人の多くは十年も十五年もこのために惱み續けてゐるといふのが普通である。誠に同情に値することではあるが一面から言ふと、どうしてそんなに長く苦しまなくてはならぬ樣にしたか、自分の身體にして置いたか、と云はれても仕方がないのである、恐らく患者はこれに對して『いや放任したのではない、あらゆる療法を講じたが治らないのだ』と抗議するに相違ない、それも無理ではないが、然らばその所謂療法とはどんな事を指して云ふのか、醫師の手當を受けた、手術した、藥を用ゐた、といふことが主なるものであらう、つまり外からの力を以て治さうとした事を以て全部なりと考へるならば痔疾は到底治らないのである。

知るものは怖れず

單に痔疾のみと云はず病氣といふものゝすべては外からの力によつてのみ治さうといふ事は根本的に誤りを有つものである。これは人間が自分の身體乃至病氣といふものゝ發生に對する知識に乏しいことから起るのであつて醫師と藥とを餘りに賴り過ぎる欠點にもよると云はなへてはならない。痔疾患者の場合に於てこの傾向は特に多いと思ふ。原因なくして結果はないのであるから痔疾にしても突如として無から有が生じたものではない、痔疾となるべき原因は各自の日常生活中にチヤンと織り込まれつゝあつたことを考へなくてはならぬことである。どうすれば痔疾にならぬのか、又どうすればそれが防がれるか、乃至は又どういふ部分がどうなるのが痔疾なのであるか、それを知らぬ故に十年十五年を惱むのである、彼の肺結核を怖るゝものはたゞ怖るゝのみで其の本體に就ては何も知らぬ、だから『人は病氣のために死ぬのではなく病氣を怖るゝために死ぬ』と喝破した人さへある、眞理である。

痔靜脈存在の理

端的に云へば人間の肛門といふ所は痔疾を起すのによい條件を具へてゐる所だと云へるのである。解り易く說明すると腸で消化された食物の滓、即ち糞便が漸次に下降して來て肛門の內部、直腸に停滯しそれが直腸に保持されなくなつた時に括約筋を押し開いて外部に排出される、從つてこの括約筋のある所、即肛門周圍は常に或る壓迫を受け續けてゐると思つて差支はない、しかもこの部分には特殊の形狀をした血管、痔靜脈といふものが無數に存在してこの壓迫に對するゴム管の如き緩衝作用を營んでゐる、しかし如何にその血管が多く又巧妙に造られてゐても直腸內から下降して來る壓迫が異常に強大な場合、つまり糞便が大量でしかも秘結してゐると其の壓力に堪へ兼ねて血管內の血液は流通することが出來なくなる。

便秘豫防の意義

ゴム管に水を入れて兩端を塞ぎ中央を強く壓迫すればゴム管自身が膨れてその壓力に堪へるより外に道はない如く壓迫された痔靜脈は鬱血を起して遂には膨れ出す、この膨れ出した狀態が所謂痔核なのである。して見ればこの血管を壓迫しない條件、即ち大量でしかも硬化しない軟かい排泄物が何の困難もなく括約筋を通過して排出されてゐれば鬱血は起らず痔核も出來ないか、正にその通りである。であるから痔疾患者の大部分は便秘症の人である、然らば便秘は如何にして起るか、便秘を豫防することは痔疾の豫防であるか、曰く然り、正にその通りなのである、要するに、斯く知ること、斯く知つて其の原因に逢着したら自から原因を斷つ樣に生活を改善することこれが痔疾の根本的療法なのである、所が斯く原因に據ることをせず、痔疾として現はれて來た點にのみ療治を加へてもそれは結局何にもならぬ、正しく識ることそれが第一と云はねばならぬ。

藥の安全性と効

しかし一旦痔疾として現はれて仕舞つたものに對してはどうするか問題はこゝにある。切るか、灼くか、注射するか、藥をつけるか、他に方法はない、切るとは靜脈の膨れ出した部分を切るのである、無數にある血管の一つを切つても次の血管が膨れ出せば元の本阿彌である（痔瘻の場合は性質が違ふ）灼くとしても同じである、注射は便利であるが絶對的とは行かぬ。藥をつける、これは安全だが効き目がのろい、患者たるもの誠に焦慮せざるを得ない譯である、結局一時の苦痛を凌ぐことに馴れて根本的の療養を忘れるために十年依然として病苦に苛責されるといふ事になるのである。

治療の根本問題

果して如何にすれば痔疾の苦痛を輕減し治療の機轉を速かならしめることが出來るか、第一に飲食物を調節して便秘の原因を除去し便通の整調によつて根本的の刺戟を去らねばならぬ。第二に適當な運動によつて胃腸の機能を良好ならしめる（安靜といふことも適當な運動中の中に含まれる）患部を冷さぬ樣にすること、而して後に藥治を加ふべきである。痔の藥は痛みを止める作用、殺菌の作用、吸收の作用、收斂の作用、防腐の作用、消炎の作用等を有するものが理想である、たゞ麻痺劑によつて痛みを紛らすものは何の意味をもなさぬ。現在吾が國にも痔藥は數十種あるが實驗の上からは『小松ぢの藥』などが最も優れてゐることを認めない譯には行かぬ、實際に効果あるものはあると云ふより外はあるまい。この藥の成分は確かに一般の痔藥と別個のもので自家用としては先づ理想に近いものと云ふことが出來る。

痔疾患者に問ふ

こゝで患者諸氏に質問したいのは實際に病苦から逃れたいのか逃れたくないのかといふ事である、若し眞實この病苦を征服して健康を樂しみたいならばそれだけの決心と覺悟とを以て進むことである。前に述べた小松ぢの藥の實驗例の如きは恐らく如何なる症狀の患者に取つても確かに大きな參考となるべきものと信ずる、むしろ一讀の義務があると云つてもよいだらう（右實驗例は東京日本橋船戸物町玉置合名會社で無代頒布する）

全部瀆職罪で公判に附せらる
越鐵と山手急行の兩疑獄事件
十五日豫審を終結

【東京十五日發電】政界に一大波紋を捲起し世人の耳目を衝動せしめた昭和大疑獄の內越鐵並に山手急行兩私鐵疑獄事件は昨年十一月以來東京地方裁判所兩角豫審判事の手で審理中の處小川前鐵相關係の四私鐵疑獄に先んじ十五日終結決定同日午後六時十分各被告に發送された、同疑獄に連坐起訴されたものは左の諸氏で一名の免訴者も無く全部有罪瀆職罪として公判に附せらるる事となつた

前文相　小橋一太
元鐵道政務次官勅選議員　佐竹三吾
前越後鐵道社長　久須美東馬
山手急行副社長　太田一平
同監査役　一條丈人

決定書要旨

【東京十五日發電】越鐵、山手急行兩疑獄の豫審終結決定書の要旨左の如し

元越鐵常務取締役　久須美東馬　明治十年十一月八日生
貴族院議員　佐竹三吾　明治十三年三月五日生
東京山手急行電鐵副社長　太田一平　明治十年八月七日生
同社常任監査役　一條丈人　明治四年四月廿八日生
元文相　小橋一太　明治三年十月一日生

右被告人等に對する各瀆職被告事件に就き豫審を遂げ終結決定を爲す事左の如し

主文

本件を東京地方裁判所の公判に附す

理由

被告佐竹三吾は大正十五年六月上旬より昭和二年四月十九日迄鐵道政務次官として鐵道省諸般の政務に參加し並に帝國議會との交渉を掌理し居りたるものなりし處、其の間越後鐵道所屬の新潟市白山より柏崎町に至る幹線及び支線併せて六十六マイル餘の鐵道を政府に買收せしめん事を企圖せる會社重役なる被告久須美東馬の運動により、昭和二年一月下旬政府より越鐵所屬鐵道の外四鐵道買收のための公債發行に關する法案律が議會に提案さるるに至りたるが、當時該法案に對する議會の形勢險惡にして之れが通過については樂觀を許さざりしため、同年二月上旬以降屢々久須美より東京丸の內鐵道省其の他に於いて同法案の議會通過につき盡力ありたき旨の請託を受くる處あり、勞々佐竹は政府委員として極力同法案の議會通過につき盡力し結局同法案は三月八日下院を通過し二十二日貴院も通過するに至りたるが、之れより先き二月中鐵道省に於いて久須美より請託を受けたる際は慰勞の約束をなし兩院通過後三月下旬久須美に對し其の約束の實行を促したるも遂に其の實現を見ずして終りたり

被告小橋一太は大正十五年四月より昭和二年八月迄政友本黨の幹事長たりしが政府に於いて議會に提案せる前記越鐵外四鐵の買收のための公債發行に關する法律案については下院に於いて贊成の憲政會と反對の政友會との勢力伯仲し、其の通過如何は本黨の向背によつて決せらるべき狀勢なりし處、二月中旬自邸に於いて久須美より右法案の審議に際し自身ならびに本黨內の議を贊成意見に取り纏め其の通過に盡力されたき旨請託を受け、其の通過の曉には相當の謝禮をなすべき旨の申込みを受くるや其の謝禮の件については暫く之れをおくも其の議會通過については盡力する旨を約諾し、而して本黨の態度が與黨贊成の事に決定せられたる末同法案は遂に三月八日下院を通過するに至り、ついで二十三日貴院を通過するに至りたるものとす

一、茲に於いて被告小橋一太は前記の關係を辿り久須美より謝禮の金員を收得せんと欲し、三年五月頃より佐竹を介し久須美に相當の金圓を提供されたき旨を述べ金一萬圓の出金方を承諾せしめ、佐竹は其の情を知りたる小橋のために九月上旬府下高田町の久須美の別宅に於いて久須美より現金五千圓を受け取り他より借受けたる五千圓と併せて之れを小橋に交附し、次いで同月中旬に新潟市の大野家に於いて更に久須美より現金五千圓を受け取り、之れを前記借受金の返濟に當て以て小橋は衆議院議員としての職務に關し久須美より金一萬圓の賄賂を收受し又は佐竹は小橋のために如上の斡旋をなして之れを幇助した

二、尙ほ小橋は三年一月佐竹を通じ久須美に對し議會解散近きにつき金錢の援助ありたき旨要求し廿一日解散となるや二月十日東京驛構內に於て佐竹の手を經て現金二萬圓を受取りたり、

小橋は被告太田一平一條が東京山手急行發起人名義を以て鐵相に對し東京府大井町より深川區西平井町に至る二十六哩四十チエンの電鐵敷設免許申請に關し大正十五年九月以降屢々一條より佐竹鐵道政務次官の意を動かして免許につき盡力せしめられたき旨の請託を受け小橋は之れを承諾しその意を佐竹に通じ一條太田等も直接佐竹に對し運動をなす處あり、而して佐竹は職務上の盡力をなし遂に昭和二年四月十九日官許となりたるが、之れより先き同年一、二月頃一條より佐竹及び小橋に對し官許の曉には謝禮として金二十萬圓以內の現金又は山手急行の株式一萬株宛を提供すべき事を申込み右兩名は謀議の上此の申込みを受け佐竹はその職務に關し一條との間に賄賂の約束をなし又佐竹は他人名義にて右兩名より一萬株の割當を受け之れを取得したり（以下省略）

以上の事實は之れを公判に附するに足るべき犯罪の嫌疑充分にして瀆職罪として處斷すべきものとす仍つて刑事訴訟法第三百十二條に則り主文の如く決定す

贈收賄や贈賄幇助で全部有罪と決定
小川前鐵相以下十八名
四私鐵疑獄事件の豫審終結す

【東京十六日發電】小川前鐵相を繞る四私鐵事件は東京地方裁判所渡部豫審判事の手で審理中であつたが、十六日豫審終結決定し夕刻までに右決定書を各被告の下に送達する事となつた、豫審免訴者は一名もなく左の人々は全部有罪と決定した

收賄
前鐵道大臣　小川平吉
前代議士　青山憲三

收賄幇助
元代議士　春日俊文
前小川鐵相秘書官　守屋元太郎

贈賄
東大阪電鐵社長　太田光凞
同重役　田中元七
同　吉川義照
同　白井勘助
元代議士　長田桃藏

贈賄幇助
奈良電鐵社長　井出繁三郎
ブローカー　角谷幸次郎

贈賄
伊勢電鐵社長　熊澤一衞
同重役　伊坂秀五郎
博多灣電氣軌道社長　太田清藏

贈賄幇助
貴族院議員　富安保太郎
北海道鐵道社長　犬上慶五郎
同重役　兵藤栄作
同　渡邊孝平

外に贈賄幇助として長田、吉川、太田等は全部有罪となつた

御巡遊國使臣お召
午餐を賜ふ

【東京十五日發電】高松宮、同妃兩殿下には十五日午後零時半イギリス、スペインその他御巡遊關係各國の大公使館員並びに夫人等三十名、牧野內府、一木宮相その他を御召しになり霞ケ關離宮に於て午餐を賜つた

ほゝ笑みかけた電氣遊園の彼岸櫻

張財政次長の令息二名攫はる
上海の不敵な强盜團

【上海十五日發電】上海市內に於ける人攫ひ事件は毎日の如く現はれ支那人富豪を脅かしてゐる、昨朝市外大聖路に於て行はれた事件の如きは例のない巧妙なもので一大センセイションを捲き起した、即ち攫はれたのは現國民政府財政次長張壽鏞の令息張恒良、革良二氏で昨朝八時兩氏は恒良夫人（ドイツ人）と例の如く自動車に同乘し其の敎鞭を執つてゐる大學に通勤の途中、人通りの稀なる大聖路に差かゝつた時前方に三脚測量機を立てた一團が測量してゐるので公務妨害を慮つて自動車を徐行させて其の場を過ぎんとしたところ右の一團は突如機械を棄て自動車を取卷き拳銃をつきつけ啞然たる三人を別々に用意の自動車に押し乘せ自動車は租界方面に向つて矢の如く疾驅した、然し人攫ひ團も獲物の一人が外國人たるを見て面倒と思つたものか途中恒良夫人のみを下車させて逃げ去つた、夫人は其の足で警察並びに自宅に急を告げたので大騷ぎとなつた、今朝までの處二氏の行方は尙不明で家族は戰々兢々としてゐる

愈よ設立された大連野球審判協會
球界の權威者を網羅し野球技の健全な發達を圖る

近時我國運動熱の勃興は旭日昇天の勢を示し如何なる山間僻地においてもボールに觸れ、スポーツを語る人々のゐないところはない、後世大正昭和の時代風俗を畫がく繪師あらば恐らくユニホーム姿の運動選手を畫かいて時代を表現するであらうといふ語も蓋し過言ではあるまい、然るに我が運動界は紛擾が殆ど附物のやうになつてゐる

勿論一面紛擾の多きは其の旺なることを物語るものであらうが、折角の興味もこの紛擾の二字によつて殺がるることを往々にして見受ける、東京における六大學リーグ戰、その他野球大會においてはこの弊害を排除するべく努力し、或は專屬審判官を設置し、或はまた大會毎に審判委員を設け試合を圓滑に且つ一層權威あらしめてゐる、實業、滿倶の二大チームを有し

黄金時代を作る大連の野球界でも近時專屬審判官を設け滿洲野球界に一新紀元を畫すべしとの議起り大連實業、滿倶兩倶樂部關係者集合、よりより協議中のところ、いよいよ左記野球關係者功勞者及び權威者により大連野球審判協會なるものが出來上り、近日中に發會式を擧行することになつた、同協會は上述の如く大連における野球競技の審判をなし規則に關する疑義を解決し、併せて滿洲における野球技の健全なる

發達普及を圖るを以て目的とするものであるが同協會の設立は滿洲野球界の現在の地位をより一層高めるものと信じられてゐる、發表されたる役員諸氏の氏名は左の如くである

▲會長　小日山直登
▲副會長　貝瀨謹吾、平田驥一郎
▲顧問　津久井誠一郎、吉村英吉、平一正朝、西山勉、瓜谷長造、猪子一到
▲常任幹事　安藤忍、中澤不二雄、岩瀨五郎、疋田捨三
▲委員　中澤不二雄、疋田捨三、芥田文夫、永澤丈夫、[illegible]崎眞二、兒玉政雄、綠川郁二、井上直吉、片岡秀雄、吉野幸策、上條千幸、中井幸雄、安藤忍、岩瀨五郎、中島謙、平田次郎、高橋誠、安藤勝、中川武行、宮武英男、二神武

滿電の新自動車

滿電では米國インターナショナル社製客用二噸積新自動車八臺を購入し同社車庫に於て車體の製造中であつたが、大體完成したので來る十八日午後一時常盤橋出發旅大道路を龍王塘まで試運轉をなすことゝなつた

近海郵船活躍

近海郵船においては關東州置籍船神州丸をもつて臺灣大連朝鮮の三角定期航路に當らしめてゐたが、最近同航路の營業成績見るべきものがあつたので更に同航路に力をつくす事となり社船簑老丸第二簑老丸の二隻を神州丸に代らしめ就航せしむる事となつた、因に簑老丸は初の定期航海の一泊を大連に求むるべく十五日午後大連に入港した

實業チーム練習開始
陣容を整へて

野球シーズン來るの聲はすでに街から街へと流れてファンの頭には來るべき本社主催の實滿戰の豫想で渦巻いてゐるが、實業チームではいち早く十五日午後四時半から擴張された實業球場で弟分の國際チームといつしよに仲よく練習を開始した、新しく源川、立石、上原の新選手を迎へてホツと一息したらしく宮崎監督もニコニコ顏でグラウンドに顏を出し、安藤主將も相變らずユニホーム姿で年に見えない元氣なところを見せ、岩瀨投手が木下源川等の投手團をリードしながら渡邊捕手を相手に何くれとコーチする、立石選手の物凄い當り、兵隊がへりの津田武井の元氣な姿、その間に安藤（弟）が元氣で躍けまはる、而して中川外野の好守等々安藤主將や中島選手が喜ぶのも無理からぬ新興の氣が漲つて居る

精巧な空氣銃には狩獵免狀が要る
農林省で規則を制定

【東京十五日發電】從來空氣銃は玩具として獵期に關せず使用を許されてゐたが、最近精巧なものが流行し鳩や鴨を擊つのみならず危險性も加はつて來たので、農林省では大正十四年發布せる空氣銃使用規定の猶豫期間が十五日滿了となつたのを機とし、十六日より空氣銃の使用は一般獵と同樣警察より狩獵免狀を受け稅金を納附せしむることゝなつた

滿電で交通調べ

滿電では十七、十八兩日電車およびバスの交通調べを左の方法で行ふことゝなつた

一、電車、バスの乘客に對し從事員から乘車停留場をきくこと
二、各種乘車券に對しそれと引換に全部他の特殊乘車券を發行する、この場合乘換の必要なき乘客には直通引換券を又乘換を要する乘客には乘換引換券を發行すること
三、乘換引換券を持て乘換停留場で乘換する場合はその都度双方の電車の從事員に見せること
四、各種引換乘車券は最終下車の停留場にて從事員に渡すこと

なほ電車、バス交通調に關しての質問は電話五五八七番に照會して貰ひたいと

鐘紡隅田工場より再び嘆願書提出
十五日工場長に對して

【東京十五日發電】鐘紡隅田工場では十五日午前九時から從業員代表委員會を開いた結果、左記の再嘆願書を營業部長に提出、拒絶されたので工場長の權限で決定し得る左の九ケ條嘆願書を工場長に提出した

一、吾々委員は從業員と同一行動を取り工場長を絶對信頼す
二、工場長の同情により左記各項の達成を期し工場長に歎願す
三、臨時三割增を本給に即時入れられたし
四、更に一割五分の臨時昇給されたし
五、賞與金額を減少せぬ事
六、昇給昇格を延期せぬ事
七、同志會を即時解散し殘金全部を分配されたし
八、委員長橋本午次郎氏の自決を促す
九、獨身者は所帶持ちと釣合とれる樣考慮されたし

十五日の籠球戰
工專と基督青年會軍馮庸大學軍に敗る

奉天馮庸大學對工專、YMCAの二バスケツト、ボール試合は午後七時三十五分からYMCA、屋內運動場で擧行、日支人の應援多く屋內手狹のため收容し能はず道路側窓より應援するの盛況で對YMCA戰には馮庸大學校長張學銘氏迄出馬して大いに戰ひ、スポーツを介しての日支親善を一層有意義にしたが結果左の如し

▲馮庸大學三十三—十九工專
（レフリー黒田アンパイヤー今田）

馮庸 33（18—11 / 15—8）19 工專

馮庸軍の威の活躍と李（春）の見事なロングシユートのため黒葛原の活躍も効を奏せず遂に工專敗る

（馮庸）	野投	自由投	罰則	得點
馬毓華	1	1	4	3
臧壯懷	2	3	0	7
李春風	3	1	2	7
李殿甲	5	0	3	10
寶之助	2	0	2	4
貫振文	1	0	0	2
計	14	5	11	33

（工專）	野投	自由投	罰則	得點
黒葛原	1	3	1	5
橫溝	1	2	3	4
池內	3	2	3	8
古垣	0	0	0	0
松木	0	0	1	0
津村	1	0	0	2
計	6	7	8	19

▲馮庸大學四〇—三九YMCA
（レフエリー今田アンパイヤー奥田）

馮庸 40（14—19 / 26—20）39 YMCA

最初Y軍リードして居たが徐々に回復され後半Y軍龍山の野投に依り點を迫ひつめ遂に大接戰の末馮庸辛勝す

（馮庸）	野投	自由投	罰則	得點
陳字駒	0	1	3	1
馮庸心	0	1	1	1
段如鐵	3	0	0	6
金夫祥	2	0	1	4
傅瑞燦	3	1	1	7
張之萬	6	3	4	15
宮育	3	0	3	6
合計	17	6	13	40

（CYAM）	野投	自由投	罰則	得點
龍山	9	0	2	18
新畑	1	1	2	3
黒田	0	0	1	0
望月	2	1	4	5
田中	2	0	1	4
原田	0	1	0	1
大田	1	1	1	3
山中	2	1	0	5
合計	17	5	11	39

大連實業團會員募集

大連實業野球團後援會では左記の通り昭和五年度後援會員を募集する

▲維持會員　會費毎年金二十五圓（一口）以上、座席は本壘ネツト裏コンクリート、スタンドCDE席
▲特別會員　會費金十圓、座席は本壘ネツト裏コンクリート、スタンドCDE席
▲普通會員　會費金五圓、定席なし座席はコンクリート、スタンドの兩外側土のスタンド
普通會員にして定席希望の方は會費の外に指定席券　會費金二圓、座席は一壘及三壘ネツト裏コンクリートスタンドABFG及本壘ネツト裏スタンドCDEの上端より二段目まで

申込場所
維持會員　後援會事務所（山縣通瓜谷商店內）
特別會員及定席券　伊勢町山本運動具店
普通會員　山本運動具店（電五九七九）、大阪屋書店（電五一八八）、體育堂本支店（電三七二三、二二五七）、五葉商會（電八六一一）、滿洲日報社內本村武盛（電六三四八）、玉澤運動具店（電二二三七）、安藤忍（電八六一二）

黄組體育會
新に組織さる

滿鐵では社員の體育普及健康增進で大童のことは既報の如くであるが、社員の方でも漸く趣旨が徹底し、いち早く總裁室、庶務部、消費組合の三ケ所を含む黄組では各箇所に先だつて黄組體育會を組織し野球部、庭球部、陸上競技部、體育ボール部、婦人部に分れて機會ある毎に社員集合のうへ一體育の向上を計ることになつた

緊縮パンフレツド

滿洲公私經濟緊縮委員會では今般法學博士森莊三郎氏が「今後に於ける我等の覺悟」と題して講演したる金解禁後に於ける國民の覺悟に關する講演のパンフレツドを作製したが、前回の兩冊子同樣近く各支部を以て配布の筈である

戀と地獄（103）

三上於菟吉作　浅枝次朗畫

海邊の秘密（三）

譲三は目を閉ぢた──すると大きな重たるい波に乗せられたもののやうに、全身が搖り動かされて、そして船酔に似た嘔吐性の眩暈が襲つて來るやうな氣がした。

「譲三さん、何だつてあなたはいつまでも默つてゐなさるのよ」

と、綾子は、ねばつこく囁いた。

「私が吉雄さんたんぞに何で愛を分けるでせう──あなたはあの人とのことをうたがつてゐるのね？あなたは遊びとほんたうの生活がわからないほど子供でもないのでしやうに──」

譲三はひはづかしめてやりたくてならなかつた。

──僕は見てゐたのだ！聴いてゐたのだ！何もかも知つてゐるのだ！汚女！。

しかし、それが断じて彼の唇からは出なかつた。あべこべに、彼女の言葉に依つて愛撫された感情が、熱い、大つぶな涙となつてポトポトと流れ落ちるのをさへ禁じがたいのだつた。

「まあ、あなたは泣いてゐるのね？私が側にゐるとそれほどいやなの？」

綾子はわざとらしく歎息した。

「いゝえ、そんなわけじやないのです」

と、譲三は狼てゝ答へた。

「じゃあ、どうして泣くの？」

自分にもわからない涙である。つたものだけが知る、あの憐なさ、反抗を放棄しなければならなくなつた、よろこびとの交錯した感動には相違ないが、どんな氣持ちと問はれて答へるにはあまりに複雑なのであつた。

──僕はこのひとのために、何もかも失つてしまふのか？思想も純潔も──

それなら、彼女を突き放すがよい──決然として立つて、外へ出てしまふがよい。

だが、譲三には、彼女がゐるところほど魅惑的なものはないのだつた。

──妖しだ！妖しだ！妖しだ──

譲三は目をとぢつゞけた。すると、物の本で讀んだあの恐るべき海の女妖のすがたが、彷彿として浮かんで來た。海の女妖は──サイレンは、白い髪に髪をふりみだし、ゆたかな腕に楽器をいだいて、あらゆる航海者に呼びかけ、歌ひかけ、そして船といふ船を覆滅せしめるのだつた。まぼろしのサイレンは、ありありと綾子とおなじ顔になつて彼にほゝゑみかけた。

彼は熱い息を耳朶に感じて、慄然として幻想からさめた。

すると、つい鼻の先に、眞白な綾子の顔があつた。

「私としては、随分あなたにつくしてゐるつもりよ」

と、彼女は掻きくどいてゐる。

「私はあなたをあぶない瀬戸際から引き出して上げたわ。黒い炎の中から引出して上げたわ。そして落ちついてあなた自身の仕事が出來るやうにしてあげたわ──いゝえ、私、別にそれを誇りにするわけではありませんのよ。あなたに誇つて見せる必要がどこにあるでせう──ただ、みんなそれもあなたを愛してゐたればこそと言ふだけですわ。あなただつて、つい昨日のことを忘れておしまいになるはずはないわねえ──」

──さうだ、彼の前に突然あらはれて、人間に對する義務と信じたものから彼をそむかせたのは彼女であつた。彼にあらゆる享楽よりも彼の女と一緒にゐるといふことの方が楽しいといふことを知らせたのは彼女であつた。そして彼女はそれを指して救ひだといふ──

「あなただつて、私の愛を信じればこそついて來てくれたのでせう？」

滿日文藝

滿日柳壇

募集吟『胸』

沙河口　哥詩美

胸に手をあてゝ入営の門を出る
嫁ぐ日の胸に怪しくうつ動氣
胸巾が少し足らない不合格

大連　岳泉

胸倉をとつて女房は愚痴をいひ
胸三寸秘めて候補の話しぶり

撫順　喜良久

受験無小さい胸を躍らせる
胸騒ぎする鳥啼き氣が腐り

大連　農夫

買ひ過ぎた品を道々胸算用
胸の中見透されてる若旦那

大連　意靜

仲人は腕と度胸と褒めてゆき
胸の透眼は別なうつくしさ
勲章へ今日の佳き日の陽がうつり

五月川柳課題

◇「面あて」四月二十五日〆切
◇「袖」四月三十日〆切
◇「ピクニック」同　上
▽一題五句住所氏名明記の上▽大連市彌生町一六高橋月南宛のこと

滿日社文藝係

新刊紹介

▲滿洲短歌（四月號）「空」（北原白秋）「冬畫」（富田充）「平原」（坪田耕吉）「撫順近郊」（河本茂次郎）等、定價三十錢、大連霧島町滿洲郷土藝術協會發行

▲露西亞事情（百四號）「露國軍隊に於ける共產青年團」（定價廿錢東京丸ビル露西亞通信社發行

▲海友（廿一卷）發刊二十周年記念號「グレート大連港の新施設」（紺野順）「第一艦隊便乘見學記」等（定價卅五錢、大連港內通大連海務協會發行）

▲朝鮮（四月號）「地方制度改正に就て」（兒島總督）等（定價卅錢朝鮮總督府發行）

▲共存（四月號）「農村青年の生活理想」（深作安文）等（定價廿五錢東京市外大久保百人町三一七新日本協會發行）

滿日勝繼聯珠（九）

中央聯珠社大連支部第一次戰譜
第四回（その一）

先番　渡邊榮洲
井口珠窿

△級差なし、七桂掘打四號水月
【四段非村永拾講評】

黒（三）までを四號桂馬水月といふ。
（四）は有力な防ぎである、
又之を「イ」に打つ亦も面白い。評者の最も得意とするところである黒（五）悪い「ロ」或は「ハ」に打つが定跡である。よしそれが趣向としても戴服出來ぬ「ニ」に打つなどもあるには有るが……白（六）大いに可、待望主義な穏健なる手段である。黒（七）賛成出來ない「ハ」に打つ位のもので又此場合に於ける手筋でもある。

●正誤　第四回講評中右より三行目「端星」は「瑞星」六回「第二回（その二）」は「第三回（その一）」左より八行目「斜引斜」は「斜引斜の誤、又戰譜中「五」の右横に「十六」の一珠を脫す